1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人真宗大谷学園

- (2) 大 学 名 大谷大学
- (3) 調査対象大学等の位置

〒603-8143 京都府京都市北区小山上総町20番地

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載して ください。

(4) 管理運営組織

職名	設 置 時	変更状況	備考
	(タジマ ヒロシ)		
理 事 長	但 馬 弘		
	(平成28年12月19日)		
	(キゴシ ヤスシ)		
学 長	木 越 康		
	(平成28年4月1日)		
	(シドウ シュウシ)	(ノムラ アキヒロ)	任期満了のため
学 部 長	志 藤 修 史	野村 明宏	令和3年4月1日
	(平成30年4月1日)	(令和3年4月1日)	(3)
	(タカイ ヤスヒロ)	(アベ トシヒロ)	任期満了のため
学科長等	髙 井 康 弘	阿部 利洋	令和2年4月1日
	(平成30年4月1日)	(令和2年4月1日)	(2)

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を ()書きで記入してください。
 - (例) 令和2年度に報告済の内容 → (2) 令和3年度に報告する内容 → (3)
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) · 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください (入試 区分ごとではありません)。
 - ・ <u>なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位</u> <u>(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。</u> <u>その場合別ファイルを作成し提出してください。</u>
 - ・ <u>様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが</u>、 完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、 5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を 記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の	学位又は学科		設 置 時	の計画		学生募集の停	備考
名称 (学位)	の分野	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	止について	1佣 有
社会学部 現代社会学科 学士(社会学)	社会学・社会 福祉学関係	年	120	年次 人 一	人 480		
子工(社云子)							

- (注)・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 - ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号 (その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 - 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象	東年度	平成2	9年度	平成3	0年度	令和力	元年度	令和:	2 年度	令和:	3 年度	平均入学定員	開設年度から 報告年度まで	備	考
区分		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	超 過 率	の平均入学定 員超過率	1/H	75
A 入学3	定員	· 人	- <u>`</u>	人 12	20 、人	人 1:	20 、人	人 1: ·	20 、人	人 1: ,	20 、人				
	-, ,	[-	-) -]	[-	-) -]	[-	-) -]	[-	–) –]	[-	-) -]				
志願者数		- (-) [-]	- (-) [-]	1466 (-) [-]	- (-) [-]	1368 (-) [-]	- (-) [-]	1432 (-) [1]	- (-) [-]	930 (-) [1]	- (-) [-]				
受験者数		- (-) [-]	- (-) [-]	1435 (-) [-]	- (-) [-]	1334 (-) [-]	- (-) [-]	1390 (-) [1]	- (-) [-]	890 (-) [1]	- (-) [-]	1. 05倍	—倍		
合格者数	<u></u>	- (-) [-]	- (-) [-]	243 (-) [-]	- (-) [-]	336 (-) [-]	- (-) [-]	286 (-) [1]	- (-) [-]	542 (-) [-]	- (-) [-]				
B 入学	者数	- (-) [-]	- (-) [-]	124 (-) [-]	- (-) [-]	134 (-) [-]	- (-) [-]	121 (-) [1]	- (-) [-]	125 (-) [-]	- (-) [-]				
入学定員超 B/A	過率	-	_	1.	03	1.	11	1.	00	1.	04				

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ () 内には、<u>編入学の状況について**外数で**記入</u>してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「一」を記入してください。
 - 転入学生は記入しないでください。
 - ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入</u>してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、 報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ 記入してください。完成年度を越えていない場合は「一」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

	対象年度	平成2	9年度	平成 3	0年度	令和克	元年度	令和 2	2年度	令和 (3年度	備	<u> </u>	考
学	年	春季入学	その他の学期	VĦ	Ħ	75								
		-	-	124	_	139	_	123	_	127	_			
	1 年次	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[1]	[-]	[-]	[-]			
		(-)	(-)	(-)	(-)	(5)	(-)	(2)	(-)	(2)	(-)			
		-	-	-	-	118	_	135	_	124	_			
	2 年次	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[1]	[-]			
		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(4)	(-)	(7)	(-)			
		-	-	-	-	-	-	110	_	130	_			
	3 年次	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]			
		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(4)	(-)			
		-	-	-	-	-	-	-	-	103	_			
	4 年次	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]			
		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
		-	_	12	24	25	57	36	68	48	34			
	計	[-	-]	[-	-]	[-	-]	[.	1]	[.]			
		(-	—)	(-	-)	(;	5)	((ŝ)	(1	3)			

- ・令和3年5月1日 公表
 - (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ []内には、<u>留学生の状況について**内数で**記入</u>してください。該当がない年度には「一」を記入してください。
 - ・()内には、<u>留年者の状況について、内数で記入</u>してください。<u>該当がない年には「一」を記入</u>してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入</u>してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数

 を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分	在学者数(b)	退学者数(a)		内訳	→ ¥L	主な退学理由
対象年度	LT-13 X (0)	运 于	入学した年度	退字	者数 うち留学生数	(留学生の理由は[]書き)
平成29年度	- 人	- 人	平成29年度	- 人	- 人	
平成30年度	124 人	1 人	平成29年度	- 人	- 人	
十成30年度	124 人	1 \	平成30年度	1人	0 人	その他<他大学受験>(1人)
			平成29年度	- 人	- 人	
令和元年度	257 人	9 人	平成30年度	6 人	0 人	除籍(3人)、家庭の事情(1人)、 その他<進路変更>(1人)、その他<経済的事情>(1人)
			令和元年度	3 人	0 人	その他<進路変更>(3人)
			平成29年度	- 人	- 人	
令和2年度	368 人	9 人	平成30年度	5 人	0 人	除籍(1人)、学生個人の心身に関する事情(1人)、 その他<進路変更>(3人)
			令和元年度	1 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(1人)
			令和2年度	3 人	0人	除籍(1人)、その他<進路変更>(2人)
			平成29年度	- 人	- 人	
			平成30年度	0 人	0人	
令和3年度	484 人	0 人	令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
合 計		19 人		19 人	0 人	

- (注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、<u>留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入</u>してください。
 - ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】 平成29年度の退学者数(a) **#VALUE!** 平成29年度の在学者数(b) 【平成30年度】 平成30年度の退学者数(a) 8.0 平成30年度の在学者数(b) 【令和元年度】 令和元年度の退学者数(a) 令和元年度の在学者数(b) 3.5 257 【令和2年度】 令和2年度の退学者数(a) 令和2年度の在学者数(b) 2.44 368 【令和3年度】 令和3年度<u>の退学者数(a)</u> 0 % 令和3年度の在学者数(b)

(注) · 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<社会学部 現代社会学科>

(1)一① 授業科目表

【認可時又は届出時】

【令和3年度】

### PARTICLE PARTICL	の配置	等の	£教員	専任	友	単位数						兼	2置	の配	0員等	任教	専任	t	位数	#				
1887 1972		講財	准部	教	自	選		配当年次	授業科目の名称	科目 区分		兼	助		满	准教	教	Ĥ			配当年次	授業科目の名称	∃ } }	R E
188	# # # # # # # # # # # # # # # # # # #							2 • 3 • 4		総合料目	共.	兼3									2 • 3 • 4	人間学 I 人間学 I	総合科目	共
18 - 6			1				2		学びの発見	大学導入	基礎					1				2		学びの発見	大学 導入	共通基礎科
1	*						4			必修										4		英語 I 英語 II	必修 ト国語	目
1級 2	ik i	1	3	4			2			71 ES RU		兼12			1	3	4	-		2		社会学演習 I a	I CONTO	
2월 2 4 2 2 3 1 2 3 4 2 3 4 3 4 3 3 4 3 3 4 3 3	1		3	4				1後	社会学演習 I b						1	3	4			2	1後	社会学演習Ib		
当時 1																						社会学演習Ⅱa		
13時 2	ı																					社会学演習Ⅱb 社会学演習Ⅲa	演習	
機能 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1	ı	1																				社会学演習Ⅲb		
2				6																		社会学演習IVa		
1	1	_	2	6								A6.			1	1	6	_				社会学演習IVb 仏教社会論		_
1時 2			1							円		3K1				1						社会学概論	門	
1 回 2 1 1 1 2 1 1 1 1 1	ı	1					2	1前	現代社会基礎	概					1						1前	現代社会基礎	概	
1	$\vdash \vdash \vdash$	_		3			2			論							3			2		社会学入門	論	
1 - 3機 2																						現代社会論 人間関係論		
## 2 2 2 2 3 4 2 2 2 3 4 2 2 3 4 2 3 4 2 3 4 3 4	*											兼1										心理学基礎		
2 - 3 2 3 3 4 4 5 5 5 5 5 5 5 5	3																					現代家族論		
***	Э.											兼1										ジェンダーと社会		
### 2 日本	*		1									able 1			1							比較心理学 社会心理学		
3 - 4 6 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2	. "		1									AR. 1				1						現代社会とコミュニケーション		
1 接 2	*											兼1										教育社会学		
1接 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1																						個人と公共		
2	ı																					社会問題論 地域社会論		
2 映 2												 ₩1				1						地域福祉論1		
3前 2 1 1	*							2後	地域福祉論2			兼1									2後	地域福祉論2		
1級 2	Э.											兼1										環境社会学	講義	
1前前 2 1 2 2 1 2 2 1 2 2	*		1									àlis 1				1						グローバリゼーション論 市民活動論	390	
3-前前 2 1 1 2 2	*									課												ボランティア論		
1級 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 2	*									400		兼1										地方自治論		
2 - 3級 2 1 2 1 2 2 1 2 2 2				1													1					犯罪と社会		
2 - 3前 2 2 3 数 数 数 数 数 数 数 数 数				1								àlis 1					1					現代文化論 文化社会学		
1 - 2前 2 1 数 数 数 数 数 数 数 数 数	*																					観光社会学		
1・2前 2	*										,004											宗教と社会		200
A - 4前	*										科											大衆文化論		学科
2 - 3前 2 1 財務 2 2 1 財務 2 2 1 財務 2 2 1 1 1 1 1 1 2 1 1 1 2 1	k										門門											スポーツと社会 消費社会論		科専門科目
1級 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 2	,										科目	A11.1					1					文化人類学		科目
1級	3																					アジア社会論		
全球 2 1 数1 数1 数1 数1 数2 2 3 4 数1 数1 数1 数1 数1 数1 数1	3	-	4				1					兼1										情報と倫理 情報社会論		-
数1 - 4校 2 1 数1 数1 数1 数1 数1 数1	*			1								兼1					1					情報技術論		
1前 2 1 1 数1 数1 数1 数1 数2 1 1 数1 数	*					2		3・4後	社会思想史			兼1									3・4後	社会思想史	講義	
1前 2 1 1 数 数 数 1前 2 1 1 数 数 1前 2 1 1 1 数 数 1前 2 1 1 1 1 1 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3	3																					社会学史		
1接 2 2 1 1 1 1 2 2 1 1	k	+	+	1		2	2								1		1		2	2		社会調査論 社会統計基礎	Т	-
2前 2前 2 1 1 1 1 2前 2前	ı ^	1	•	1			2			A		70.1					2			2		フィールドワーク技法基礎	Α	
3前 2 2 2 2 2 2 2 2 2		1						2前	フィールドワーク入門1								1				2前	フィールドワーク入門1		
3級 2 2 2 1 数1 数1 数1 数2 2 2 2 2 2 2 2 2	*	1	,	2								alic ·		1			1					フィールドワーク入門2 探究フィールドワーク1		
分野1 3前 2 2 2 1 1 1 1 2 2 前 2 2 1 1 1 1 1 1 1	я я													1								探究フィールドワーク1 探究フィールドワーク2		
2億 2 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 3 1 2 1 2 1 1 2 3 1 2 1 1 1 2 3 1 2 3 1 2 1 1 2 3 1 2 3 1 2						2		3前	ソーシャル・ドキュメント分析1			J		1			2		2		3前	ソーシャル・ドキュメント分析1		
2校 2 1 1 1 上 大阪武井震智2 2 1 1 3 か 2 1 2 1 2 3前 2 1 2 3 前 2 1 2 3前 2 1 2 2 3前 2 1 2 36 2 1 1 2 3前 2 1 2 36 2 1 2 2 3前 2 1 2 36 2 1 1 2 3 36 2 1 2 3 2 1 2 2 3所 2 1 2 3 4 2 3 4 2 3 4 6 2 1 4												J			1.							ソーシャル・ドキュメント分析2		
3 向 2 1			7.1									J		1								社会統計演習1 社会統計演習2		
aン分析2 3後 2 1 1 2・3前 2 1 2 2・3前 2 1 1 2・3前 2 1 1 2・3前 2 1 2 2・3前 2 1 1 2・3前 2 1 2 1 2・3前 2 3・4前 2 1 3・4前 2 2 3・4前 2 3・4			1	1								ļ			1							北云和町横当2 メディア・コミュニケーション分析1		
1 2 - 3前 2 1 2 2 - 3歳 2 1 1 2 - 3歳 2 1 2 2 - 3歳 2 1 2 2 - 3歳 2 1 1 2 - 3歳 2 1 2 2 - 3歳 2 1 2 2 - 3歳 2 1 2 2 - 3歳 2 1 3 - 4前 2 1 3 - 4前 2 1 3 - 4歳 2 1 3 - 4歳 2 2 - 3歳 2 3 - 4歳 2 2 - 33 4 4 - 2 2 5 - 4歳 2 2 - 3 3 4 - 2	ı																					メディア・コミュニケーション分析2		
1 2 - 3前 2 1 1				1						実践		J		1			1					メケィア・コミュニケーション分析2 社会学文献講読(人間関係)1		
1 2 - 3前 2 1 1				1						研 究 B		ļ										I and the second	В	
1 2・3前 2 1 2 2・3歳 2 1 2 3・4前 2 1 3・4前 2 1 3・4前 2 2 3・4前 2 3・4前 2 3・4前 2 3・4前 2 3・4般 2 3・4般 2 3・4般 2 3・4般 2			1					2・3前	社会学文献講読 (公共社会) 1			J		1		1			2		2・3前	社会学文献講読 (公共社会) 1	1	
2 2 - 3級 2 1 3 - 4前 2 1 3 - 4前 2 東1 3 - 4前 2 次化人類字文研測器 3 - 4前 2 東1 次化人類字文研測器 3 - 4前 2 2			1			2						J		1		1						社会学文献講読 (公共社会) 2		
3 - 4前 2 1 3 - 4前 2 2 - 大化人類学文献講覧2 3 - 4前 2 - 大化人類学文献講覧2 3 - 4前 2 - 大化人類学文献講覧2												J					1					社会学文献講読 (現代文化) 1 社会学文献講読 (現代文化) 2		
3 - 4校 2 兼1												J										エスノグラフィ講説・作成1		
3・4後 2 兼1 文化人類学文献講読2 3・4後 2	*					2		3・4後	エスノグラフィ講読・作成2					1					2		3・4後	エスノグラフィ講読・作成2		
	*													1								文化人類学文献講読1		
	k			,								兼1					1					文化人類学文献講読2 社会情報学文献講読1		
2-3 - 4後 2				1								兼1					1					社会情報学文献講読2		
3・4前 2 兼1 社会心理学文献课施1 3・4前 2	3					2		3 • 4前	社会心理学文献講読1			兼1							2		3・4前	社会心理学文献講読1		
3 · 4後 2 兼1 社会心理学文献講經2 3 · 4後 2	я	4	4	_	H	2		3・4後	社会心理学文献講読2			兼1	Ш						2		3・4後	社会心理学文献講読2		L
4通 8 6 1 1 0 0	0 0	0 0	2	6			8	4通	卒業研究	卒業 研究			0	0	1	1	6			8	4通	卒業研究	卒業 研究	
	1 1	_	_	_			1	,		研究	<u> </u>		1		1	_					- Nadi	1	财光	

			#	4位数		専任	£教員	等の	配置	兼					#	位数		専任	教員	\$ σ	配置	1	兼
科目 区分	授業科目の名称	配当年次		-	_	教	准言			任・兼		科目 区分	授業科目の名称	配当年次	Ø		e a	数 推	É 1			Rh	任・兼
-	日本国憲法	1・2・3・4前・後	條	択	由	授	教授的	10 £	女 手	担	\vdash		日本国憲法 1	1.0.2.4	條	択	曲 拄	受技	ĝ (ŝīт	教	手	担
	日本国憲法	1・2・3・4削・彼		2						兼1			日本国憲法 2	1・2・3・4前		2							兼1 兼1
													日本国憲法3	1・2・3・4前		2							兼1
	発想から表現へ	1・2・3・4後		2						兼1			発想から表現へ	1 · 2 · 3 · 4		2							兼1
	思考法入門	1・2・3・4後		2						兼1			思考法入門	1・2・3・4後		2							兼1
	日本語表現 (人門)	1 · 2 · 3 · 4前 · 後 2 · 3 · 4前		2						兼1			日本語表現 (入門)	1・2前・後		2							兼1
	日本語表現 (実践) 探究基礎演習	1・2・3・4例		2						兼1 兼1			日本語表現(実践) 探究基礎演習 (未開講)	2・3・4前 1・2・3・4後		2							兼1 兼1
	ポルトガル舒圏のくらしと言葉1	1・2・3・4前		2						兼1			ポルトガル語圏のくらしと言葉1	1 - 2 - 3 - 4前		2							兼1
	ポルトガル語圏のくらしと言葉2	1 • 2 • 3 • 4後		2						* 1			ポルトガル語圏のくらしと言葉2	1・2・3・4後		2							兼1
	インターンシップ1 大学コンソ京都	2・3後		2				1					インターンシップ 特殊演習 1 大学コンソ京都	2・3後		2							兼1
	インターンシップ2 大谷大学	1・2・3・4後		2						兼1			インターンシップ 特殊液智 2 大谷大学	1・2・3・4後		2							兼1
+	キャリアデザイン概論1	1・2・3・4前		2						兼1		+	キャリアデザイン板論1	1・2・3・4前		2							兼1
y y	キャリアデザイン概論2	1・2・3・4後 2・3・4後		2						兼1 兼1		ŋ	キャリアデザイン概論2	1・2・3・4後		2							兼1 兼1
ア形	キャリアデザイン実践1 キャリアデザイン実践2	3・4前		2						※1		デ	キャリアデザイン実践1 キャリアデザイン実践2	2・3・4後 3・4前		2							※1
成	ワード・プロセッシング入門	1 • 2 • 3 • 4前		2						* 1		成	ワード・プロセッシング入門	1・2・3・4前		2							兼1
科	ワード・プロセッシング応用	1・2・3・4後		2						兼1		科	ワード・プロセッシング応用	1・2・3・4後		2							兼1
目	PC利用による表計算入門	2 • 3 • 4前		2						兼1		B	PC利用による表計算入門	1・2・3・4前		2							兼1
	PC利用による表計算応用	2・3・4後		2						兼1			PC利用による表計算応用	1・2・3・4後		2							兼1
	PC利用によるプレゼンテーション	1・2・3・4後		2						兼1			PC利用によるプレゼンテーション	1・2・3・4後		2							兼1
	PC利用によるレポート・論文技法 画像処理入門	1 · 2 · 3 · 4前 1 · 2 · 3 · 4前		2						兼1 兼1			PC利用によるレポート・論文技法 画像処理入門	1・2・3・4前		2							兼1 兼1
	画像処理応用	1・2・3・4回		2						※1			画像処理応用	1・2・3・4削		2							※1 ※1
	PCミュージック入門	1・2・3・4版		2						※1			四球双柱心州 PCミュージック入門	1・2・3・4後		2							※1
	PCミュージック応用	1・2・3・4後		2						兼1			PCミュージック応用	1・2・3・4後		2							兼 1
	Webサイト構築入門	1・2・3・4前		2						兼1			Webサイト構築入門	1・2・3・4前		2							兼1
	Webサイト構築応用	1・2・3・4後		2						兼1			Webサイト構築応用	1・2・3・4後		2							兼1
													フィールドワーク特殊演習(PBL)	1・2・3・4後		2							兼1
													青年と社会教育	2・3・4前		2							兼1 兼1
l 	生命のしくみと多様性	1・2・3・4前		2	-	+		+		兼1			社会福祉と社会教育 生命のしくみと多様性	1・2・3・4前		2	+	+	+	+	+	-	無1 兼1
	自然と生物の科学	1・2・3・4後		2						兼1			自然と生物の科学	1・2・3・4後		2							兼1
	地震と火山1	1 • 2 • 3 • 4前		2						兼1			地震と火山1	1 • 2 • 3 • 4前		2							兼1
	地震と火山2	1・2・3・4後		2						兼1			地震と火山2	1・2・3・4後		2							兼1
	地球科学1	1・2・3・4前		2						兼1			地球科学1	1・2・3・4前		2							兼1
	地球科学2	1・2・3・4後		2 2						兼1 兼1			地球科学2	1・2・3・4後		2							兼1 兼1
	地球環境と生命の共進化 こころの科学	1・2・3・4後 1・2前		2						※1			地球環境と生命の共進化 こころの科学	1・2・3・4後		2							兼1 兼1
	人間理解の心理学	1・2級		2						※1			人間理解の心理学	1・2・3・4後		2							※1
211	スポーツと健康の科学1	1 • 2 • 3 • 4前		2						* 1	221		スポーツと健康の科学1	1 • 2 • 3 • 4前		2							兼1
代	スポーツと健康の科学2	1・2・3・4後		2						兼1	代		スポーツと健康の科学2	1・2・3・4後		2							兼1
総合然	脳とこころ	1・2・3・4前		2						兼1	総合	自伙	脳とこころ	1・2・3・4前		2							兼1
科生	障害者スポーツ論	1・2・3・4後		2						兼1	科目	生	障害者スポーツ論	1・2・3・4後		2							兼1
系	生涯スポーツ・レクリエーション活動 スポーツ研究演習 I	1 · 2 · 3 · 4後 2 · 3 · 4前		2						兼1 兼1		系	生涯スポーツ・レクリエーション活動 スポーツ研究演習 I	2・3・4前		2							兼1 兼1
科目	ヘホーノ研元演習I 障害者スポーツ研究演習I	2・3・4前		2						※1 ※1		科目	ヘホーノ研光側百Ⅰ 障害者スポーツ研究演習Ⅰ	2・3・4前		2							※1
	スポーツ研究演習Ⅱ	2・3・4後		2						兼1			スポーツ研究演習Ⅱ	2・3・4後		2							兼1
	障害者スポーツ研究演習Ⅱ	2・3・4後		2						兼1			障害者スポーツ研究演習Ⅱ	2・3・4後		2							兼1
	カウンセリング	1・2・3・4前		2						兼1			カウンセリング	2・3・4後		2							兼1
	身体活動 I	1・2・3・4前		1						兼2			身体活動 I	1・2・3・4前		1							兼2
	身体活動 I (障害者スポーツ)	1・2・3・4前		1						兼1			身体活動 I (障害者スポーツ)	1・2・3・4前		1							兼1
	身体活動Ⅱ 身体活動Ⅱ (障害者スポーツ)	1・2・3・4後 1・2・3・4後		1						兼2 兼1			身体活動Ⅱ 身体活動Ⅱ (障害者スポーツ)	1・2・3・4後		1							兼2 兼1
	人間関係と身体表現	1・2・3・4前		2						兼1			人間関係と身体表現	1 • 2 • 3 • 4 10		2							兼1
	障害者・病者と共に生きる	1 • 2 • 3 • 4前		2						兼1			障害者・病者と共に生きる	1 • 2 • 3 • 4前		2							兼1
													心理療法保險	2・3・4前		2							兼1
													心理療法と教育	2・3・4後		2						_	兼1
	ヨーロッパの宗教と文化 (ドイツ)	1・2・3・4後		2						兼1			ヨーロッパの宗教と文化 (ドイツ) (未開降)	1・2・3・4後		2							兼1
	ヨーロッパの宗教と文化 (フランス) 現代朝鮮半島事情	1 · 2 · 3 · 4後 1 · 2 · 3 · 4後		2						兼1 兼1			ヨーロッパの宗教と文化(フランス) (未興論) 現代朝鮮半島事情	1・2・3・4後		2							兼1 兼1
	現代東南アジア事情	1・2・3・4後		2						※1			現代東南アジア事情	1・2・3・4後		2							※1
	東南アジアの宗教文化	1 • 2 • 3 • 4前		2						兼1			東南アジアの宗教文化	1・2・3・4前		2							兼 1
	近代日本とアジア	1・2・3・4後		2						兼1			近代日本とアジア	1・2・3・4後		2							兼1
	東アジアの宗教文化	1・2・3・4前		2						兼1			東アジアの宗教文化 (未開講)	1 · 2 · 3 · 4		2							兼1
	古都の歴史と文化	1 • 2 • 3 • 4前		2						兼1			古都の歴史と文化	1・2・3・4前		2							兼1
	仏教と美術	1・2・3・4後		2						兼1			仏教と美術	1・2・3・4後		2							兼1
	インドの宗教と文化 中国の宗教と文化	1 · 2 · 3 · 4後 1 · 2 · 3 · 4後		2						兼1 兼1			インドの宗教と文化 (未開業)	1・2・3・4後		2							班2 班2
per	中国の宗教と文化 人と文化	2・3・4後		2						※1		歴	中国の宗教と文化 (未開課) 人と文化	2・3・4後		2							米2 ※1
史	教育学1	1・2・3・4前		2						兼1		史	教育学1	1 - 2 - 3 - 4前		2							兼1
文化	教育学2	1 • 2 • 3 • 4後		2						兼1		文化	教育学2	1・2・3・4後		2							兼1
系科	プッダに学ぶ	1 • 2 • 3 • 4前		2						兼1		系科	ブッダに学ぶ	1 • 2 • 3 • 4前		2							兼1
目	親鸞に学ぶ	1・2・3・4後		2						兼1		目	親鸞に学ぶ	1・2・3・4後		2							兼1
	部落差別と大谷派教団1	1・2・3・4前		2						兼1			部落差別と大谷派教団1	1・2・3・4前		2							兼1
	部落差別と大谷派教団2	1・2・3・4後		2						兼1			都落差別と大谷派教団2	1・2・3・4後		2							兼1
	部落差別と浄土真宗1 部落差別と浄土真宗2	1 · 2 · 3 · 4前 1 · 2 · 3 · 4後		2						兼1 兼1			部落差別と浄土真宗1 部落差別と浄土真宗2	1・2・3・4前		2							兼1 兼1
	部落史論1	1・2・3・4仮		2						※1			が各定別と伊工具示2 部落史論1	1・2・3・4恢		2							※1
	部落史論2	1・2・3・4例		2						※1			部落史論2	1・2・3・4例		2							※1
	反カースト運動論	1・2・3・4後		2						兼 1			反カースト運動論	1・2・3・4後		2							兼 1
	アイヌ民族と共に	1・2・3・4前		2						兼1			アイヌ民族と共に	1 · 2 · 3 · 4		2							兼1
	アジア侵略と宗教	1・2・3・4後		2						兼1			アジア侵略と宗教	1・2・3・4後		2							兼1
	非戦の系譜 仏教福祉論	1 · 2 · 3 · 4前 1 · 2 · 3 · 4後		2						兼1 兼1			非戦の系譜 仏教福祉論	1・2・3・4前		2							兼1 兼1
	合計(157科目)	-	54	2 270	0	6	3	2 1	0 0				合計(164科目)	-	54	2 284	0	6	4	1	0	0	兼1 兼104
	卒業要	件及び履修方法											卒業要件及び	V履修 方法									
1																							

①共通基礎科目18単位以上(人間学1・IIS単位、大学導入科目2単位、必修外国語8単位) 2学科専門科目92単位以上(漢官19単ん、一一、概論単位、議義科目から40単位以上、 実践有実入14年位、[3119単位以上、卒業研究単位を修得) 3現代総合科目から8単位以上を修得 6現代総合科目から8単位以上を修得 6世空期間開発已興本間のにより期勢した場合、最大8単位までを自己選択科目の 単位とて認める 0、一名の科目を修作し、124単位以上を履修すること

* 必修外国語は英語 I・II の8単位であるが、学生の希望により、文学部に開講するドイツ語、 フランス語、中国語、韓国・朝蘇語を履修させることができる * 履修科目の登録単位数の上限は、年間48単位まで

①共通基礎科目18単位以上(人間学 I・II8単位、大学導入科目2単位、必修外国語8単位) ②学科専門科目9単位以上(演習18単位、入門・機能8単位、演奏科目から40単位以上、実践研究(A)4単位、[8]16単位以上、卒業研究8単位を修得) 33根代総合科目800-8単位以上を規修した場合。最大8単位までを自己選択科目の単位として認める ③小金の科目を発明・現代のよど規修けた場合。最大8単位までを自己選択科目の単位として認める ③小金の科目を発明・現実体の以上を規修すること

* <u>め</u>修外国語は英語 I・Ⅱ の8単位であるが、学生の希望により、文学部に開講するドイツ語、フランス語、中国語、韓国・朝鮮語を履修させることができ

る *履修科目の登録単位数の上限は、年間48単位まで

	科目区分		授業科目の名称	配当年次		単位数選択	自	教	准教	員等の 講 I		兼任・兼担		科目区分		授業科目の名称	配当年次	必修	単位選択	自	教	准教	講師	助明教	
	総合科目	3.	人間学 I 人間学 II	1前・後 2・3・4 前・後	4							兼3 兼13	共		総合 科目	人間学 I 人間学 I	1前・後 2・3・4 前・後	4							**
ŀ	大学	ė .	学びの発見	1前	2			T		1			通基礎	大道	大学 算入	学びの発見	1前	2				1			
r	必修外国	E	英語 I	1前・後	4							兼9 兼12	科目		Z修 国語	英語Ⅰ	1前・後	4							*
t	/100		英語Ⅱ 社会学演習Ⅰa	2前・後 1前	2				3	1		兼12		211	CS PLI	英語 II 社会学演習 I a	2前・後 1前	2			4	3	1		*
			社会学演習Ib 社会学演習Ⅱa	1後 2前	2				2	1 2						社会学演習 I b 社会学演習 II a	1後 2前	2			4 6	3 2	1		
	演習		社会学演習Ⅱb 社会学演習Ⅲa	2後 3前	2 2				2	2 2				1	演習	社会学演習Ⅱb 社会学演習Ⅲa	2後 3前	2 2			6	2	1		
			社会学演習Ⅲb 社会学演習Ⅳa	3後 4前	2 2				2	2						社会学演習Ⅲb 社会学演習Ⅳa	3後 4前	2 2			4	3	1		
			社会学演習IVb	4後	2			6	1	1						社会学演習IVb	4後	2			6	2 2			
	八門・		仏教社会論 社会学概論	2前 2後	2				1			兼1		i	入門・	仏教社会論 社会学概論	2前 2後	2				1			*
	概論		現代社会基礎 社会学入門	1前 1後	2			3		1				1	概論	現代社会基礎 社会学入門	1前	2			3		1		
			現代社会論 人間関係論	1前 1前		2 2			1							現代社会論 人間関係論	1前 1前		2 2			1			
			心理学基礎	1・2後		2			•			兼1 兼1				心理学基礎	1・2後		2						3
			現代家族論 ジェンダーと社会	2前 2後		2						※1				現代家族論 ジェンダーと社会	2前 2後		2						3
			比較心理学 社会心理学	2·3前 3·4後		2 2				1		* 1				比較心理学 社会心理学	2·3前 3·4後		2			1			3
			現代社会とコミュニケーション 教育社会学	2後 3・4前		2			1			兼1				現代社会とコミュニケーション 教育社会学	2後 3・4前		2			1			*
			個人と公共 社会問題論	1前 2後		2 2			1							個人と公共 社会問題論	1前 2後		2 2			1			
			地域社会論 地域福祉論1	1後 2前		2 2			1			※ 1				地域社会論 地域福祉論1	1後 2前		2 2			1			3
			地域福祉論2	2後		2						※1				地域福祉論2	2後		2						*
	講義		環境社会学 グローバリゼーション論	2 · 3前 3前		2			1			兼1			講義	環境社会学 グローバリゼーション論	2・3前 3前		2			1			1
			市民活動論 ボランティア論	1後 1前	Ì	2 2						兼1 兼1				市民活動論 ボランティア論	1後 1前		2						k k
			地方自治論 犯罪と社会	3前 2前	Ì	2 2		,				兼1				地方自治論	3前 2前		2 2		,				3
			現代文化論	1後	Ì	2		1				٠. غو				現代文化論	1後		2		1				
			文化社会学 観光社会学	2 · 3後 2 · 3前	Ì	2						兼1 兼1				文化社会学 観光社会学	2・3後2・3前		2						k k
		ľ	宗教と社会 大衆文化論	2後 1・2前		2						兼1 兼1	学科専			宗教と社会 大衆文化論	2後 1・2前		2						y H
			スポーツと社会 消費社会論	1・2後 3・4前		2 2						兼1 兼1	門科			スポーツと社会 消費社会論	1・2後 3・4前		2 2						ş ş
			文化人類学 アジア社会論	2・3前2・3後		2 2		1				兼1	B			文化人類学 アジア社会論	2・3前 2・3後		2 2			1			3
			情報と倫理	1後		2						兼1				情報と倫理	1後		2						3
	:8:		情報技術論	1後 2後		2		1				* 1			282	情報技術論	1後 2後		2		1				3
	義		社会思想史 社会学史	3・4後 3・4前		2						兼1 兼1			義	社会思想史 社会学史	3・4後 3・4前		2						3
_			社会調査論 社会統計基礎	2 · 3前 1前	2	2		1		1		兼1 兼1			Τ.	社会調査論社会統計基礎	2・3前 1前	2	2		1	1			3
		А	フィールドワーク技法基礎 フィールドワーク入門1	1後 2前	2	2		1		1					A	フィールドワーク技法基礎 フィールドワーク入門1	1後 2前	2	2		1	1	1		
			フィールドワーク入門2	2後		2		1		1						フィールドワーク入門2	2後		2		1	1	1		
			探究フィールドワーク1 探究フィールドワーク2	3前 3後		2			2	1		兼1 兼1				探究フィールドワーク1 探究フィールドワーク2	3前 3後		2			2	1		**
			ソーシャル・ドキュメント分析1 ソーシャル・ドキュメント分析2	3前 3後		2		2								ソーシャル・ドキュメント分析1 ソーシャル・ドキュメント分析2	3前		2		2 2				
			社会統計演習1 社会統計演習2	2前 2後		2 2		1		1						社会統計演習1 社会統計演習2	2前 2後		2 2		1	1			
			メディア・コミュニケーション分析1 メディア・コミュニケーション分析2	3前		2 2		1								メディア・コミュニケーション分析1 メディア・コミュニケーション分析2	3前		2 2		1	•			
	実践研		社会学文献講読(人間関係)1	2・3前		2		1						実践研		社会学文献講読 (人間関係) 1	2・3前		2		1				
	究	В	社会学文献講読 (人間関係) 2 社会学文献講読 (公共社会) 1	2 · 3後 2 · 3前		2		1	1					究	В	社会学文献講読 (人間関係) 2 社会学文献講読 (公共社会) 1	2・3後 2・3前		2		1	1			
			社会学文献講読 (公共社会) 2 社会学文献講読 (現代文化) 1	2 · 3後 2 · 3前		2 2		1	1							社会学文献講読 (公共社会) 2 社会学文献講読 (現代文化) 1	2・3後 2・3前		2		1	1			
			社会学文献講読(現代文化)2 エスノグラフィ講読・作成1	2 · 3後 3 · 4前		2 2		1								社会学文献講読 (現代文化) 2 エスノグラフィ講読・作成1	2・3後 3・4前		2 2		1				
			エスノグラフィ講読・作成2 文化人類学文献講読1	3・4後 3・4前		2 2						兼1 兼1				エスノグラフィ講読・作成2 文化人類学文献講読1	3・4後 3・4前		2 2						3
			文化人類学文献講読2	3・4後		2						※ 1				文化人類学文献講読2	3・4後		2						3
			社会情報学文献講読1 社会情報学文献講読2	2・3・4前 2・3・4後		2		1				* 1				社会情報学文献講読1 社会情報学文献講読2	2・3・4前2・3・4後		2		1				3
			社会心理学文献講読1 社会心理学文献講読2	3・4前 3・4後		2 2						兼1 兼1				社会心理学文献講読1 社会心理学文献講読2	3・4前 3・4後		2 2						1
	卒業 研究		卒業研究	4通	8			6	1	1	0 0			孕	华業 研究	卒業研究	4通	8			6	2	0	0 (
			日本国憲法	1・2・3・4前・後		2						兼1				日本国憲法 1 日本国憲法 2	1・2・3・4前		2						3
			発想から表現へ	1 · 2 · 3 · 4		2						兼1				日本国憲法 3 発想から表現へ	1・2・3・4前		2						3
			思考法入門 日本路表現 (入門)	1·2·3·4後 1·2 前·後		2 2						兼1 兼1				思考法入門 日本語表現 (入門)	1・2・3・4後 1・2 前・後		2 2						k k
			日本語表現 (実践)探究基礎演習	2·3·4 後 1·2·3·4後	Ì	2 2						兼1 兼1				日本語表現 (実践) 探究基礎演習	2 · 3 · 4 前 1 · 2 · 3 · 4後		2						9
	牛		休九当時例官 ポルトガル話圏のくらしと言葉1 ポルトガル話圏のくらしと言葉2	1・2・3・4前	Ì	2 2						兼1			キャ	ポルトガル語圏のくらしと言葉1	1・2・3・4版		2						, A
	リア		インターンシップ1 大学コンソ京都	1・2・3・4後 2・3後	Ì	2				1		兼1			ヤ リ ア	ポルトガル語圏のくらしと言葉2 インターンシップ1 大学コンソ京都	2・3後		2						
	形成系		インターンシップ2 大谷大学 キャリアデザイン概論1	1 · 2 · 3 · 4後 1 · 2 · 3 · 4前	Ì	2						兼1 兼1		1 3	形成系	インターンシップ2 大谷大学 キャリアデザイン版論1	1・2・3・4後 1・2・3・4前		2						1 1
	科目		キャリアデザイン振論2 キャリアデザイン実践1	1 · 2 · 3 · 4後 2 · 3 · 4後	Ì	2 2						兼1 兼1			科目	キャリアデザイン振論2 キャリアデザイン実践1	1 · 2 · 3 · 4後 2 · 3 · 4後		2						j j
			キャリアデザイン実践2 ワード・プロセッシング入門	3・4前 1・2・3・4前		2 2						兼1 兼1		Ì		キャリアデザイン実践2 ワード・プロセッシング入門	3・4前 1・2・3・4前		2 2						3
			ワード・プロセッシング応用 PC利用による表計算入門	1・2・3・4後	Ì	2 2						兼1 兼1				ワード・プロセッシング応用 PC利用による表計算入門	1・2・3・4後		2 2						1
			PC利用による表計算応用	1 • 2 • 3 • 4後	Ì	2						※1				PC利用による表計算応用	1・2・3・4後		2						3
			PC利用によるプレゼンテーション PC利用によるレポート・論文技法	1・2・3・4後	Ì	2 2						兼1 兼1				PC利用によるプレゼンテーション PC利用によるレポート・論文技法	1・2・3・4後		2 2						ķ
	李		画像処理入門 画像処理応用	1 · 2 · 3 · 4前 1 · 2 · 3 · 4後	H	2		\dashv	-	\dashv	+	兼1 兼1			*	画像処理入門 画像処理応用	1・2・3・4前	-	2		-		-	+	j j
	サア形		PCミュージック入門 PCミュージック応用	1 · 2 · 3 · 4前 1 · 2 · 3 · 4後	Ì	2 2						兼1 兼1			ヤリア II 形	PCミュージック入門 PCミュージック応用	1·2·3·4前 1·2·3·4後		2))
	成系	1	Webサイト構築入門 Webサイト構築応用	1・2・3・4前 1・2・3・4後		2 2						兼1 兼1			形成 系	Webサイト構築入門 Webサイト構築応用	1・2・3・4前		2 2						1 1
			生命のしくみと多様性 自然と生物の科学	1・2・3・4前	Ì	2 2		1		1		兼1 兼1				生命のしくみと多様性 自然と生物の科学	1・2・3・4前		2 2						3
			地震と火山1	1・2・3・4前	Ì	2						₩ 1				地震と火山1	1・2・3・4前		2						*
			地震と火山2 地球科学1	1 · 2 · 3 · 4後 1 · 2 · 3 · 4前		2						兼1 兼1				地震と火山2 地球科学1	1・2・3・4後 1・2・3・4前		2						*
			地球科学2 地球環境と生命の共進化	1 · 2 · 3 · 4後 1 · 2 · 3 · 4後	Ì	2 2						兼1 兼1				地球科学2 地球環境と生命の共進化	1·2·3·4後 1·2·3·4後		2 2						3
			こころの科学 人間理解の心理学	1・2・3・4前	Ì	2 2						兼1 兼1		Ì		こころの科学 人間理解の心理学	1・2・3・4前		2 2						3
	Ė		スポーツと健康の科学1	1・2・3・4前	Ì	2						※1	ŦÜ		ń	スポーツと健康の科学1	1・2・3・4前		2						*
	然生		スポーツと健康の科学2 脳とこころ	1・2・3・4後 1・2・3・4前	Ì	2						兼1 兼1	代総	1	然生	スポーツと健康の科学2 脳とこころ	1・2・3・4後 1・2・3・4前		2						1
	命系科		障害者スポーツ論 生涯スポーツ・レクリエーション活動	1 · 2 · 3 · 4後 1 · 2 · 3 · 4後	Ì	2 2						兼1 兼1	総合科目		- 命 系 科	障害者スポーツ論 生涯スポーツ・レクリエーション活動	1・2・3・4後 1・2・3・4 前		2						j j
	科目		スポーツ研究演習 I 障害者スポーツ研究演習 I	2 · 3 · 4前 2 · 3 · 4前		2 2						兼1 兼1		1	17	スポーツ研究演習 I 障害者スポーツ研究演習 I	2・3・4前 2・3・4前		2 2						1
			単音有人ホーノ研先演音 I スポーツ研究演習 II	2・3・4例	ı	2		- 1	- 1	- 1	- 1	※1	- 1	1		厚杏有 ヘハーノ 切 九 例 白 I スポーツ 研究演習 II	2・3・4例	1	2	1	1	1		- 1	3

			- 1	単位数					の配	置	兼任
科目	授業科目の名称	配当	必	選	自	教	准	講	助	助	111
区分		年 次	修	択	ф	授	教授	師	教	手	兼扣
	障害者スポーツ研究演習Ⅱ	2・3・4後	120	2	Щ	1.8	1.00	Dily	77	7	※1
	カウンセリング	2・3・4前		2							*1
	身体活動 I	1・2・3・4前		1							*±2
	身体活動 I (魔害者スポーツ)	1・2・3・4前		1							#t1
	身体活動Ⅱ	1・2・3・4後		1							兼2
	身体活動Ⅱ (障害者スポーツ)	1・2・3・4後		1							* 1
	人間関係と身体表現	1 • 2 • 3 • 4前		2							兼1
	障害者・病者と共に生きる	1 • 2 • 3 • 4前		2							兼1
	ヨーロッパの宗教と文化 (ドイツ)	1・2・3・4後		2							兼1
	ヨーロッパの宗教と文化 (フランス)	1・2・3・4後		2							兼1
	現代朝鮮半島事情	1・2・3・4後		2							兼1
	現代東南アジア事情	1 • 2 • 3 • 4後		2							兼1
	東南アジアの宗教文化	1・2・3・4前		2							兼1
	近代日本とアジア	1 • 2 • 3 • 4後		2							兼1
	東アジアの宗教文化	1 · 2 · 3 · 4		2							兼1
	古都の歴史と文化	1・2・3・4前		2							兼1
	仏教と美術	1・2・3・4後		2							兼1
	インドの宗教と文化	1・2・3・4後		2							兼1
	中国の宗教と文化 (未開講)	1 · 2 · 3 · 4後		2							兼1
歴史	人と文化	2・3・4後		2							兼1
文	教育学1	1・2・3・4前		2							兼1
化	教育学2	1・2・3・4後		2							兼1
系科	プッダに学ぶ	1・2・3・4前		2							兼1
目	親鸞に学ぶ	1 • 2 • 3 • 4後		2							兼1
	部落差別と大谷派教団1	1・2・3・4前		2							兼1
	部落差別と大谷派教団2	1 • 2 • 3 • 4後		2							兼1
	部落差別と浄土真宗1	1・2・3・4前		2							兼1
	部落差別と浄土真宗2	1・2・3・4後		2							兼1
	部落史論1	1 • 2 • 3 • 4前		2							兼1
	部落史論2	1・2・3・4後	l	2							兼1
	反カースト運動論	1・2・3・4後	l	2		ĺ					兼1
	アイヌ民族と共に	1 · 2 · 3 · 4	l	2							兼1
	アジア侵略と宗教	1・2・3・4後	l	2		ĺ					兼1
	非戦の系譜	1・2・3・4前	l	2		ĺ					兼1
	仏教福祉論	1・2・3・4後		2							兼1
	合計(157科目)	- 生及び開修方法	54	270	0	6	3	2	0	0	羡89

①共通基礎科目18単位以上(人間学 I·II8単位、大学導入科目2単位、必修外国語8単位
②学科専門科目92単位以上(演習16単位、入門・概論8単位、講義科目から40単位以上、
実践研究[A]4単位、[B]16単位以上、卒業研究8単位を修得)
③現代総合科目から6単位以上を修得
④他学部開講科目を興味・関心により履修した場合、最大8単位までを自己選択科目の
単位として認める
①~④の科目を修得し、124単位以上を履修すること

* 必修外国語は英語 I・I の8単位であるが、学生の希望により、文学部に開講するドイツ語、 フランス語、中国語、韓国・朝鮮語を履修させることができる * 履修科目の登録単位数の上限は、年間48単位まで

				単位数	枚	専	任教	員等	の配	置	
科目区分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	
			修	択	由	授	授	師	教	手	
	障害者スポーツ研究演習Ⅱ	2・3・4後		2							Г
	カウンセリング	2・3・4後		2							
	身体活動 I	1 • 2 • 3 • 4前		1							
	身体活動 I (障害者スポーツ)	1 • 2 • 3 • 4前		1							
	身体活動Ⅱ	1 • 2 • 3 • 4後		1							
	身体活動Ⅱ (障害者スポーツ)	1 • 2 • 3 • 4後		1							
	人間関係と身体表現	1 • 2 • 3 • 4前		2							
	障害者・病者と共に生きる	1 • 2 • 3 • 4前		2							
	ヨーロッパの宗教と文化(ドイツ) (未開業)	1・2・3・4後		2							
	ヨーロッパの宗教と文化(フランス) (未開業)	1・2・3・4後		2							
	現代朝鮮半島事情	1 • 2 • 3 • 4後		2							
	現代東南アジア事情	1 • 2 • 3 • 4後		2							
	東南アジアの宗教文化	1 • 2 • 3 • 4前		2							
	近代日本とアジア	1 • 2 • 3 • 4後		2							
	東アジアの宗教文化	1 · 2 · 3 · 4		2							
	古都の歴史と文化	1 • 2 • 3 • 4前		2							
	仏教と美術	1 • 2 • 3 • 4後		2							
	インドの宗教と文化	1・2・3・4後		2							
	中国の宗教と文化 (未開課)	1 • 2 • 3 • 4後		2							
歴	人と文化	2・3・4後		2							
史文	教育学1	1 • 2 • 3 • 4前		2							
化	教育学2	1 • 2 • 3 • 4後		2							
系科	プッダに学ぶ	1 • 2 • 3 • 4前		2							
B	親鸞に学ぶ	1 • 2 • 3 • 4後		2							
	部落差別と大谷派教団1	1 • 2 • 3 • 4前		2							
l	部落差別と大谷派教団2	1・2・3・4後	1	2							l
l	部落差別と浄土真宗1	1・2・3・4前	1	2							l
	部落差別と浄土真宗2	1・2・3・4後		2							ĺ
	部落史論1	1・2・3・4前		2							ĺ
l	部落史論2	1・2・3・4後	1	2							l
	反カースト運動論	1・2・3・4後		2							ĺ
l	アイヌ民族と共に	1 · 2 · 3 · 4	1	2							l
	アジア侵略と宗教	1・2・3・4後		2							ĺ
	非戦の系譜	1 • 2 • 3 • 4前		2							ĺ
	仏教福祉論	1・2・3・4後		2							ĺ
	合計(159科目)	-	54	274	0	6	4	1	0	0	

①共進基礎科目18単位以上(人間学1・II8単位、大学導入科目2単位、必修外国語8単位) ②学科等門科目92単位上(演習18単位、入門一概論単位、講義科目から40単位以上、 実践研究八4単位、(8)16単位以上を修得 ③現代総合科目から単位以上を修得 (3)地では、100円では、

** 必修外国語は英語 I・IIの8単位であるが、学生の希望により、文学部に開講するドイツ語、 フランス語、中国語、韓国・新鮮語を開修させることができる * 履修科目の登録単位数の上限は、年間48単位まで

8

	科目区分		授業科目の名称	配当年次	必修	単位数据	自由	教授	准教授	員等	助数	助手	任・兼担
共	総		人間学 I	1前・後 2・3・4	4	3/	ш	12	12	Dih	70	7	兼
州通基礎	科		人間学Ⅱ	前・後	4								*
礎科目	大導	À	学びの発見	1前	2				1				L
Ħ	外国	修 日語	英語 I	1前・後 2前・後	4								兼兼
			社会学演習 I a 社会学演習 I b	1前	2 2			4	3	1			
	õ	îï	社会学演習Ⅱa 社会学演習Ⅱb	2前 2後	2 2			4	3	1			
	7	9	社会学演習Ⅲa 社会学演習Ⅲb	3前	2 2			6	2 2				
			社会学演習IVa	4前	2			6	2				
	7		社会学演習IVb 仏教社会論	4後 2前	2			6	2				*
			社会学概論 現代社会基礎	2後 1前	2				1	1			
	8	è	社会学入門 現代社会論	1後 1前	2	2		3	1				H
			人間関係論 心理学基礎	1前		2 2			1				*
			現代家族論	2前		2							*
			ジェンダーと社会 比較心理学	2後 2・3前		2			1				*
			社会心理学 現代社会とコミュニケーション	3・4後 2後		2			1				*
			教育社会学 個人と公共	3・4前 1前		2			1				*
			社会問題論 地域社会論	2後 1後		2 2			1				
			地域福祉論1 地域福祉論2	2前 2後		2 2							* *
	20.00	R S	環境社会学 グローバリゼーション論	2・3前		2							*
	*		市民活動論	1後	1	2		Ì	1				*
			ボランティア論 地方自治論	1前	1	2		Ì					*
			犯罪と社会 現代文化論	2前 1後	1	2		1					
			文化社会学 観光社会学	2·3後 2·3前	1	2 2		Ì					* *
学科			宗教と社会 大衆文化論	2後 1・2前	1	2 2		Ì					* *
専門科			スポーツと社会	1・2後	1	2		Ì					*
科目			消費社会論 文化人類学	3・4前 2・3前	1	2		Ì	1				*
			アジア社会論 情報と倫理	2·3後 1後		2 2							* *
		_	情報社会論 情報技術論	1後 2後		2		1					*
	9		社会思想史 社会学史	3・4後 3・4前		2							* *
			社会調査論 社会統計基礎	2·3前 1前	2	2		1	1				*
		A	フィールドワーク技法基礎 フィールドワーク入門1	1後	2	2		1	1	1			-
			フィールドワーク入門2	2後		2		1	1	1			
			探究フィールドワーク1 探究フィールドワーク2	3前 3後		2			2	1			兼兼
			ソーシャル・ドキュメント分析1 ソーシャル・ドキュメント分析2	3前 3後		2		2					
			社会統計演習1 社会統計演習2	2前 2後		2 2		1	1				
	_		メディア・コミュニケーション分析1 メディア・コミュニケーション分析2	3前		2 2		1					
	実践研		社会学文献講読 (人間関係) 1 社会学文献講読 (人間関係) 2	2・3前 2・3後		2		1					
	究	В	社会学文献講読(公共社会)1	2・3前		2		1	1				
			社会学文献講読 (公共社会) 2 社会学文献講読 (現代文化) 1	2 · 3後 2 · 3前		2		1	1				
			社会学文献講読 (現代文化) 2 エスノグラフィ講読・作成1	2 · 3後 3 · 4前		2		1					
			エスノグラフィ講読・作成2 文化人類学文献講読1	3・4後 3・4前		2 2							* *
			文化人類学文献講読2 社会情報学文献講読1	3・4後 2・3・4前		2 2		1					*
			社会情報学文献講読2	2・3・4後		2		1					*
			社会心理学文献講読1 社会心理学文献講読2	3・4前 3・4後		2							*
	卒 研	業究	卒業研究	4通	8			6	2	0	0	0	
			日本国憲法 1 日本国憲法 2	1・2・3・4前		2							* *
			日本国憲法 3 発想から表現へ	1 • 2 • 3 • 4前 1 • 2 • 3 • 4養		2							**
			思考法入門 日本断表現 (入門)	1·2·3·4後 1·2前·後	1	2		Ì					* *
			日本語表現 (実践)	2 · 3 · 4 iti	1	2 2		Ì					* * *
			探究基礎演習 (未開節) ポルトガル話圏のくらしと言葉1	1・2・3・4後	1	2		Ì					兼
			ポルトガル語圏のくらしと言葉2 インターンシップ1 大学コンソ京都 (未開業)	1・2・3・4後 2・3後	1	2		Ì					*
	=		インターンシップ2 大谷大学 (未開講) キャリアデザイン概論1	1 · 2 · 3 · 4後 1 · 2 · 3 · 4前	1	2		Ì					* *
			キャリアデザイン概論2	1・2・3・4後		2 2		Ì					*
			キャリアデザイン実践1	2・3・4後			ı	l					* * *
	开	r K	キャリアデザイン実践1 キャリアデザイン実践2	3・4前		2						ĺ	兼
	カラオ	P 形式 民 斗 =	キャリアデザイン実践1 キャリアデザイン実践2 ワード・プロセッシング入門 ワード・プロセッシング応用	3・4前 1・2・3・4前 1・2・3・4後		2							
	男 万 万 万 万 万 万 万 万 万 万 万 万 万 万 万 万 万 万 万	形裝器斗目	キャリアデザイン実践2 ウード・プロセッシング入門 ワード・プロセッシング応用 PC利用による表針第入門 PC利用による表針第次用	3 · 4 m 1 · 2 · 3 · 4 c		2 2 2 2							兼
	月月月月月月日	P 形装器斗目	キャリアデザイン実践: キャリアデザイン実践: ワード・プロセッシング入門 ワード・プロセッシング以用 PC利用による乗計算応用 PC利用による乗計算応用 PC利用によるでレゼンテーション PC利用によるで、・・・・ 施文技法	3 · 4前 1 · 2 · 3 · 4前 1 · 2 · 3 · 4核 1 · 2 · 3 · 4前 1 · 2 · 3 · 4核 1 · 2 · 3 · 4後 1 · 2 · 3 · 4核		2 2 2 2 2 2							兼兼兼
	7月月 戸 瀬 田	P 形式系列目	キャリアデザイン実践: キャリアデザイン実践: フード・プロセッシング入門 ワード・プロセッシング応用 PC利用による表計第入門 PC利用による表計第二門 PC利用による表計第一門	3 · 4 m 1 · 2 · 3 · 4 m 1 · 2 · 3 · 4 tm 1 · 2 · 3 · 4 tm 1 · 2 · 3 · 4 tm 1 · 2 · 3 · 4 tg 1 · 2 · 3 · 4 tg		2 2 2 2 2							兼兼兼兼
	カルカラを	P 形式表斗目	キャリアデザイン実践は キャリアデザイン実践と ワード・プロセッシングス門 ワード・プロセッシングな用 に利用による表計算入門 に利用による要計算な用 に利用によるが計算な用 に利用によるサポート・論文技法 画像金商人用 同な金ので、アファス円	3 · 4前 1 · 2 · 3 · 4前 1 · 2 · 3 · 4核 1 · 2 · 3 · 4前 1 · 2 · 3 · 4前 1 · 2 · 3 · 4核		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2							兼兼兼兼兼兼
	リンカルジオート	ア 形式 長斗目	キャリアデザイン実践は キャリアデザイン実践と ワード・プロセッシングス門 ワード・プロセッシングな用 PC利用による変計算入門 RC利用による変計算に用 PC利用によるを対算に用 PC利用によるサポート・論文技法 開発の選及用 RCミュージックス円 RCミュージックス円 RCミュージックな用 Beサイト模様入門	3 · 4前 1 · 2 · 3 · 4前 1 · 2 · 3 · 4前 1 · 2 · 3 · 4後 1 · 2 · 3 · 4後 1 · 2 · 3 · 4前 1 · 2 · 3 · 4前		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2							兼兼兼兼兼兼兼兼
	・リンカロタオー	ア形式系列目	キャリアデザイン実践は キャリアデザイン実践。 ワード・プロセッシング公用 アード・プロセッシング公用 PC利用による乗計算ス円 PC利用によるを計算返出 PC利用によるをは一ト・論文技法 開発を選及が用 PCミュージック公用 PCミュージックの内 PCミュージックの内 PCミュージックの内 PCミュージックの内 PCミュージックの内 PCミュージックの内 PCミュージックの内 PCミュージックの内 PCミュージックの内 PCミュージックの内 PCミュージックの内 PCミュージックの内 PCミュージックの内 PCミュージックの内 PCマュージックの内 PCマュージックの内 PCマュージックの内 PCマュージックの内 PCマュージックの内 PCマート・プロート・ PCマート・プロート・ PCマート・プロート・ PCマート・ PCマート・ PCマート・ PCマート・ PCマート・ PCマート・ PCマート PC PC P	3 - 4前 1 - 2 - 3 - 4前 1 - 2 - 3 - 4顿 1 - 2 - 3 - 4顿 1 - 2 - 3 - 4顿 1 - 2 - 3 - 4翰 1 - 2 - 3 - 4翰		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2							******
	・リンガルダオー	产彩发系斗目	キャリアデザイン実践: キャリアデザイン実践: フード・プロセッシングな用 フード・プロセッシングな用 にの利用による素計算応用 にの利用によるま計算応用 にの利用によるセポート・論文技法 関係を選応人円 同僚を選応人円 にとュージック入門 にとュージックな用 にかオード原名人門 にオールドアーク作業等 フィールドアーク作業等 「存化」 「存化」 「存化」 「存化」 「存化」 「存化」 「存化」 「存化」	3 - 4前 1 - 2 - 3 - 4前 1 - 2 - 3 - 4前 1 - 2 - 3 - 4較 1 - 2 - 3 - 4校 1 - 2 - 3 - 4校 1 - 2 - 3 - 4前 1 - 2 - 3 - 4前 1 - 2 - 3 - 4前 1 - 2 - 3 - 4前 2 - 3 - 4		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2							*****
	・10つ 男庭 享者 日	ア形文系斗目	キャリアデザイン実践は キャリアデザイン実践と ワード・プロセッシング及門 ワード・プロセッシングな用 ドC利用による米計算定用 FC利用によるサビラーション PC利用によるサビラーション PC利用によるサビラーション PC利用によるサビラーション PC利用によるサビラーション PC利用によるサビラーション PC利用によるサビラーション PC利用によるサビラーション PC利用によるサビラーション PC利用によるサビラーション PC利用によるサビラーション PC利用によるサビラーション PC利用によるサビラーション PC利用によるサビラーション 中の利用によるサビラーション 中の利用によるサビラーション 中のイトラーンの サークト サークト サークト サークト サークト サークト サークト サークト	3 - 4前 1 - 2 - 3 - 46 1 - 2 - 3 - 46 2 - 3 - 46 1 - 2 - 3 - 46		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2							*************************************
	- 1000 男月 70 著 田	ア形式系列目	キャリアデザイン実践は キャリアデザイン実践と ワード・プロセッシング入門 ワード・プロセッシングに用 に代列用による実計算な用 に代列用によるま計算な用 に代列用によるボート・論文技法 関係処理人用 関係処理人用 関係処理人用 同様処理人用 同様のでは、エンジックな用 にさュージックな月 にてュージックな月 にてュージックは ドペードアーク神典教習 (PRL) オードアーク神典教習 (PRL) オービスと対して、 オードアーク神典教習 (PRL)	3 - 4前 1 - 2 - 3 - 4後 1 - 2 - 3 - 4後 2 - 3 - 46 2 - 3 - 46 2 - 3 - 46 2 - 3 - 46		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2							*************************************
	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P 形式 尽斗目	キャリアデザイン実践は キャリアデザイン実践 ワード・プロセッシング人門 ワード・プロセッシング人門 に利用による資料算入門 に利用による資料算入門 に利用による資料算入門 に利用によるがボート・箱文技法 関係処理人門 関係処理人門 同なるエジック及門 同なるエジック及門 同なるエジック人門 にるエジック人門 によるような。 自然とと社会教育 世会教育 世会教育 世会教育 世会教育 世会教育 世会教育 世会教育 世	3 - 4前 1 - 2 - 3 - 4校 1 - 2 - 3 - 4校 2 - 3 - 40 2 - 3 - 40 2 - 3 - 40 1 - 2 - 3 - 40		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2							米米米米米米米米米
	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ア形皮及科目	キャリアデザイン実践は キャリアデザイン実践は ワード・プロセッシングス門 ワード・プロセッシングな用 に利用による資料算入門 に利用による資料算入門 に利用による資料算入門 に利用による資料算入門 に利用による方針算以前 画像処理人間 になるサンク大戸 にミュージック及門 にミュージックス門 によるサイト情報など。 本地サイト情報ない。 本地サイト情報ないるいますない。 本地サイト情報ないるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいる	3 - 4前 1 - 2 - 3 - 4校 1 - 2 - 3 - 4校 2 - 3 - 4 2 - 3 - 4 2 - 3 - 4 1 - 2 - 3 - 4 2 - 3 - 4 1 - 2 - 3 - 4 1 - 3 - 3 - 4 1 - 3 - 3 - 3 1 -		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2							***************
	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	アジ攻長斗目	キャリアデザイン実践は キャリアデザイン実践は ワード・プロセッシングス門 ワード・プロセッシングな用 に利用による変計算入門 に利用による要計算入門 に利用による要計算入門 に利用によるを計算入門 耐像地域の形 に名画・ジックな円 にるニージックス門 にえニージックス門 にえニージックス門 にえニージックス門 にえニージックス門 によージックス門 によージックス門 によっピード機能応用 本地サイト機能応用 本地サイト機能応用 本地サイト機能応用 を動きれた を動きた金銭管 生命のにようと多様性 自地震・大仙1 地球科学1 にころの科学 人間無極の心理学	3 - 4前 1 - 2 - 3 - 4校 1 - 2 - 3 - 4校 1 - 2 - 3 - 4校 1 - 2 - 3 - 4前 1 - 2 - 3 - 4前 2 - 3 - 46 2 - 3 - 46 2 - 3 - 46 1 - 2 - 3 - 46		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2							*****************
現代	III.		キャリアデザイン実践は キャリアデザイン実践は ワード・プロセッシングル門 ワード・プロセッシング応用 に内側による素計算な用 に内側による素計算な用 にの利用による大計算な用 関係処理人用 関係処理人用 関係処理人用 対象の表別 では、エンジックル門 には、エンジックル門 には、エンジックル には、	3 - 4前 1 - 2 - 3 - 4前 1 - 2 - 3 - 4 4 4 接 1 - 2 - 3 - 4 4 接 1 - 2 - 3 - 4 4 接 1 - 2 - 3 - 4 4 接 1 - 2 - 3 - 4 4 接 1 - 2 - 3 - 4 4 6 前 1 - 2 - 3 - 4 6 前 1 - 2 - 3 - 4 6 前 2 - 3 - 4 6 6 2 - 3 - 4 6 6 1 - 2 - 3 - 4 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2							*************************************
代総合	1		キャリアデザイン実践は キャリアデザイン実践 ワード・プロセッシングル門 ワード・プロセッシングに用 に内側による素計算ル門 に利削による素計算ル門 に利削による表計算ル門 にの利削によるサポート・論文技法 関係処理ル門 同念処理ル門 同念のエジックル門 にさュージックル門 にさュージックル門 にさュージックル門 にオード・開催ル門 オーナ・ドラーク機能を用 フィールドワーク機能を「PRL) 管理と社会を管 社会をと社会を管 性会と社会と社会を管 地球程子と地の中や 地震と人は2 地球科学2 地球研究と生命の共進化 ニーンの科学 によっていた。	3 - 4前 1 - 2 - 3 - 4前 1 - 2 - 3 - 4 4 4 4 4 4 4 4 6 4 6 6 6 6 6 6 6 6 6		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2							接
代総	11 (12 (12 (12 (12 (12 (12 (12 (1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	キャリアデザイン実践は キャリアデザイン実践 ワード・プロセッシッグ人門 ワード・プロセッシッグ人門 ア利用による資料算な用 に利用による資料算な用 に利用による資料算な用 に利用による。対土・論文技法 画像処理人門 にミュージックな用 にはまるよい一ト・論文技法 画像処理人間 にミュージック人門 にミュージック人門 にミュージック人門 にミュージック人の にいまった。 では、カージック人の にいまった。 中では、カージック人の にいまった。 中では、カージック人の にいまった。 中では、カージック人の にいまった。 中では、カージックは 中では、カージックは 中では、カージックは 中では、カージックは 中では、カージック 中では、カージックは 中では、カージー 中では、カ	3 - 4前 1 - 2 - 3 - 4前 1 - 2 - 3 - 4 4前 1 - 2 - 3 - 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2							米米米米米米米米米米米米米米米米米米米米米米米米
代総合科	III III III III III III III III III II	自然是食养手	キャリアデザイン実践は キャリアデザイン実践 ワード・プロセッシッグス門 ワード・プロセッシッグス門 PC利用による実計算工門 PC利用による要計算工門 PC利用による要計算工門 PC利用によるを対算工用 PC利用によるを対算工用 PC利用によるを対算工用 PC利用によるとボート・論文技法 画像を通れ用 PC利用によるとボート・論文技法 画像を通れ用 PCミュージックな円 REホサイト構築応用 Reホサイト構築応用 Reホサイト構築に対し PT・アークの表現質 PT・アークの表現質 PT・アークを表現す 生命のようなを様性 地震を大加は 地球科学 地震と生命の共進化 ニニのの科学 地球球科学 国とここの 国とこころ 国とこころ 国とこころ 国を含まる 国と、アースート 「PC・アースート 「PC・アースー 「PC・アースート 「PC・	3 - 4前 1 - 2 - 3 - 4 前 1 - 2 - 3 - 4 前 1 - 2 - 3 - 4 4 極 1 - 2 - 3 - 4 長 1 - 2 - 3 - 4 長 1 - 2 - 3 - 4 長 1 - 2 - 3 - 4 前 1 - 2 - 3 - 4 前 2 - 3 - 4 前 1 - 2 - 3 - 4 前 4 前 1 - 2 - 3 - 4 前 4 i - 2 - 3 - 4 i 長		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2							兼兼兼兼兼兼兼兼 兼兼兼兼兼

				単位数	Ż	専	任教	員等	の配	置	兼
科目	授業科目の名称	配当	必	選	自	教	准	講	助	助	任
区分	20.001	年 次			_	110	教	AT.	44	-	兼
	a waren		修	択	由	授	授	師	教	手	担
	身体活動 I 身体活動 I (魔害者スポーツ)	1・2・3・4前		1							兼2 兼1
	身体活動Ⅱ(障害有人ホーン)	1・2・3・4例		1							※ 2
	身体活動Ⅱ (障害者スポーツ)			1							
	身体活動Ⅱ (障害者スポーツ) 人間関係と身体表現	1 · 2 · 3 · 4後 1 · 2 · 3 · 4番		2							兼1 兼1
	八回阅述こが许女児 確害者・病者と共に生きる	1 • 2 • 3 • 4 10		2							#t1
	中音名・初名 C 共に生き 9 心理療法機論	2 • 3 • 4ith		2							#1
	心理療法と教育	2 - 3 - 440		2							東1 兼1
-	コーロッパの宗教と文化(ドイツ) (余間鏡)	1・2・3・4後		2							※ 1
				_							
	ヨーロッパの宗教と文化(フランス) (未開業)	1・2・3・4後		2							兼1
	現代朝鮮半島事情	1 • 2 • 3 • 4後		2							兼1
	現代東南アジア事情	1 • 2 • 3 • 4後		2							兼1
	東南アジアの宗教文化	1・2・3・4前		2							兼1
	近代日本とアジア	1 • 2 • 3 • 4後		2							兼1
	東アジアの宗教文化	1 · 2 · 3 · 4		2							兼1
	古都の歴史と文化	1 • 2 • 3 • 4前		2							兼1
	仏教と美術	1・2・3・4後		2							兼1
	インドの宗教と文化 (未開課)	1・2・3・4後		2							※2
per	中国の宗教と文化 (未開課)	1・2・3・4後		2							班2
歴史文	人と文化	2・3・4後		2							兼1
文化	教育学1	1・2・3・4前		2							兼1
系	教育学2	1・2・3・4後		2							兼1
科	プッダに学ぶ	1・2・3・4前		2							兼1
目	親鸞に学ぶ	1・2・3・4後		2							兼1
	部落差別と大谷派教団1	1・2・3・4前		2							兼1
	部落差別と大谷派教団2	1・2・3・4後		2							兼1
	部落差別と浄土真宗1	1・2・3・4前		2							兼1
	部落差別と浄土真宗2	1・2・3・4後		2							兼1
	部落史論1	1・2・3・4前		2							兼1
	部落史論2	1・2・3・4後		2							兼1
	反カースト運動論	1・2・3・4後		2							兼1
	アイヌ民族と共に	1 · 2 · 3 · 4#		2							兼1
	アジア侵略と宗教	1・2・3・4後		2							兼1
	非戦の系譜	1・2・3・4前		2							兼1
	仏教福祉論	1・2・3・4後		2							兼1
	合計(164科目)	-	54	284	0	6	4	1	0	0	兼104
1	卒業要件	+及び履修方法									

・ 必修外国語は英語 I・II の8単位であるが、学生の希望により、文学部に開講するドイツ語、フランス語、中国語、韓国・朝鮮語を履修させることができる
 ・ 履修科目の登録単位数の上限は、年間48単位まで

- (注) ・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(通年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・ 認可申請者又は設置届出価の棒式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 各価の作成方法は「大学の設置等に係ら提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 ・ 協可申収末届出時」には 設置認可申収末届出時の収集利目金で「全様、兼担食食が担当する料目を含む。)を 黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可即収上届出時から変更となっている箇所は**大学の表学**としてください。 一成格書者的小なかったために未開建となった料目についても料目を介徴合し「「大学の情報」」として記入してください。 ・ 1ページ目には認可申収ま届出時と報告年度2つの表を記入してください。 ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は通直開除してください。 (2つの表が1ページに表示えれるようにしてください。) ・ 専門職大学をの場合、「実験、実営以達技による核果料目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業料目には「【臨】」、 「連携実務演習」による授業料目には「【連】」を授業料目の名称の右側に記入してください。

(1) - ②授業科目表に関する変更内容

```
【平成30年度】

・専任担当市の担当コマ教の事情(旧学科料目の担当開講料目数の増加)により別の専任教員に担当を変更。「フィールドワーク技法を選り、教授・講師
・前年度受講者の状況や変更、兼任担当者の事情等を勘案した受講対象学年・開講期別の変更
「免犯から表現」、後期・開
「日本語表現(X件)」」 1・2・3・4ー1・2
「日本語表現(実践)」 前期・2・3・4ー1・2
「日本語表現(実践)」 前期・2・3・4ー1・2・3・4
「PV利用による表計算入門」 2・3・4ー1・2・3・4
「ア利用による表計算入門」 2・3・4ー1・2・3・4
「「ここの科学」 1・2ー1・2・3・4
「人間頭解の心理学」 1・2ー1・2・3・4
「カウンセリング」 1・2・3・4
「カウンセリング」 1・2・3・4
「東アジアの宗教文と」 前期・後期
「アイヌ民族と共に」 前期・後期
```

```
【令和元年度】

- 学生の関係機会を増やすために関修クラスを拡張したことによる変更。
「人間学Ⅱ」:兼(3-表)8、「日本国憲法」・「日本国憲法1・2・3」表1
- 受講入数の通正化、教育の質保証を図るために科目担当教教を増加したことによる変更。
「仏教社会論」:兼一来4、「市民活動論」:兼1一兼2、「フィールドワーク入門1・2」:教授1・講師1一教授1・准教授1・講師5、「インドの宗教と文化」。美一表2
- 専任担当者の昇格(講師-進教授)、「社会学演習Ⅲ a」・「社会学演習Ⅲ b」:教授4・准教授2・講師2・教授4・准教授3・講師1、「社会学演習Ⅳ b」・校授4・准教授3・講師1・教授9・准教授2、「比較心理学」:講師1一准教授1、「社会学演習Ⅳ b」・「社会学演習図 b」・「社会学演習図 b」・「社会学演習図 b」・「社会学演習図 b」・「社会学演習図 b」・「社会学演習 b」・「社会学演習 b」・「社会学演習 b」・「社会学演習 b」・「社会学演習 b」・「社会学演 b)・推教授1・講師1一教授5・准教授2、「学年授3」・教授4・准教授1・講師1一教授5・准教授2・講師1一教授5・准教授2・講師1一教授5・推教授2・講師2 b)・「本会学演習 II b」・教授4・推教授2・講師2 - 教授6・推教授2、「工会学演習 II b」・教授1・非教行・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学が表現5・工会学を表現5・工会学が表現5・工会学を表現5・工会学を表現5・工会学を表現5・工会学を表現5・工会学を表現5・工会学を表現5・工会学を表現5・工会学を表現5・工会学を表現5・工会学を表現5・工会学を表現5・工会学を表現5・工会学を表現5・工会学を表現5・工会学を表現5・工会学を表現5・工会学を表現5・工会学を表現5・工会学を表現5・工会学を表現5・工会学を表現5・工会学を表現5・工会学を表現5・工会学を表現5・工会学を表現5・工会学を表現5・工会学を表現5・工会学を表現5・工会学を表現5・工会学を表現5・工会学を表現5・工会学を表現5・工会を表現5・工会学を表現5・工会学を表現5・工会学を表現5・工会学を表現5・工会学を表現5・工会学を表現5・工会を表現5・工会
```

```
授業科目の新規開設
「青年と社会教育」、「社会福祉と社会教育」、「心理療法概論」、「心理療法と教育」(2020年社会教育課程法改正に対応)
「フィールドワーク特殊液管(PBL)」(「京都市京セラ美術館」をフィールドとしたPBL科目の新規開設)
開講期別変更
「人間関係と身体表現」:前期→後期(担当教員の体調不良による変更)
```

【令和3年度】 中当者交代に伴う変更 授業名称の変更 「インターンシップ1大学コンソ京都」 → 「インターンシップ特殊演習 1 大学コンソ京都」 「インターンシップ2 大谷大学」 → 「インターンシップ特殊演習 2 大谷大学」 開議期別変更 「社会福祉と社会教育」:後期一前期(担当教員(兼任)の本務先都合による担当辞退に伴う担当者変更により) 「人間関係と身体表現」:後期一前期(担当教員(兼担)の体調不良により20年度に期別変更を行ったが、21年度より当初に届出ていた期別に戻した) 「仏教福祉論」 :後期一前期(担当教員(兼任)の本務先都合により)

- (注)・2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、 授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。 変更内容には、授業科目の未開議や廃止については記入しないでください。 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科日数

設証	置時の計画				変更状況			備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	8†	188-75
148 科目	141 科目	0 科目	289 科目	148 科目	154 科目 「13 〕	0 科目	付日	・共通基礎科目「人間学 II」を6科目増設 ・現代総合科目「日本国連 法」を2科目増設 ・現代総合科目「青年とれ 会教育」など5科目増設

(注) ・ <u>未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入</u>するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を 記入してください。 (記入側・1 科目滅句機令・ ハ 1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単	位 梦	数配当年の	一般・	専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1	大衆文化論		2	1 • 2	専門		選択	担当教員 (兼任) の本務校決定による 転居に伴う出講不可により (申出時期 が3月であったため後任人事を進める日 程的な余裕がなかったため)
2	ヨーロッパの宗教と文化(ドイツ)		2	1 • 2 • 3 •	4 一般		選択	新型コロナウイルスの感染拡大に伴う渡航制限等により
3	ヨーロッパの宗教と文化(フランス)		2	1 • 2 • 3 •	4 一般		選択	新型コロナウイルスの感染拡大に伴う渡航制限等により
4	東アジアの宗教文化		2	1 • 2 • 3 •	4 一般		選択	担当教員(兼担)の在外研究により
5	インドの宗教と文化		2	1 • 2 • 3 •	4 一般		選択	新型コロナウイルスの感染拡大に伴う渡航制限等により
6	中国の宗教と文化		2	1 • 2 • 3 •	4 一般		選択	新型コロナウイルスの感染拡大に伴う渡航制限等により

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入して ください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入して ください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

|--|

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、 学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

3 施設・設備の整備状況,経費

	区		分				内				容		備考
(1)		×	分		専	用	共	用	<i>‡</i>	用する他の 校等の専用		ät	
		校:	舎敷均	ė		0.00 m² 41, 194.92 m²		44, 452, 60 41, 194, 92 0, 00	m'	0.00) m²	44, 452, 60 m 41, 194, 92 m	
校		運動	协場用地	3		0. 00 m² 23, 655. 48 m²		29, 680, 12 23, 655, 48	m'	0.0) m²	29, 680, 12 m 23, 655, 48 m	廃止によるもの(在籍 者0名のため廃止認可
地		小	81			0.00 m²		74, 132, 72 64, 850, 40	mi	0.0) mi	74, 132, 72 mi	旧学寮敷地を、建物譲 渡特約付定期借地契約 したことによるもの
等		- 4-				64, 850. 40 m²		0.00	mi			64, 850. 40 m	用途変更及び湖西キャ ンパス人工芝化工事の
		*	の他	ļ.		20, 084. 21 m²		0.00		0.00) mi	20, 746, 62 m 20, 084, 21 m	際の再測量結果による もの (2)
		合	ät	+		0.00 m² 84, 934.61 m²		85, 597, 02 0, 00		0.0) m²	85, 597, 02 m 84, 934, 61 m	
					専	用	共	用	<i>‡</i>	用する他の 校等の専用		ät	
(2) 校			솜			6, 236, 11 mi 6, 160, 94 mi 6, 136, 29 mi		47, 260, 21 46, 989, 56 47, 117, 63	m'	450. 44 447. 04 343. 64	3 m²	53, 946, 78 m	大谷大学短期大学部と
						6, 444, 66 m ² 53, 597, 58 m ² , 236, 11 m ²)	_(4)	46, 999, 11 0, 00 7, 260, 21 m ²		153. 8 0. 0 -(450. 46) mi	53, 597. 58 m	共用 大谷大学短期大学部の 廃止によるもの(3)
					-(6 -(6 -(6	, 160. 94 m²) , 136. 29 m²) , 444. 66 m²)	-(46 -(47	5,989.56 m ² 7,117.63 m ² 5,999.11 m ²)	-(447. 08 -(343. 66 -(153. 81	mî) mî)	(53, 946, 78 m²) (53, 597, 58 m²)	教員の所属変更に伴う 変更 (元) (2)
				:#	(53	,597.58 m³) 演 程		(0.00 ㎡ 実験実)	(0.00	mi)	語学学習施設	
				i#	- ex II	. AM. E	- ±	大歌先	. 	旧报程埋予			大学全体
(3) 教		室	等		61 63 66	安	52 49 室		60 40 室		8室	1 4 室	科目開講実態に対応し た環境整備による変更 (30)
					00	王				(補助職員	0人)	(補助職員 1人)	大谷大学短期大学部の 廃止によるもの(3)
(4) 専	任教	員研究	室			新設学部 社会学部 耳		科		室	11	数 室	_
		新設学	報等		図 書	学術	雑誌			視聴覚資料	機械・器		
(5)	の名称 (ち外国書〕	(うちタ	1 国書〕 種	電子ジャ		点	i	点点	
					9,727[186,46 2,796[181,62		6,648[645] 6, 561[667]		115(0) 589(530)	2,100	30	0	
		社会学部現代社会学科											
	玥	社会学	部 学科		(891, (185, 507))							大学全体、大谷大学短期 大学部との共用 ①学術雑誌:重複登録雑 誌を除外したため(30)
					(185, 538) (873, (183, 467)	(6, 640 727 (6, 503	[640]	(115 -(116 -(590	(0)) (0))	2, 126 -(2, 107) -(2, 088) -(2, 078)	(30)	(0)	はを除外したため(30) ②電子シャーナル:利用 実態を勘案し、契約更新 時に一部解約したため (30)
图書					(181, 405)	81, 405)) (6, 481 -(846, 796		-(000	(000)	(2, 080)			③視聴覚資料:再生不能 になった資料を除却した ため(30)
設備													④図書・学術雑誌:国際 学部新設のため図書の増 設があり、完成年度の見 込み数が増加したため
				889	9,727[186,46	37)	6,648(645)		115(0)	2.100	30	0	(2) ⑤電子ジャーナル: 購読 誌数増加の見込みがない ため(2)
				882	2,796[181,62	11)	6, 561 (667)		589(530)	2,100			⑥外国書:英語以外の言 語圏の図書の希望が減少 1.想定嫌加勢が鈍化した
		8+			(891,								ため。(3) (7)学術雑誌:重複雑誌登録を除外したため。(3)
					-(185, 538) -(873,	729 (6, 653	(640)) (640))	(115	(0))	2, 126 -(2, 107) -(2, 088)	(30)	(0)	
					(183, 467) (863, (181, 405)	(6, 479) (6, 481	(640)	-(589	(530)	(2, 088) -(2, 078) -(2, 080)	(30)	(0)	
		_			-(175,621) 面	積		閲覧座	席数	収	納可	能 冊 数	
(6) 🗵		書	館		_	7, 604. 82	nî		- * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	588	****	1, 115, 833	
(7) 体		育	館		面	積 4,857.06	nf 柔	道		外のスポーツ! 場 弓		道場	
			Þ	×	分	開設年度	完成年月	区	分	開設前年度	開設年	度 完成年度	共同研究費等は大学全
(8)		経費	教員 1	人当り	研究費等	350 千円	350 =	千円 図書	購入費	65. 970 千円 52. 458 千円	63, 028	千円 千円 62, 689 千円	体。 図書購入費、設備購入 悪は、土≪土営短期土
経費の	の見 積り										00, 917	T-F1	学部との共用図書および設備として購入。 図書費には、電子 ジャーナル・データ
維持方	り及び 持方法 共同研り 概要				究 費 等	80,000 千円 54,167 千円	80, 000 7 76, 446 7		購入費	38,300 千円 40,150 千円		千円 千円 10,997 千円	
					1年次	第2年次	第	3 年次	第 4 年	次 第	5年次	第6年次	図書購入費および設備 購入費の増減は、執行 の見直しおよび予算額
			1 人当 J 寸金		100 7 00	1 140 =	- m	140 7 17		0.40			- の変更による。 (30) 共同研究費等、図書購 入費および設備購入費
				1	.190 千円	1,140 ਜ	-14 1	.140 千円	1, 14	0 千円	- 千円	— 千円	の減額は、執行の見直 しによる。 (元) 共同研究費等、図書購
		学生	納付金	以外の細	維持方法の	概要 手数料	、寄付金、	補助金、受	取利息・直	配当金収入等			入費および設備購入費 の増減は、予算額の変 更による。(3)

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。 (複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1) 校地等」及び「(2) 校舎」は大学全体の数字を、その他の 項目はAC対象学部準の数値を記入してください。) ・ 運動場用地が校舎数地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。 ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。 ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」 を併せて提出してください。

 - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	大谷:	大学					学生募集停止学科数	4	平均入学定員超過率 1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業	入学	編入学	収容	学位又	平均入学 定員	令和3年度 入学定員	定員変更 年度	開設	所 在 地	
WIX TIN TO THE	年限年	定員	定 員 年次	定員	は称号	超過率	超過率	(AC期間の学科のみ) 年度	年度年度	771 EL 26	
	#	, ,	人	, ,		10	10	平及	年及		
社会学部	4	220	-	880	-	1. 03	0. 95	-	平成30年度	-	
現代社会学科	4	120	-	480	学士	1. 05	1. 04	-	平成30年度	京都府京都市北区小山 上総町20番地	
コミュニティデザイン学科	4	100	-	400	学士	1. 01	0. 86	-	平成30年度	同上	
<u>教育学部</u>	4	130	-	520	-	1. 02	1. 03	-	平成30年度	-	
<u>教育学科</u>	4	130	-	520	学士 (教育学)	1. 02	1. 03	-	平成30年度	京都府京都市北区小山 上総町20番地	
初等教育コース	4	50	-	200	学士 (教育学)	1. 08	1.06	-	平成30年度	同上	
幼児教育コース	4	80	-	320	学士	0. 99	1. 01	-	平成30年度	同上	
文学部	4	318	-	1, 246	-	1. 04	0. 99	-	昭和24年度	-	
真宗学科	4	60	-	240	学士	0. 98	0. 96	-	昭和40年度	京都府京都市北区小山 上総町20番地	
仏教学科	4	25	-	100	学士	0.89	0. 64	-	昭和24年度	同上	
哲学科	4	50	-	200	学士	1. 19	1. 16	-	昭和24年度	同上	
社会学科	4	-	_	-	学士	-	-	-	昭和40年度	同上	平成30年学生募集停止
歷史学科	4	105	-	410	学士	1. 04	1. 05	令和2年度	昭和40年度	同上	定員変更 (5)
文学科	4	78	-	296	学士	1. 03	0. 92	令和2年度	昭和40年度	同上	定員変更(8)
国際文化学科	4	-	-	-	学士	-	-	-	平成 5年度	同上	令和3年学生募集停止
人文情報学科	4	-	-	-	学士	-	-	-	平成12年度	同上	平成30年学生募集停止
教育・心理学科	4	-	_	-	学士	-	-	-	平成21年度	同上	平成30年学生募集停止
国際学部	4	100	-	100	-	1. 03	1. 03	-	令和3年度	-	
国際文化学科	4	100	-	100	学士	1. 03	1. 03	令和3年度	令和3年度	京都府京都市北区小山 上総町20番地	定員変更(10)
大学の名称		大学大学				平均入学	学生募集停止学科数 令和3年度	定員変更	平均入学定員超過率 1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	定員 超過率	入学定員 超過率	年度 年度 (AC期間の学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次	人		倍	倍				
文学研究科			,								
真宗学専攻			_								
(修士課程)	2	20	_	40	修士	0. 75					
(博士後期課程)	3	, ,			(文学)	0.75	0, 60	-	昭和28年度	= ## ## = ## = # ## ## ## ## ## ## ## ##	
仏教学専攻		3		9	博士	0. 75	0. 60 0. 66	-	昭和28年度 昭和30年度	京都府京都市北区 小山上総町20番地	
(修士課程)		3		9				-			
	2	3 15	-	9 30				-		小山上総町20番地	
(博士後期課程)	2				博士(文学)	0.88	0. 66	- - -	昭和30年度		
		15		30	博文 修文 博文 士学	0. 88	0. 66 0. 06	- - -	昭和30年度昭和28年度	小山上総町20番地	
(博士後期課程) 哲学専攻 (修士課程)	2	15 3	-	30 9 20	博(文 修(文 博(文 修(文	0. 88 0. 06 0. 55 0. 00	0. 66 0. 06 1. 00 0. 00	-	昭和30年度 昭和28年度 昭和30年度 昭和29年度	小山上総町20番地	
(博士後期課程) 哲学專攻 (修士課程) (博士後期課程)	3	15 3		30 9	博(文 修(文 博(文 修 士字) 士字) 士字	0. 88 0. 06 0. 55	0. 66 0. 06 1. 00	-	昭和30年度昭和28年度昭和30年度	小山上総町20番地 同上	
(博士後期課程) 哲学專攻 (修士課程) (博士後期課程) 社会学專攻	3 2 3	15 3 10 3		30 9 20 9	博(文 修(文 博(文 修(文 博(文	0. 88 0. 06 0. 55 0. 00 0. 00	0. 66 0. 06 1. 00 0. 00 0. 00		昭和30年度 昭和28年度 昭和30年度 昭和29年度 昭和31年度	小山上総町20番地 同上 同上	\$50\text{\$\tex{\$\text{\$\exitin}\$\$\text{\$\texititt{\$\text{\$\texititt{\$\text{\$\texitt{\$\text{\$\texititt{\$\texititit{\$\text{\$\texititt{\$\texitit}}}}\$\text{\$\texit{\$\texitt{\$\texitt{\$\texititt{\$\texititi
(博士後期課程) 哲学専攻 (修士課程) (博士後期課程) 社会学専攻 (博士後期課程)	2	15 3		30 9 20	博(文 修(文 博(文 修(文 博 士学) 士学) 士学) 士学) 士	0. 88 0. 06 0. 55 0. 00	0. 66 0. 06 1. 00 0. 00		昭和30年度 昭和28年度 昭和30年度 昭和29年度	小山上総町20番地 同上	令和2年学生募集停止
(博士後期課程) 哲学専攻 (修士課程) (博士後期課程) 社会学専攻 (博士後期課程) 仏教文化専攻	3 3 3	15 3 10 3		30 9 20 9	博文	0. 88 0. 06 0. 55 0. 00 0. 00	0. 66 0. 06 1. 00 0. 00 0. 00		昭和30年度 昭和28年度 昭和30年度 昭和29年度 昭和31年度	小山上総町20番地 同上 同上	令和2年学生募集停止
(博士後期課程) 哲学専攻 (修士課程) (博士後期課程) 社会学専攻 (博士後期課程)	3 2 3	15 3 10 3		30 9 20 9	博文 修文博文 修文博文 博文 修文博士学 士学士学 士学士学 士学士学	0. 88 0. 06 0. 55 0. 00 0. 00	0. 66 0. 06 1. 00 0. 00 0. 00		昭和30年度 昭和28年度 昭和30年度 昭和29年度 昭和31年度	小山上総町20番地 同上 同上	令和2年学生募集停止
(博士後期課程) 哲学専攻 (修士課程) (博士後期課程) 社会学専攻 (博士後期課程) 仏教文化専攻 (修士課程)	3 3 3	15 3 10 3		30 9 20 9	博文	0. 88 0. 06 0. 55 0. 00 0. 00	0. 66 0. 06 1. 00 0. 00 0. 00	-	昭和30年度 昭和28年度 昭和30年度 昭和29年度 昭和31年度	小山上総町20番地 同上 同上	令和2年学生募集停止
(博士後期課程) 哲学専攻 (修士課程) (博士後期課程) 社会学専攻 (博士後期課程) 仏教文化専攻 (修士課程) (博士後期課程)	3 3 3	15 3 10 3		30 9 20 9	博文 修文博文 修文博文 博文 修文博士学 士学士学 士学士学 士学士学	0. 88 0. 06 0. 55 0. 00 0. 00	0. 66 0. 06 1. 00 0. 00 0. 00		昭和30年度 昭和28年度 昭和30年度 昭和29年度 昭和31年度	小山上総町20番地 同上 同上 同上	令和2年学生募集停止
(博士後期課程) 哲学專攻 (修士課程) (博士後期課程) 社会学專攻 (博士後期課程) 仏教文化專攻 (修士課程) (博士後期課程) 国際文化專攻	3 2 3 3 2 3	15 3 10 3 - 10 3		30 9 20 9 - 20 9	博文 修文博文 修文博文 博文 修文博文 修士学 士学士学 士学士学 士学 士学 士学 士学 士学 士学 士	0. 88 0. 06 0. 55 0. 00 0. 00 - 0. 60 0. 00	0. 66 0. 06 1. 00 0. 00 0. 00 - 0. 20 0. 00		昭和30年度 昭和28年度 昭和30年度 昭和31年度 昭和31年度 昭和29年度 昭和29年度	小山上総町20番地 同上 同上	令和2年学生募集停止
(博士後期課程) 哲学專攻 (修士課程) (博士後期課程) 社会学專攻 (博士後期課程) 仏教文化專攻 (修士課程) (博士後期課程) 国際文化專攻 (修士課程)	3 2 3 3 2 3	15 3 10 3 - 10 3		30 9 20 9 - 20 9	博文 修文博文 修文博文 博文 修文博文 修文博 士命	0. 88 0. 06 0. 55 0. 00 0. 00 - 0. 60 0. 00 0. 00	0. 66 0. 06 1. 00 0. 00 0. 00 - 0. 20 0. 00 0. 00		昭和30年度 昭和28年度 昭和30年度 昭和29年度 昭和31年度 昭和31年度	小山上総町20番地 同上 同上 同上	令和2年学生募集停止
(博士後期課程) 哲学專攻 (修士課程) (博士後期課程) 社会学專攻 (博士後期課程) (修士課期課程) (博士後期課程) 国際文化專政 (修士課程) (博士後期課程)	3 2 3 3 2 3	15 3 10 3 - 10 3		30 9 20 9 - 20 9	博文 修文博文 修文博文 博文 修文博文 修文博 士命	0. 88 0. 06 0. 55 0. 00 0. 00 - 0. 60 0. 00 0. 00	0. 66 0. 06 1. 00 0. 00 0. 00 - 0. 20 0. 00 0. 00		昭和30年度 昭和28年度 昭和30年度 昭和29年度 昭和31年度 昭和31年度	小山上総町20番地 同上 同上 同上	令和2年学生募集停止
(博士後期課程) 哲学専攻 (修士課程) (博士後期課程) 社会学専攻 (博士後期課程) 仏教文化・世報程) (博士後期課程) 国際文化・課程) (博士後期課程) 数育・心理学専攻 (修士課程)	3 2 2 3 3 2 2 3 2 2	15 3 10 3 3 10 3 3 10 3 8 8		30 9 20 9 - 20 9 20 9	博文 修 2 博文 修 2 博文 博文 修 2 博文 修 6 2 博文 修 6 2 博文 修 6 2 博文 修 7 博文 修 8 2 博文 修 9 2 博文 6 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	0. 88 0. 06 0. 55 0. 00 0. 00 - 0. 60 0. 00 0. 00 0. 00	0. 66 0. 06 1. 00 0. 00 0. 00 - 0. 20 0. 00 0. 00 0. 00 0. 00		昭和30年度 昭和28年度 昭和30年度 昭和29年度 昭和31年度 昭和31年度 平成13年度 昭和31年度 昭和31年度 平成11年度 平成25年度	小山上総町20番地 同上 同上 同上 同上	
(博士後期課程) 哲学專攻 (修士課程) (博士後期課程) 社会学專及 (博士後期課程) 仏教文化專課程) (博士後期課程) 国際作士後期課程) 国際作士後期課程) (博士後期課程) 教育・心理学程) (修士課程) 教育・心理学程)	3 2 3 3 2 3 2 大谷	15 3 10 3 - 10 3 10 3 8 8 大学短地		30 9 20 9 20 9 16	博文 修文博文 修文博文 博文 修文博文 修文博文 修 (文博文 修 (文博文 修) 大学 士学	0.88 0.06 0.55 0.00 0.00 - 0.60 0.00 0.00 0.12	0.66 0.06 1.00 0.00 0.00 - 0.20 0.00 0.00 0.00 - ****************	定員変更	昭和30年度 昭和28年度 昭和30年度 昭和29年度 昭和31年度 昭和31年度 昭和31年度 平成13年度 昭和29年度 昭和29年度 中成11年度 平成13年度	小山上総町20番地 同上 同上 同上 同上	
(博士後期課程) 哲学専攻 (修士課程) (博士後期課程) 社会学専攻 (博士後期課程) 仏教文化・世報程) (博士後期課程) 国際文化・課程) (博士後期課程) 数育・心理学専攻 (修士課程)	3 2 2 3 3 2 2 3 2 2	15 3 10 3 10 3 10 3 8 数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数		30 9 20 9 - 20 9 20 9	博文 修 2 博文 修 2 博文 博文 修 2 博文 修 6 2 博文 修 6 2 博文 修 6 2 博文 修 7 博文 修 8 2 博文 修 9 2 博文 6 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	0. 88 0. 06 0. 55 0. 00 0. 00 - 0. 60 0. 00 0. 00 0. 00	0. 66 0. 06 1. 00 0. 00 0. 00 - 0. 20 0. 00 0. 00 0. 00 0. 00	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	昭和30年度 昭和28年度 昭和30年度 昭和29年度 昭和31年度 昭和31年度 平成13年度 昭和31年度 昭和31年度 平成11年度 平成25年度	小山上総町20番地 同上 同上 同上 同上	
(博士後期課程) 哲学專攻 (修士課程) (博士後期課程) 社会学專攻 (博士後期課程) (修士課題) (博士後期課程) (博士後期課程) 國際文化事課程) (博士後期課程) 数章・心理學程 (修士課程) 教章・心理學程) 大学の名称	3 2 3 3 2 4 大谷 修業	15 3 10 3 10 3 10 3 8 数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数		30 9 20 9 20 9 16 V容容	博文 修文博文 修文博文 修文博文 修文博文 修 (0.88 0.06 0.55 0.00 0.00 - 0.60 0.00 0.00 0.12	0.66 0.06 1.00 0.00 0.00 - 0.20 0.00 0.00 - 0.000 - ************	定員変更年度	昭和30年度 昭和28年度 昭和29年度 昭和31年度 昭和31年度 昭和31年度 昭和31年度 昭和31年度 昭和31年度 昭和31年度 昭和31年度 明和31年度 明朝31年度 平成13年度 平成13年度 平成13年度 平成13年度	小山上総町20番地 同上 同上 同上 同上	
(博士後期課程) 哲学專攻 (修士課程) (博士後期課程) 社会学專攻 (博士後期課程) (修士課題) (博士後期課程) (博士後期課程) 國際文化事課程) (博士後期課程) 数章・心理學程 (修士課程) 教章・心理學程) 大学の名称	3 2 3 2 3 2 大 條年限	15 3 10 3 10 3 10 3 8 短 大	学 2 学 2 学 2 学	30 9 20 9 20 9 16 kg 容員	博文 修文博文 修文博文 博文 修文博文 修文博文 修改博文 修改 学は土字 士字 士字 士字 士字 士字 士字 士字 士字 七字 七字 七字 七字 七字 七字 七字 七字 七字	0.88 0.06 0.55 0.00 0.00 - 0.60 0.00 0.00 0.12	0.66 0.06 1.00 0.00 0.00 - 0.20 0.00 0.00 0.00 **************	定員変更年度	昭和30年度 昭和28年度 昭和29年度 昭和31年度 昭和31年度 昭和31年度 昭和31年度 昭和31年度 昭和31年度 昭和31年度 昭和31年度 明和31年度 明朝31年度 平成13年度 平成13年度 平成13年度 平成13年度	小山上総町20番地 同上 同上 同上 同上 根上 日上	
(博士後期課程) 哲学專攻 (修士課程) (博士後期課程) 社会学專及 (博士後期課程) 仏教文化專課程) (博士後期課程) 国際作士後期課程) 国際作士後期課程) (博士後期課程) 教育・心理学程) (修士課程) 教育・心理学程)	3 2 3 2 3 2 大 條年限	15 3 10 3 10 3 10 3 8 短 大		30 9 20 9 20 9 16 kg 容員	博文 修文博文 修文博文 修文博文 修文博文 修 (0.88 0.06 0.55 0.00 0.00 - 0.60 0.00 0.00 0.12	0.66 0.06 1.00 0.00 0.00 - 0.20 0.00 0.00 0.00 **************	定員変更年度	昭和30年度 昭和28年度 昭和29年度 昭和31年度 昭和31年度 昭和31年度 昭和31年度 昭和31年度 昭和31年度 昭和31年度 昭和31年度 明和31年度 明朝31年度 平成13年度 平成13年度 平成13年度 平成13年度	小山上総町20番地 同上 同上 同上 同上	

大学の名称	九州	大谷短期	引大学				学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率 1.3倍以上の学科等数	0	備	考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和3年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の学科のみ)	開設 年度	所 在 地		
	年	人	年次 人	人		倍	倍					
仏教学科	2	10	-	20	短期大学士 (仏教学)	0. 65	0. 60	-	昭和45年度	福岡県筑後市蔵数 495-1		
表現学科	2	65	-	130	短期大学士 (表現学)	0.66	0. 56	-	昭和45年度	同上	定員変更(15)	
幼児教育学科	2	100	-	200	短期大学士 (幼児教育 学)	0. 75	0. 82	-	昭和45年度	同上		
福祉学科	2	20	1	40	短期大学士 (介護福祉 学)	0. 50	0. 45	-	平成11年度	同上	定員変更(△15)	

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記乱してください。(専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

 - 記入してください。

5 教員組織の状況

<社会学部 現代社会学科>

(1)一① 担当教員表

[認])担当教員表 【は届出時】		成304	年度】		和元年	度】		和2年	变】		和3年	F度】
専任・ 兼担・ 東任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼日 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任 兼担 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) S <就任(予定)年月>
		担当授業科目名	_		担当授業科目名	_		担当授業科目名			担当授業科目名	-	1	担当授業科目名
		適口 直子 (62) 〈平成30年4月> 社会学演習 I a 社会学演習 I b 社会学演習 IVa 社会学演習 IVb			滝口 直子(2)(2)(平成30年4月>社会学演習 I a社会学演習 I b社会学演習 IVa社会学演習 IVb			適口 直子 (63) 《平成30年4月》 社会学演習 Ia 社会学演習 Ia 社会学演習 Ia 社会学演習 Ia 社会学演習 IA			適口 直子 (64) <平成30年4月> 社会学演習 Ia 社会学演習 Ib (別数)			適口 直子 (65) <平成30年4月> 社会学報告 I a 社会学報告 I b (開始) (開始) (開始)
專	教授	社会学入門 文化人類学 フィールドフーク技法基礎 社会学文献訓練 (人間関係) 1 社会学文献訓練 (人間関係) 2 本業研究	專	教授	社会学入門 文化人類学 フィールドワーク技法基礎 社会学文献講談(人間関係)1 社会学文献講談(人間関係)2 卒業研究	專	教授	社会学施習Va 社会学施習Vb 社会学入門 (機能) フィールとフーク技法基礎 社会学文献講談 (人間関係) 1 社会学文献講談 (人間関係) 2 卒業研究	專	教授	(機能) 社会学表面 16 社会学表面 17 社会学表面 17 社会学表面 17 社会学表面 17 社会学表面 17 社会学表面 (人間関係) 1 社会学文献講談 (人間関係) 2 平東新光	專	教授	
		高井 康弘 (61) 〈平成30年4月〉			高井 康弘 (61) 〈平成30年4月〉			高井 康弘 (62) <平成30年4月>			高井 康弘 (63) <平成30年4月>			高井 康弘 (64) <平成30年4月>
專	教授	社会学演習 1s 社会学演習 1b 社会学演習 1b 社会学演習 1b 大会学演習 1b フィールドワーク入門1 フィールドワーク入門2 スールドワーク入門2 スールドワーク入門3 大会学英勲第(現代文化)2 エスノグラフィ講読・作成1 本豪研究	専	教授	社会学報習 Ia 社会学報習 Ib 社会学報習IVa 社会学報習IVb (明報) フィールドワーク入門コ フィールドワーク人門2 フィールドワーク人門2 社会学家講習Vb (現代文化) 2 エスノグラフィ講読・作成1 卒業新元	専	教授	社会学館 I a 社会学館 I b 社会学館 I b 日 I b I b I b I b I b I b I b I b I b I b	專	教授	社会学館 1 a 社会学報 1 b (例的) 社会学報 1 m a 社会学報 1 m a 社会学報 2 m b 社会学館 2 m b 社会学館 2 m b 社会学館 2 m b 社会学館 2 m b と会学館 2 m b と会学館 2 m b と会学館 3 m b との 2 m b と会学館 3 m b との 4 m b と との 4 m b と と と と と と と と と と と と と と と と と と と	專	教持	社会学演習 1 a 社会学演習 1 (開始) (開始) (開始) (開始) (開始) 世会学演習IVb 社会学演習IVb (開始) フィールドワーク入門1 フィールドワーク入門2 社会学演覧 (現代文化) 2 エス メグラフィ講演・作成1
		脇中 洋 (58) <平成30年4月>			監中 洋 (58) <平成30年4月>			脇中 洋 (59) <平成30年4月>			脇中 洋 (60) <平成30年4月>			脇中 洋 (61) <平成30年4月>
專	教授	社会学家演習 1a 社会学学家演習 Ib 社会学学家演演習 Ib 社会学学等演演演習 Ib 社会学学学学学的 社会会学学学学学学的 社会会学学学学学等 社会会会 社会会会 社会会会 社会会会 社会会会 社会会	專	教授	社会学院習 I a 社会学院部署 I b 社会学院部署 I b 社会学院部署 I a b 社会学院部署 II a b 社会学院部署 II b 社会学院部署 II b 社会学院部署 II b 社会学院学院 II b 社会学院 II b 社会学研究	專	教授	社会学等署 1 a 社会学报图 1 b 社会学报图 1 b 社会学报图 1 a 社会学报图 1 a 社会学等度图 11 a 社会学等度图 11 b 社会会学和 1 b 社会会学和 1 b 社会会学和 1 b 社会会学 1 b 社会会学 1 b 社会会 1 b 社会经验 1 b t 2 b 2 b 2 b 2 b 2 b 2 b 2 b 2 b 2 b	專	教授	社会学课程 I a 社会学课程 I b 社会学课程 II a 社会学学课程 II a 社社会学学学等图 II b 社会学学学等图 II b 社社会学学学学学的 社会会学学学学的 社会会学学学学的 社会会学生社会会 社会会学生社会会 社会会学生社会会	專	教持	社会學解習 I b 社会學解習 I b 社会學解習 II b 社会學解習 II b 社会學解剖 II b 社会學解剖 II b 社社会學解剖 II b 社社会學和學問題 社社会學和 社社会學和 社社会 和 社社 教
		柴田 みゆき (54) <平成30年4月>			柴田 みゆき (54) <平成30年4月>			集田 みゆき (55) <平成30年4月>			柴田 みゆき (56) <平成30年4月>			柴田 みゆき (57) <平成30年4月>
專	教授	社会学演習 II 社会学演習 III 社会学演習 III 社会学演習 III 社会学演習 III 社会学演習 III 社会学演習 III 社会学演習 III 社会学演習 III 「「「「「」」 を表現計畫版 メディア・コミュニケーション分析 大学成子では、 大学成子で、 大学の	專	教授	社会学業型 II 由社会学業型 II 由社会学業型 II 由社会学業型 II 由社会学装置 II 由社会学装置 II 由社会学装置 IV 由 社会学装置 IV 由 日本	專	教授	社会学展習目由 社会学展習目由 社会学展習III由 社会学展習III由 社会学展習III由 社会学展習III日 社会学展習IVI 情報社会論 社会学展習IVI 情報社会論 大デイア・コミュニケーション分析2 大デイア・コミュニケーション分析2 社会情報学文献構造1	專	教授	社会学院署目由 社会学院署目由 社会学院署目由 社会学院署IIB 社会学院署IIB 社会学院署IIB 社会学院署IIB 社会学院署IIB 情報社会論 社会院出る。 大デイイ・ココ、ニケーション分析1 メディイ・ココ、ニケーション分析2 社会情格学文献講測1	專	教持	社会学議署 III・ 社会学議署 III・ 社会学議署 III・ 社会学議署 III・ 社会学議署 III・ 社会学議署 III・ 社会学議署 III・ 社会会議 社会会議 基礎 メディア・コミュニケーション分析2 大学パア・コミュニケーション分析2 大学が発展を開発する。 本学研究
		野村 明宏 (47) <平成30年4月>			野村 明宏 (48) < 平成30年4月 >			野村 明宏 (49) <平成30年4月>			野村 明宏 (50) <平成30年4月>			野村 明宏 (51) <平成30年4月>
專	教授	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	專	教授	社会学家選Ⅱa 社会学報選Ⅲb 社会学報選Ⅲb 社会学報選Ⅲb 社会学報選IVb 社会学研選IVb 社会学校選IVb 社会学校工作。 ドキュメント分析1 ソー・シャドキュメント分析2 メー・シャドキュメント分析2 本業研究 (現代文化)	專	教授	社会学展別日本社会学展別日本社会学展別日本社会学展別日本社会学展別日本社会学展別日本社会学展別日本社会学展別VB社会学展別VB社会学展別VB社会学成本化学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学	專	教授	社会学業費目由 社会学業費目由 社会学等費目由 社会学等費目由 社会学等費目的 社会学及署UN 社会学及第UN 社会学及2000 社会学及2000 社会学及2000 社会学及2000 社会学及2000 社会学及2000 社会学及2000 本文学を表示している。 のであり、 のであり。 のであり、 のであり、 のであり、 のであり、 のであり、 のであり、 のであり。 のでも。 のでも。 のでも。 のでも。 のでも。 のでも。 のでも。 のでも	專	教授(学)	社会学入門
		阿部 利洋 (44) <平成30年4月>			阿部 利洋 (45) < 平成30年4月 >			阿部 利洋 (46) <平成30年4月>			阿部 利洋 (47) <平成30年4月>			阿部 利泮 (48) <平成30年4月>
專	教授	社会学演習 1。 社会学演習 1。 社会学演習 1。 社会学演習 18。 社会学演習 18。 社会学 社会学 社会学 は一述 社会学 は一述 社会学 は一述 社会学 は一述 社会学 は一述 は一述 は一述 は一述 は一述 は一述 は一述 は一述	專	教授	社会学業型 1 社会学業型 1 b 社会学業型 1 b 社会学業型 1 b 社会学業型 1 b 社会学業署 1 b 社会学業署 1 b 社会学業署 1 b 社会学業署 1 b 社会学業署 1 v 社会学業署 1 v 社会学業署 1 v 社会学業署 1 v 社会学業署 1 v 社会学業署 1 v 社会学業署 1 v 社会学表	専	教授	社会学報酬 1 由 社会学報酬 1 由 社会学報酬 1 由 社会学報酬 1 由 社会学報酬 1 1 由 社会学報酬 1 1 由 社会学報酬 2 1 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日	專	教授	社会学議費 18 社会学議費 18 社会学議費 118 社会学議費 118 社会学議費 118 社会学議費 118 社会学議費 118 社会学議費 118 社会学議費 118 社会学議費 118 社会学議費 118 社会学表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表	專	教授	社会学演習 1a 社会学演習 1b 社会学演習 1b 社会学演習 1b 社会学演習 1b 社会学演習 1b 社会学演習 1b 社会学演習 1b 社会学演習 1b 社会学演習 1b 社会学演習 1Va 社会学表明 ソーシャル・ドキュメント分析1 ソーシャル・ドキュメント分析2 本業研究

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名		専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月>
專	准教授	相当授業科目名 田中 正隆 (マルスの年4月> 学びの発見 社会学演習10 社会学演	專	准教授	相当授業科目名 田中 正隆 (50) (50) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (7	專	准教授	相当提集和目名 田中 正隆 (3) (3) (4)(4) (4)(4) (4)(4) (4)(4) (4)(4) (4)(4) (4)(4) (4)(4) (4)(4) (4)(4) (4)(4) (4)(4) (4)(4) (4)(4) (4)(4) (4)(4)(4) (4)(4)(4) (4)(4)(4)(4) (4)(4)(4)(4) (4)(4)(4)(4)(4) (4)(4)(4)(4)(4) (4)(4)(4)(4)(4) (4)(4)(4)(4)(4)(4) (4)(4)(4)(4)(4)(4) (4)(4)(4)(4)(4)(4) (4)(4)(4)(4)(4)(4)(4) (4)(4)(4)(4)(4)(4)(4) (4)(4)(4)(4)(4)(4)(4) (4)(4)(4)(4)(4)(4)(4) (4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4) (4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4) (4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4) (4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(專	准教授	担当侵棄科目名 田中 正隆 (マルスの年4月) (開始) 日本会学報告 1 由 社会学報告 1 由 社会学表示 1 由 1 由 1 由 1 由 1 由 1 由 1 由 1 由 1 由 1	專	准教授	担当接乗科目名 田中 正隆 (GS) (不成功年4月> (事務) (本成功年4月> (事務) (本成功年4月> (事務) (本の年末費1 は 社会学業費1 は 社会学業務1 は は (公共社会) 2
專	准教授	### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	專	准教授	地田 剛 (46) (46) (46) (46) (46) (46) (46) (46)	專	准教授	徳田 剛 (マルス) (マルドワーク1 提売フィールドワーク2 社会学文献講談 (公共社会) 1	專	准教授	徳田 剛 (48) (48) (平成20年4月> 社会学演習 1a 社会学演習 1b 社会学演習 1b 社会学演習 1b 社会学演習 1b 社会学演習 1b 経済主義 地域社会論 程度アイールドワーク1 接定アイールドワーク2 社会学文献講談(公共社会) 1	專	准教授	徳田 剛 (49) 《平成20年4月> 社会学演習 1 b 社会学演習 2 b 社会学演習 2 b 社会学演習 3 b 社会学演習 4 b 社会財産 関係との共 社会問題 権援党フィールドワーク1 接党フィールドワーク2 社会学 文献講談 (公共社会) 1
專	准教授	渡邉 拓也 (43) 《平成30年4月> 社会学議費11 は 社会学議費11 は 社会学議費11 は 社会学議費11 は 社会学議費11 は 社会学務費11 は 社会学務	專	准教授	渡唐 拓也 (43) 《平成30年4月> 王会学業習 18 社会学業習 18 社会学業習 18 社会学業習 18 社会学業習 18 社会学教習 18 社会学教	專	准教授	渡邊 柘也 (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4)	專		渡邊 拓也 (45) 《平成20年4月> 計会学議官 1 由 社会学議官 1 由 社会学議官 1 由 社会学議官 1 国 社会学議官 1 国 社会学教育 2 国 ない、アーイールドワーク 3 国 対策のアーイールドワーク 2 字 来研 元	專		渡邉 拓也 (46) 《平成30年4月> 社会学務實 11 自 社会学務 11 自 は会学格 1
專	練師	高橋 真 (40) (40) (平成30年4月> 社会学版習 II a 社会学版習 II a 社会学版習 II a 社会学版習 II a 社会学報酬助 社会学等習 II b 社会学等習 II b 社会学等 II b 社会学标识 II b 社会表析 II b 社会表析 II b 社会表析 II b エース・アーン・アーン・アーン・アーン・アーン・アーン・アーン・アーン・アーン・アーン	專	3件9行	高橋 真 (41) (平成30年4月> 社会学版習Ⅱ。 社会学版習Ⅲ。 社会学版習Ⅲ。 社会学版習Ⅲ。 社会学版習Ⅲ。 社会学版習Ⅱ。 社会学版習Ⅱ。 社会学版習Ⅱ。 社会学版習Ⅳ。 社会学版習Ⅳ。 社会學版書刊。 社会報告報音 社会報告報音 社会報告報音 インターンシップ1大学コンソ京都 学びの発見	專	准数包	高橋 真 (42) (42) (42) (42) (42) (42) (42) (42)	專	推教授	高橋 真 《平成20年4月》 社会学版書 II a 社会学版書 II a 社会学版書 II a 社会学版書 II a 社会学版書 II b 社会学常署 II b 社会经验 II b 任任 II b 《 II b	專	准教授	高橋 真 (44) 《平成30年4月》 社会学版書 II a 社会学版書 II a 社会学版書 II b 社会学所書 II a 社会学所書 II b 社会经报传
專	講師	古谷(39) 本子(39) 本子(39) 本子(39) 本子(39) 本会学(39) 社会学(39) 社会学(39) 社会学(39) 社会学(39) 工会学(39) 工会	專	譯的	古谷 伸子 (50) (平成20年4月 > 平成20年4月 > 王会学報習 1 b 社会学報習 1 b 社会学報書 1	專	濟的	古容 申子 (40) 《平成3年4月> 本会学演習 1 社会学演習 1 社会学演習 1 代	專	評師	古谷 伸子 (4) 1) (平成20年4月) 社会学議習 1a 社会学議習 1a 社会学業習 1a 社会学業習 1a 社会学業 1a 社会学業 1a 社会学業 1b 社会学業 1b 社会学業 1b 社会学業 1b 社会学業 1b 社会学業 1c 社会学生 1c はいていていていていていていていていていていていていていていていていていていて	專	講師	古谷 物子 (20) (平成3年4月> 社会学議習 1a 社会学議習 1a 社会学議習 1a 社会学議習 1a 社会学議習 1m 社会学議習 1m 社会学議習 1m 大会学議習 1m 大会学議書 1m 大会学表書 1m 大会学表表 1m 大会学
兼担	教授	ロバート ローズ (64) 《平成31年4月> 人間学Ⅱ	兼担	教授	ロバート ローズ (64) 〈平成31年4月> 人間学Ⅱ	兼任	饓師	ロバート ローズ (65) <令和元年4月> 人同学 II	兼任	韓師	ロバート ローズ (66) 〈令和元年4月〉 人間学Ⅱ	兼任	錦師	ロバート ローズ (67) <合和元年4月> 人間学Ⅱ
			兼担	教授	東瀬 克己 (64) <平成30年4月> 現党基礎演習	兼担	教授	兼職 充己 (65) 〈平成30年4月> 栗死高典拘賀						
兼担	教授	織田 顕祐 (63) 〈平成31年4月〉 人同学Ⅱ	兼担	教授	織田 顕祐 (63) 〈平成31年4月〉 人間学Ⅱ	兼担	教授	織田 顕祐 (64) 《令和元年4月》 人間学日	兼任	辞師	織田 顕祐 (65) <令和元年4月> 人間学Ⅱ	兼任	錦師	織田 顕祐 (66) 〈令和元年4月〉 人間学Ⅱ
兼担	教授	村 - 功 (64) <平成20年4月> 日本語表現 (人門)	兼担	教授	村 - 功 (64) <平成30年4月 > 日本語表現 (入門)	兼任	酔師	朴 - 功 (65) <平成30年4月> 日本新表現 (人門)	兼任	蟾解	村 — 功 (66) <平成20年4月> 日本語表現 (入門)	兼任	蜂節	朴 一 功 (67) <平成30年4月> 日本語表現 (入門)
兼担	教授	山下 養照 (v2) (v2) (平成20年4月> インターンシップ3大谷大学 キャリアデザイン実践2 キャリアデザイン実践2	兼担	教授	山下 書昭 (62) (平成30年4月 > インターンシップ2大谷大学 キャリアデザイン実践1 市民括動	兼担	教授	山下 兼明 (33) (33) (平成3)年4月> インターンシップ3大谷大学 キャリアデザイン実施 市民活動権	兼担	教授	山下 養明 (24) (24) (平成20年4月> インターンシップ2大名大学 キャリアデザイン実践2 市民活動会			

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) < 就任 (予定) 年月> 担当授業科目名		専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) < 就任 (予定) 年月> 担当授業科目名	専任 兼担 兼任 の別		氏 名 (年 齢) (年) 年月 > 担当投業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
兼担	教授	平尾 食治 (60) 《平成31年4月> 地域福祉論1 地域福祉論2		兼担	教授	平尾 負治 (60) (平成31年4月> 地域福祉論2	- 兼担	教授	平尾 具拾 (c1) 《令和元年4月》 地域福祉論1 地域福祉論2	兼持	组	平尾 良苗 (62) 《令和元年4月》 地域福祉論1 地域福祉論2	兼担	教授	平尾 良治 (63) <令和元年4月>
							- 兼担	教授	山本 妻子 (c2) く命和元年4月> インターンシップ1大学コンソ京都	兼	10 1	ル本 妻子 (83) <令和元年4月> ※校 インターンシップ1大学コンソ京都	-		
				兼担	教授	- 楽 賞 (60) <平成30年4月> 人間学I	- 兼担	教授	- 楽 漢 (61) (金和元年4月> (開助) 人間学工	兼	阻(一来 其 〈令和元年4月〉 (別論) 人間辛11	- 兼担	數據	一楽 真 (63) (63) (63) (63) (63) (63) (63) (63)
兼担	教授			兼担	教授	渡辺 啓真 (59) <平成30年4月> 情報と倫理	兼担	教授	渡辺 啓真 (60) <平成30年4月> 情報と倫理	兼抗	19.	渡辺 啓真 (61) 《平成30年4月》 教授 情報と倫理	- 兼担	教授	渡辺 啓真 (62) <平成30年4月> 情報と倫理
							-			兼	E 4	井上 隣集 (60)4 (60) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (7	- 兼担	數據	井上 陶実 (61) <令和2年4月> - - - - - - - - - - - - - - - - - - -
							-			兼	10 1	宮崎 権可 (60) <合和2年4月> フィールドワーク特殊演習 (PEL)	- 兼担	教授	富権 権司 (61) <合和2年4月> フィールドワーク特殊演習 (PBL)
兼担	教授	木越 康 (55) <平成31年4月> 仏教社会論		兼担	教授	本館 康 (55) <平成31年4月> 仏教社会論	- 兼担	教授	本越 康 (56) 《令和元年4月》 仏教社会論	兼挂	组	木越 康 (57) <令和完年4月> 扱授 仏教社会論	- 兼担	教授	大幅 準 (58) <令和元年4月>
兼担	教授	志藤 修史 (54) 〈平成32年4月〉 地方自治論		兼担	教授	志藤 修史 (54) 〈平成32年4月〉 地方自洽論	- 兼担	教授	志藤 修史 (55) <令和2年4月> 地方自治論	兼	担	志藤 修史 (56) 《令和2年4月》 幾方自治論	兼担	教授	志藤 修史 (57) 〈令和2年4月〉 *地方自治論
兼担	教授	福島 栄寿 (53) <平改31年4月> 人間学Ⅱ					-						-		
							-						- 兼担	### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	携着 都彦 (64) <令和3年4月> オンターンシップ特殊演習1大学コン ソ京都
兼担	教授	鈴木 芳 志 (51) 〈平改39年月〉 人間学Ⅱ 地震と火山1		兼担	教授	鈴木 寿志 (51) 〈平成30年4月〉 人間学Ⅱ 地震と火山1	- 兼担	教授	鈴木 寿志 (52) 〈平成30年4月> 入岡学Ⅱ 地震と火山1	兼持	担	鈴木 寿志 (53) 《平成30年4月》 人間学日 地膜と火山1	兼担	教授	鈴木 寿志 (54) <平成30年4月> ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
			-				-						- 兼担	### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	安田 職人 (S3) <令和9年4月> ゼ インターンシップ神典演習2大谷大学
兼担	教授	田中 久美子 (46) (46) (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47	-	兼担	教授	田中	兼担	教授	田中	兼技	组。	田中 次美子 (48) 〈令和2年月> 社会心理学文献講述 社会心理学文献講述	兼担	教授	田中 久美子 (49) 《令和2年月》 社会心理学文獻讓談1 社会心理学文獻讓談1
				兼担	維節	宮間 基券 (51) <平成30年4月> 人間学 I	兼担	教授	宮間 <u>基</u> 券 (52) <平成30年4月> 人間学1	兼	10 1	万円 重労 (53) (53) (平成3)年4月 (54) (大同学 I	- 兼担	₩	宮間 差券 (54) 《平成30年4月>

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 爺) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任 兼担 兼任 の別		氏 名 (年 齡) < 就任 (予定) 年月> 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) < 就任 (予定) 年月> 担当授業科目名
			兼担	准教授	井上 和久 (56) <平成31年4月> 人間芋Ⅱ	兼担	推教者	井上 和久 (67) (今和元年4月> 大関学I	*	且准數	井上 和久 (68) 〈令和元年4月〉 【開学I	兼担	推験包	井上 和久 (69) 〈令和元年4月〉 人開辛I
						兼担	准款	四方 保仁 (58) <今和元年4月> 大周学I	*	祖 神教:	四方 保仁 (59) <令和元年4月> ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			
兼担	准教授	藤原 正寿 (55) 《平成30年月》 部落差別上大谷孫教団1 部落差別上大谷孫教団2 部落支蘭2	兼担	准教授	藤原 正寿 (55) 《平成30年月> 総落港別と大谷系教団1 総落港別と大谷系教団2 (開始) (開始)	兼担	准教技	藤原 正寿 (56) 《平成の年月> 部落差別と大谷派教団 (所版) (所版) (の版) (の版) (の版) (の版)	兼	担 准教村	藤原 正寿 (37) 《平成の年月》 ※高差別と大谷県教団 ※高差別と大谷県教団 ※高差別と大谷県教団 (開始) ・	兼担	准教授	藤原 正寿 (58) 《平成の中4月》 岡彦差別と大谷高菱信1 岡彦差別と大谷高菱信2 (開始) (開始) 中国の赤硬と文化
兼担	准教授	武田 和哉 (52) 〈平成31年4月〉 社会情報学文献講読2	兼担	准教授	共田 和故 (52) 〈平成31年4月〉 社会情報学文献簿號2	兼担	教授	武田 和赦 (53) <令和元年4月> 社会情報学文献講読2	兼:	9 86	武田 和哉 (54) 〈令和元年4月〉 社会情報学文献講述2	兼担	教授	武田 和哉 (55) 〈令和元年4月〉 社会情報学文献講読2
兼担	准教授	善	兼担	准教授	喜多 惠東子 (51) 《平成30年4月》 現代朝鮮半島事情	兼担	教授	書多 恵美子 (52) 〈平成30年4月〉 現代朝鮮半島事情	兼	9 83	書多 惠美子 (53) 〈平成30年4月〉 現代朝鮮半島事情	兼担	教授	審多 惠美子 (54) 〈平成30年4月〉 現代朝鮮半島事情
兼担	准教授	酒井 惠光 (50) 《平成31年4月》 情報技術論	兼担	准教授	酒井 恵光 (50) 〈平成31年4月〉 情報技術論	兼担	准教授	西井 恵光 (51) <令和元年4月> 情報技術論	兼	担 准教持	酒井 惠光 (52) (今和元年4月> (市報技術論	兼担	准教授	酒井 惠光 (53) 《令和元年4月》 博報技術論
						兼担	准款款	DAST SHORMA (52) <令和元年4月> インドの宗教と文化	*	组 推教:	DASH SROBIA (53) <令和元年4月> インドの素優と文化	兼担	教授	DASH SHOBIA (64) (今和元年4月> インドの乗載と文化 反カースト運動機
兼担	准教授	三宅 伸一郎 (51) 〈平成30年4月〉 下利用によるレポート・論文技法 プッグに学ぶ	兼担	准教授	三宅 伸一郎 (51) マ甲成30年4月> PC利用によるレポート・議文技法 ブッダに学ぶ	兼担	教授	三宅 伸一郎 (52) マ平成30年4月> 区利用によるレポート・論文技法 ブッダに学ぶ	兼	£ #55	三宅 伸一郎 (53) 〈平成30年4月〉 PC利用によるレポート・論文技法 (制除)			
兼担	准教授	井上 摩紀 (49) 《平成30年4月》 人間関係と身体表現	兼担	准教授	井上 摩紀 (49) <平成30年4月> 人間関係と身体表現	兼担	教授	井上 際紀 (50) 〈平成30年4月〉 人間関係と身体表現	兼	£ 63	井上 際紀 (51) <平成30年4月> 人間関係と身体表現	兼担	教授	井上 摩紀 (52) <平成30年4月> 入間関係と身体表現
兼担	准教授	藤田 義孝 (48) <平成30年4月> ヨーロッパの宗教と文化(フラン ス)	兼担	准教授	府田 義孝 (49) <平成30平4月> ヨーロッパの宗教と文化(フランス)	兼担	教授	藤田 義孝 (50) 《平成30年4月> ヨーロッパの宗教と文化(フランス)	兼	£ #55	藤田 義孝 (51) <平成30年4月> ヨーロッパの宗教と文化(フランス)	兼担	教授	藤田 義孝 (52) 〈平成30年4月〉 ヨーロッパの宗教と文化(フランス)
兼担	准教授	釆署 男 (48) <平成31年4月> 人間学Ⅱ	兼担	准教授	釆帯 男 (49) <平成31平4月> 人間学Ⅱ	兼担	准教技	采题 是 (49) (49) (49) (49) (49) (49) (49) (49)	兼	担 准教技	禾譽 是 (50) <令和元年4月> ○ 人間学Ⅱ	兼担	教授	来器 是 (51) <令和元年4月> 人間学II ブッグに学ぶ
兼担	准教授	策浦 暁雄 (48) 〈平成30年4月〉 中国の宗教と文化 反カースト運動論	兼担	准教授	笑浦 暁雄 (48) <平成30年4月> 中国の宗教と文化 反カースト運動論	兼担	教授	英浦 聴維 (49) <平成30年4月> 中国の宗教と文化 反カースト運動論	兼:	£ #6	英浦 晩雄 (50) <平成30年4月> (削除) 反カースト運動論			
兼担	准教授	山田 恵文 (47) 《平成30年4月》 人間学1	兼担	准教授	山田 恵文 (47) 〈平成30年4月〉 人間学I	兼担	准教授	山田 恵文 (48) 〈平成30年4月〉 ○ 大問学Ⅱ 人問学Ⅱ	兼	担 准教技	山田 東文 (49) <平成30年4月> ^章 人間学 I 人間学 I	兼担	准教授	山田 恵文 (59) <平成30年4月> 人間学 I 人間学 I
兼担	准教授	大業 一浩 (45) <平成31年4月> 人同学Ⅱ	兼担	准教授	大業 一浩 (45) <平成31年4月> 人間学Ⅱ	兼担	准教技	大藥 一倍 (46) <令和完年4月>	兼	担 准教技	大業 一语 (47) 《令和完年4月》	兼担	准教授	大業 一清 (48) <令和元年4月> 人同学Ⅱ

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) (末 (7) (2) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
<i>57//</i> 1	******	担当授業科目名		****	担当授業科目名		***	担当授業科目名		10.11	担当授業科目名	57,75	***************************************	担当授業科目名
兼担	准教授	藤枝 真 (45) <平成31年4月> 人同学Ⅱ	兼担	准教授	療校 真 (45) ⟨平成31年4月⟩ 人間学Ⅱ	兼担	准教技	藤枝 廣 (46) 《令和元年4月》 《 《 人間学Ⅱ	兼担	准教授	離校 真 (47) <令和元年4月> 人間学Ⅱ	兼担	准教授	藤枝 真 (48) 《令和元年4月》 人間学Ⅱ
						兼担	准数	石本 哲子 (46) (今和元年4月> 美	兼担	准教授	石本 哲子 (47) (今和元年4月> 英斯耳	兼担	准教授	石本 哲子 (48) <令和元年4月> 英暦II
兼担	准教授	三浦 灣史加 〈平成30年4月〉 発型から表現へ 日本語表現 (実践)	兼担	准教授	三浦 警史加 (45) 《平成31年4月》 (例時) 日本語表現 (実践)	兼担	准教技	三浦 誉史加 (46) (今和元年4月> (創版) 日本語表現 (実践)	兼担	准教授	三浦 寮史加 (47) (全和元年4月> (NIS) 日本語表現 (実践)	兼担	准教授	三浦 譽史加 (48) 《令和元年4月》 (和於) 日本語表現 (実践)
兼担	准教授	高額 淳也 (44) <平成30年4月> 生涯スポーツ・レクリエーション活動												
兼担	准教授	井黒 忍 (43) <平成30年4月> 東アジアの宗教文化				兼担	准教	井高 基 (48) (中和元年4月> 東アジアの宗教文化	兼担	准教授	井黒 忍 (46) <令和元年4月> 東アジアの宗教文化 中国の宗教と文化	兼担	准象技	井黒 忍 (47) <令和元年4月> 東アジアの宗教文化 中国の宗教と文化
兼担	准教授	廣川 智貴 (44) (44) (平成30年4月 > コーロッパの宗教と文化(ドイツ)	兼担	准教授	廃川 智貴 (44) 〈平成30年4月〉 ヨーロッパの宗教と文化(ドイツ)	兼担	准教持	壊川 智貴 (45) <平成30年4月> ▼ ヨーロッパの宗教と文化(ドイツ)	兼担	准教授	寮川 智貴 (46) (46) (47) (47) (47) (47) (47) (47)	兼担	准教授	廉川 智貴 (47) <平成30年4月> ヨーロッパの宗教と文化(ドイツ)
						兼担	准数	赤澤 清李 (44) (今和元年4月> 大岡学豆	兼担	准教授	#釋 清孝 (45) <令和元年4月> 人同学Ⅱ	兼担	准教授	赤海 清孝 (46) (今和元年4月> 人間学耳
兼担	講師	新田 智通 (47) 《平成31年4月》 人間学Ⅱ	兼担	課節	新田 智通 (47) 〈平成31年4月〉 人間学Ⅱ	兼担	准数	新田 智通 (48) (今和元年4月> 人同学日	兼担	准教授	新田 智通 (49) 《令和元年4月》 人間学Ⅱ	兼担	准款技	新田 智通 (50) 《令和完年4月》 人間学Ⅱ
兼担	講師	藤元 雅文 (45) 《平成30年4月》 人間学 I				兼担	准数	■元 積文 (46) <令和元年4月> ※ 仏教社会権	兼担	准教授	原元 雅文 (47) <會和元年4月> 仏教社会論	兼担	准教授	展元 雅文 〈令和元年4月〉 仏教社会論
兼担	講師	川端 泰幸 (42) 〈平成30年4月> 探究基礎演習												
						兼担	牌解	M. J. CONTAY (42) (全和元年4月> 機器に挙ぶ	兼担	推新	M. J. CONVAY (48) <今和元年4月> 悪雪に挙ぶ	兼担	准象技	M. J. CONTAY (44) <令和元年4月> 製御に挙ぶ
						兼担	勒數	原末 幸子 (41) <合和元年4月> 英新 1	兼担	助教	爾末 幸子 (42) 〈令和元年4月〉 英暦 I	兼任	蜂節	野木 幸子 (45) <令和元年4月> 英暦 I
兼担	講師	大原 ゆい (38) 〈平成30年4月〉 市民活動論 ボランティア論	兼担	評价	大原 ゆい (39) 〈平成30年4月> 市民活動論 ボランティア論	兼担	溝師	大原 ゆい (40) <平成30年4月> 市民活動論 ボランティア論	兼担	講師	大原 ゆい (41) 〈平成30年4月〉 市民活動論 ボランティア論	兼担	講師	大原 がい (42) 〈平成30年4月〉 市民活動論 ボランティア論
									兼担	韓師	戸次 服 修 (38) 〈令和2年4月〉 ブッダに学ぶ			

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月>	専任 兼担 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名		専任 兼担 兼任 の別	. 氏 名 (年 齢) 《就任 (予定) 年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	
兼任	講師	担当投棄料目名 遊快 貞夫 (68) 《平成30年4月》 日本国憲法	兼任	: 講師	担当授業科目名 諸根 肖夫 (68) <平成30年4月> 日本国憲法	兼任	講師	超当授業科目名 - 諸根 貞夫 (69) (平成20年4月> 日本国際於 2 日本国際於 2		担当投棄科目名			担当授業科目名
兼任	講師	高谷 修 〈平成31年4月〉 英語Ⅱ	兼任	: 牌師	高谷 修 (64) <平成31年4月> 英語 II	- 兼任	3弄4节	高谷 修 (65) 《令和元年4月》 英琦II	兼任	高谷 修 (66) 《令和元年4月》 - - - - - - - - - - - - - - - - - - -	兼任	溝部	高谷 修 (67) <令和元年4月> 英語Ⅱ
兼任	講師	譲 西賢 〈平成:30年4月〉 こころの科学 人間理解の心理学	兼任	: 講師	譲 西賢 (で35) (平成30年4月> こころの科学 人間理解の心理学	- 兼任	講師	譲 百覧 (66) <平成30年4月> こころの科学 人間理解の心理学	兼任	議 西賢 (67) 〈平成30年4月〉 こころの科学 人間理解の心理学	兼任	講師	譲 西賢 (68) 〈平成20年4月〉 こころの科学 人間理解の心理学
						-					兼任	講師	京旅 義康 (63) 〈令和3年4月〉 人同学Ⅱ
兼任	講師	本多 義治 (64) <平成30年4月> 脳とこころ	兼任	: 評師	本多 製治 (64) 〈平成30年4月> 脳とこころ	-							
兼任	講師	東 治子 (63) 〈平成30年4月〉 英語 I				-							
兼任	講師	西尾 由利子 (63) <平成30年4月> 英語Ⅰ	兼任	: 3奔台市	百尼 由利子 (63) <平成30年4月> 英語 II	兼任	課節	西尾 由利子 (64) 《平成30年4月》 英孫1 (開除)	兼任	高度 由利子 (65) (第5) 《平成30年4月》 (新 族)	兼任	講師	西尾 由利子 (66) 《平成30年4月> 英語 1 (618)
						-			兼伯	水野 尚之 (65) (47) (65) (67) (67) (67) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (兼任	韓部	水等 尚之 (60) <令和2年4月> 英略 II
						- 兼任	(株)	関係 例二 (63) 《全有次年4月> 履とこころ	兼白	関格 第二 (64) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (兼任	辨師	関係 録二 (65) <令称元年4月> 麗とこころ
						兼任	(株師	杉山 獨 (62) 〈令和元年4月〉 英語Ⅱ					
兼任	講師	河原 慶子 (60) 〈平成30年4月〉 身体活動 II	兼任	: 3奔台市	河原 慶子 (66) ⟨平成30年4月⟩ 身体活動Ⅱ	兼任	講師	河原 慶子 (61) 〈平成30年4月〉 身体活動 I 身体活動 I	兼任		兼任	3件自行	河原 慶子 (63) <平成30年4月> 身体活動 II
兼任	練師	中尾 都史子 (60) 〈平成30年4月〉 キャリアデザイン製論1 キャリアデザイン製論2	兼任	: 3奔台市	中尾 都史子 (60) 〈平成30年4月〉 キャリアデザイン戦論1 キャリアデザイン戦論2	兼任	8件6币	中尾 都史子 (61) <平成20年4月> キャリアデザイン概論 キャリアデザイン概論	兼日	中尾 都史子 (22) マーパンの中4月> モ 調節 キャリアデザイン報論1 キャリアデザイン報論2			
						**************************************	(株)	推 千章 (60) <令和元年4月> 人間学立	兼名	差 千章 (61) (61) (61) (61) (61) (61) (61) (61)	兼任	鏡師	差 千章 (62) 〈令和元年4月〉 人間学工
兼任	牌師	山内 小夜子 (58) (7成30年4月> アジア侵軽と宗教 非戦の系譜	兼任	: 講師	山内 小夜子 (58) (平成30年4月> アジア便軽と宗教 非戦の系譜	兼任	課的	山内 小夜子 (59) <平成30年4月> アジア侵略と宗教 非敬の系譜	兼任	山内 小夜子 (60) マ平成30年4月> マジア侵略と宗教 非戦の系譜	兼任	满的	山内 小夜子 (61) 〈平成30年4月〉 アジア侵略と宗教 非戦の系譜

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) < 就任 (予定) 年月> 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) (就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) < 就任 (予定) 年月> 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) < 就任 (予定) 年月 > 担当授業科目名
兼任	講師	和国以来作目 6 青木 惠子 (57) 《平成20年4月 > スポーツ研究演習 II 分体活動 II	兼任	牌師	和 国 (大条件 1 G	兼任	譯師	数 3 次 次 4 日 4 青木 惠子 (58) 〈平成20年4月〉 スポーン研究演習 I スポーン研究演習 I 分体活動 II	兼任	講師	青木 惠子 (59) <平成30年4月>			烈国以来代目 ①
兼任	講師	杉本 理 (56) 〈平成31年4月〉 人間学II	兼任	講師	杉本 理 (56) 〈平成31年4月〉 人間学Ⅱ	兼任	課節	杉本 理 (57) <令和元年4月> 人間学Ⅱ	兼任	講師	杉本 理 (58) 〈令和元年4月〉 人間学Ⅱ	兼任	講師	杉本 理 (59) <令和元年4月> 人間学Ⅱ
兼任	講師	古屋 哲 (56) 《平成31年4月> 社会調査論 エスノグラフィ講説・作成2 文化人類学文献講施1	兼任	譯句可	古屋 哲 (56) 《平成31年4月》 社会調査論 エスノグラフィ講読・作成2 文化人類学文軟講読1	兼任	2件6万	古屋 哲 (57) ぐ舎和元年4月> 社会調査論 エスノグラフィ 講談・作成2 文化人類学文献講談1	兼任	譯節	古屋 哲 (58) (今和元年4月 > 社会調査施 エスノグラフ・(講読・作成2 文化人類学文献講読)	兼任	練節	古屋 哲 (59) (今和元年4月> 社会調査部 エスノグラフィ 譲渡・作成2 文化人類学文軟譲続1
									兼任	蜂師	丹羽 徹 <(68) <(令和2年4月> 日本国籍施1 日本国籍施2 日本国籍施2 日本国籍施3	兼任	錦飾	丹羽 数 <(f69) <令和2年4月> 日本国産池1 日本国産池2 日本国産池2
兼任	講師	山口 禅二 (57) 《平成30年4月》 古都の歴史と文化	兼任	27年台市	山口 洋二 (577) 〈平成30年4月〉 古都の歴史と文化	兼任	牌師	山口 祥二 (58) 〈平成30年4月〉 古都の歴史と文化	兼任	譯節	山口 祥二 (59) 〈平成30年4月〉 古都の歴史と文化	兼任	詳師	山口 祥二 (60) 〈平成30年4月〉 古都の歴史と文化
兼任	講師	大野 哲也 (56) <平成20年4月> スポーツと社会	兼任	評価	大野 特也 (pg) <平成20年4月> ヌボーツと社会	兼任	牌師	大野 哲也 (57) 《平成20年4月》 スポーツと社会	兼任	講節	大野 哲也 (58) 〈平成20年4月〉 スポーツと社会	兼任	講師	大野 哲也 (59) 〈平成20年4月〉 スポーツと社会
兼任	講師	本株 靖久 (55) 〈平成31年4月〉 宗教と社会 観光フィールドワーク1 複光フィールドワーク2 文化人類学文献講教2 人と文化	兼任	評師	本株 増久 (55) 《平成31年4月》 宗教と社会 接賓アイールドワーク1 接賓アイールドワーク2 文化、類字文献演説2 人と文化	兼任	2件的	本株 靖久 (56) 〈令和元年4月〉 宗教と社会 関莞フィールドワーク1 提売フィールドワーク2 文化人類学文献講読2 人と文化	兼任	課節	本株 靖久 (57) 〈令和元年4月〉 宗教と社会 撰究フィールドワーク1 探究フィールドワーク2 文化人類学文献講読2 人と文化	兼任	2萬6万	本株 薄久 (58) 〈合和元年4月〉 宗教と社会 標売フィールドワーク2 実化人原手文献講読2 人と文化 大学校子
兼任	講師	測罰 浩 (55) (55) (4年成30年4月> 陳書者・病者と共に生きる アイヌ民族と共に	兼任	牌師	削欄 倍 (55) (平成30年4月> 陳書者・病者と共に生きる アイヌ民族と共に	兼任	講師	測	兼任	譯師	測覇 浩 (57) (57) (平成30年4月> (藤書者・病者と共に生きる アイヌ民族と共に	兼任	講師	測額 浩 (58) (58) (平成30年4月> 陳吉者・病者と共に生きる アイヌ氏族と共に
兼任	講師	太田 純 (54) 他 《平成30年4月》 ※新 I 笑語 II	兼任	牌師	太田 純 (54) 《平成30年4月》 英語 II	兼任	牌師	太田 純 (55) < 平成30年4月 >	兼任	講師	太田 純 (56) 《平成30年4月》	兼任	詳師	太田 純 (57) 《平成30年4月》
兼任	詳師		兼任	牌師	等岡 仲括 (53) 〈平成31年4月〉 観光社会学	兼任	譯師	寺岡 俳格 (54) <令和元年4月> 観光社会学	兼任	講師	寺岡 伸括 (55) 〈令和元年4月〉 観光社会学	兼任	詳師	寺岡 俳哲 (56) <合和元年4月> 観光社会学
兼任	講師	木塚 恵子 (53) 〈平成30年4月〉 英語 II	兼任	譯句可	本塚 惠子 (53) 《平成30年4月》 英語 I 英語 II	兼任	課師	本塚 恵子 (54) 〈平成30年4月〉 英語 I (制論)	兼任	課師	本塚 惠子 (55) 〈平成30年4月〉 英語 I (別論)	兼任	講師	本屋 惠子 (56) 〈平成30年4月〉 英語 I (治除)
			兼任	牌都	宮前 千穏子 (53) (53) (53) (53) (54) (54) (54) (54) (54) (54) (54) (54	兼任	排解	宮前 千福子 (54) 《平成30年4月》 新春史輸 2	兼任	牌師	宮前 千得子 〈写成30年4月〉 新森史論 2	兼任	读師	宮前 千福子 〈写(56) 〈写成30年4月〉 孫席史動 2
												兼任	講師	田中 (se) <令和3年4月> 美新 II
兼任	講師	緊田 理 (52) 〈平成30年4月〉 仏教と美術	兼任	評師	聖田 煙 (52) 〈平成30年4月〉 仏教と美術	兼任	評師	聖田 理 (53) 〈平成30年4月〉 仏教と美術	兼任	講師	緊田 理 (54) 〈平成30年4月〉 仏教と美術	兼任	詳師	緊田 理 (55) <平成30年4月> 仏教と美術

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月>	専作 兼行 のう	∄ ·	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	
兼任	終師	担当授業科目名 西田 腰和 (52) <平成30年4月> 英語 I	兼任	講師	担当授業科目名 西田 厳和 (52) <平成30年4月> 英語 I	兼任	講師	担当投票科目名 西田 廣和 (53) 《平成30年4月》	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	纸 1	担当投棄科目名 西田 废和 (54) <平成30年4月> 英語 I	- 兼任	講師	超当投票科目名 西田 廣和 (55) <平成30年4月> 英語 I
兼任	講師	三木 彰円 (52) 〈平成30年4月〉 人間学 I インドの宗教と文化	兼任	講師	三木 彰円 (52) 〈平成30年4月〉 人間学 I インドの宗教と文化	兼担	教授	三木 彰円 (33) 〈平成30年4月〉 人間学1 (Mis) インドの宗教と文化	- *	地 (三木 彰円 (34) 〈平成の中4月〉 (86) インドの宗教と文化	- 兼担	教授	三木 彰円 (55) <平成30年4月> 人間学 I (開始) インドの宗教と文化
兼任	牌師	山坡 愁暢 〈平成30年4月〉 社会統計基礎 画像終週北門 画像終週北用	兼任	講師	山城 珍暢 (52) 《平成30年4月> 社会統計基礎 画像処理人門 画像処理応用	兼任	講師	山坡 愁暢 (53) 《平成30年4月> 社会終計基礎 請後处理之用	- #	E任 i	山旅 影暢 (54) (54) (不成30年4月> (大会配升基礎 画像処理人門 画像处理人門	- 兼任	講師	山坡
兼任	講師	河井 純子 (5)) 《平成30年4月》 英語 I 英語 I	兼任	講師	河井 - 純子 (51) <平成30年4月 > (所版) 英語 II				-			-		
兼任	講師	笠原 俊典 (50) 《平成30年4月》 仏教福祉論	兼任	講師	笠原 俊典 (50) <平成30年4月> 仏教福祉論	兼任	講師	笠原 俊典 (51) 《平成30年4月》 仏教福祉論	· #	紙	笠原 俊典 (52) (52) (72) (72) (73) (74) (74) (75) (75) (75) (75) (75) (75) (75) (75	兼任	渊師	笠原 俊典 (53) (平成30年4月> 仏教福祉論
									-			禁任	腺師	■田 彩 (53) <令和3年4月> 人間学Ⅱ
兼任	游師	川田 耕 (49) 〈平成31年4月〉 文化社会学 社会学史	兼任	溝師	川田 耕 (49) <平成31年4月> 文化社会学 社会学史	兼任	牌師	川田 耕 (50) 〈令和元年4月〉 文化社会学 社会学史	· #	EE 1	川田 耕 〈令和元中4月> 文化社会学 社会学史	兼任	講的	川田 耕 (52) 〈令和元年4月〉 文化社会学 社会学史
兼任	講師	福山 幸子 (50) <平成20年4月> カウンセリング	兼任	講師	福山 幸子 (59) 〈平成30年4月〉 カウンセリング	兼任	講師	福山 幸子 (51) 〈令和元年4月〉 カウンセリング	· #	紙 1	編山 幸子 (22) 〈令和元年4月〉 カウンセリング	兼任	满部	福山 幸子 〈令和元年4月〉 カウンセリング
						兼任	辨師	小面 養子 (50) <令和元年4月> 英醫豆	- *	姓 1	小百 東子 (51) 〈今和元年4月〉 英籍II	-		
兼任	游師	田中 智子 (49) <平成30年4月> 近代日本とアジア	兼任	講師	田中 智子 (49) 〈平成30年4月〉 近代日本とアジア	兼任	講師	田中 智子 (50) 〈平成30年4月〉 近代日本とアジア	· #	姓 1	田中 智子 (51) 〈平成30年4月> 遊代日本とアジア	兼任	渊師	田中 智子 (52) 〈平成30年4月〉 遊代日本とアジア
兼任	游的	種子田 香 (49) <平成31年4月> 英辞日	兼任	溝師	種子田 香 (49) <平成31年4月> 英語 II				-			-		
兼任	心 体自行	池末 陽子 (48) 《平成31年4月》 英語II	兼任	溝師	池末 陽子 (48) 〈平成31年4月〉 英語 II									
						兼任	酔師	北島 美峡 (40) (中和元年4月> 美新 II	. *	维 1	北島 美教 (50) 〈令和元年4月〉 美器Ⅱ			
兼任	講師	杉山 正治 (48) <平成20年4月> PC利用によるプレセンテーション Reカナイト構築公門 Reカナイト構築公用	兼任	講師	杉山 正常 (48) (平成20年4月> 下科用によるプレゼンテーション 〒6ウザイト構築心門 〒6ウザイト構築心用	兼任	講師	杉山 正治 (49) 〈平成20年4月〉 下利用によるプレゼンテーション 〒45サイト構築公門 〒45サイト構築公用	兼	纸』	杉山 正治 (50) 〈平成30年4月> 『で利用によるプレゼンテーション Webサイト構築に門 Webサイト構築に用	兼任	渊師	杉山 正治 (51) 〈平成30年4月〉 下利用によるプレゼンテーション 〒6サイト構築長門 〒6サイト構築長門

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏. 名 (年 齡)〈就任(予定)年月>担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
												兼任	辨師	佐藤 養奈子 (G1) (全會和3年4月> 英醫 I
兼任	記弊自 可	来 基準 (47) <平成31年4月> アジア社会論	兼任	講師	宋 基隆 (47) 〈平成31年4月〉 アジア社会論	兼任	講師	来 基準 (48) <令和元年4月> アジア社会論	兼任	牌師	宋 基隆 (49) <令和元年4月> アジア社会論	兼任	講師	来 基礎 (56) <令和元年4月> アジア社会論
兼任	詳師	狭同 芳樹 (48) 《平成30年4月〉 思考法入門 ボルトガル新圏のくらしと言葉2 ボルトガル新圏のくらしと言葉2	兼任	課的	映間 芳樹 (48) (平成30年4月> 思考注入門 ボルトガル語圏のくらしと言葉1 ボルトガル語圏のくらしと言葉2	兼任	講師	映同 芳樹 (49) (47歳30年4月> 恩考达入門 ボルトガル新圏のくらしと言葉1 ボルトガル新圏のくらしと言葉2	兼任	譯句	映開 芳樹 (30) (平成30年4月> 思考注入門 ボルトガル部圏のくらしと音楽1 ボルトガル部圏のくらしと音楽2	兼任	講師	映開 芳樹 (31) (平成30年4月> 思考比入門 ボルトガル語圏のくらしと音繁1 ボルトガル語圏のくらしと音繁2
兼任	講師	森 徳弘 (48) <平成31年4月> PC利用による安計算入門 PC利用による安計算応用												
兼任	游館	江南 健志 (47) 〈平成31年4月〉 環境社会学	兼任	講師	江南 健志 (47) 《平成31年4月》 環境社会学	兼任	講師	江南 健志 (48) <令和元年4月> 環境社会学	兼任	講師	江南 健志 (49) <令和元年4月> 環境社会学	兼任	講師	江南 健志 (50) <令和元年4月> 環境社会学
兼任	游客的	瀬戸 奈美子 (46) <平成31年4月> 英語Ⅱ	兼任	講師	瀬戸 奈東子 (46) 〈平波31年4月〉 英語 II	兼任	牌師	瀬戸 奈美子 (47) 《令和元年4月》 英語Ⅱ	兼任	講師	瀬戸 奈美子 (48) <令和元年4月> 英新日	兼任	1件自行	瀬戸 奈英子 (49) 《令和元年4月》 英語Ⅱ
兼任	講師	日高 周平 (47) 〈平成30年4月〉 英語 1	兼任	講師	日高 周平 (48) 《平被30年4月》 英語 I	兼任	講師	日高 周平 (49) 〈平成30年4月> 炎新1	兼任	講師	日高 周平 (50) 〈平成30年4月〉 英語 I	兼任	講師	日高 周平 (51) 〈平成30年4月〉 英語1
兼任	講師	石田 あゆう (44) 〈平成22年4月〉 消費社会論	兼任	講師	石田 あゆう (44) (平政32年4月> 消費社会論	兼任	牌師	石田 あゆう (45) (45) (45) (45) (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47	兼任	講師	石田 あゆう (46) (46) (全和2年4月> 消費社会論	兼任	練師	石田 あゆう (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47)
兼任	講師		兼任	講館	競見 是 (47) 《平成30年4月》 部落差別と浄土真宗1 部落差別と浄土真宗2	兼任	講師	鶴見 晃 (48) <平成30年4月> 部落差別と浄土真宗1 部落差別と浄土真宗2	兼任	課値	親見 是 (49) <平成30年4月> 部落差別と浄土真宗1 部落差別と浄土真宗2	兼任	講師	競見 是 (50) (7年成の中4月> 部落差別と浄土真宗1 部落差別と浄土真宗2
兼任	講師	倉島 哲 (43) 《平成22年4月》 社会思想史	兼任	講師	倉島 哲 (43) 《平成32年4月》 社会思想史	兼任	牌師	倉島 哲 (44) <令和2年4月> 社会思想史	兼任	講師	倉島 哲 (45) (今和2年4月> 社会思想史	兼任	詳師	倉島 哲 (46) <令和2年4月> 社会思想史
						兼任	牌師	瀬岡 修 (46) (今和元年4月> 人間学I	兼任	: 排節	進同 修 (47) 〈令和元年4月> 人間学I			
兼任	講師	佐久間 思帆 (45) 〈平成30年4月〉 英新 I 英新 I	兼任	講師	佐久間 思帆 (45) 〈平成30年4月〉 英路 I 英路 I									
兼任	詳値	横澤 大農 (45) <平成の年4月> ワード・プロセッシング入門 ワード・プロセッシング応用	兼任	講師	横澤 大典 (大典 (マルス30年4月> フード・プロセッシング入門 フード・プロセッシング応用	兼任	牌師	横澤 大典 (46) (平成30年4月> ワード・プロセッシング入門 ワード・プロセッシング応用	兼任	講師	模響 大典 (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47)	兼任	詳師	模/ 大良 (48) マー成の年4月> ワード・プロセッシング入門 ワード・プロセッシング応用
兼任	游師	生田 教司 (44) (平成の年4月> 死ミュージック入門 にミュージック応用	兼任	講師	生田 教司 (44) 〈平成30年4月> PCミュージック入門 PCミュージック応用	兼任	講師	生田 教司 (45) (平成の中4月> 配ミュージック入門 配ミュージック応用	兼任	講師	生田 教司 (46) 〈平成30年4月〉 RCミュージック入門 RCミュージックを用	兼任	講師	生田 教司 (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47)

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名		専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名		専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月>
兼任	游師	担当授業料目名 消水 洋平 (44) (平成30年4月> 人同学 II 東南アジアの宗教文化	兼任	講師	担当投業科目名 - 清水 洋平 (44) 《平成30年4月> - 人間学Ⅱ 東南アジアの宗教文化	兼任	牌師	担当授業科目名 清水 洋平 (45) 〈平成30年4月〉 人両学Ⅱ 東南アジアの宗教文化	兼任	講師	担当授業科目名 清水 洋平 (46) 《平成の年4月> 人間学Ⅱ 東南アジアの宗教文化	- 兼任	講的	超当投棄料目名 清水 津平 (47) 《平成:30年4月> 人間学日 東南アジアの宗教文化
						-						- 兼任	髂師	長寿 真奈 (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47)
						-						兼任	辨師	柳生 利恵 (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47)
兼任	講師	伊村 大朝 (43) <平成30年4月 > 英語 I 英語 II	兼任	講師	伊村 大樹 (43) 《平成30年4月> 英語 I 英語 II	- 兼任	講師	伊村 大樹 (44) (41) (41) (平成30年4月> 英語 I (開除)	兼任	講師	伊村 大樹 (45) (45) 《平成30年4月》 英班 I (州除)	- 兼任	满旬	伊村 大樹 (46) (46) (平成30年4月>
兼任	游的	西本 祐議 (43) <平成30年4月> 人間学日 視響に学ぶ	兼任	講師	西本 裕備 (43) <平成30年4月> 人間学日 視驚に学ぶ	- 兼任	牌師	西本 枯幡 (44) <平成30年4月> 人間学Ⅱ (側輪)	兼担	准數据	西本 抬續 (45) 《平成30年4月》 人間学日 (Mik)	- 兼担	准数据	西本 枯懶 (46) 《平成30年4月》 人間学Ⅱ (別除)
			兼任	講師	平級 を (45) 〈平成30年4月〉 FC利用による委計第入門 PC利用による委計第応用	兼任	牌師	平線 唯 (44) <平成30年4月> PC利用による要計算入門 PC利用による要計算応用	兼任	講師	平優 (45) (45) (47歳30年4月> PC利用による妻計算入門 PC利用による妻計算応用	禁任	髂師	平線 を (48) 〈平成30年4月> PC利用による表計算入門 PC利用による表計算及用
兼任	游師	三上 横次 (43) (平成30年4月> 地震と大山2 地球科学1 地球科学2 地球科学2 地球科学2	兼任	講師	三上 補次 (43) (平成30年4月> 地東科学1 地球科学1 地球科学2 地球科学2 地球研究2 地球研究2	兼任	評師	三上 補次 (44) (平成30年月> 地震と火山2 地球科学1 地球科学2 地球科学2 地球科学2	兼任	講師	三上 補次 (45) (45) (平成30年4月> 地震と火山2 地球科学1 地球科学2 地球科学2 地球環境と生命の共造化	- 兼任	講師	三上 補次 (46) (平成30年4月> 地震科少1 地球科学1 地球科学2 地球科学2 地球環境と生命の共進化
						-						- 禁任	髁節	国施 李禄 (46) <今和3年4月> 心理学基礎
			兼任	講師	清水 利明 (42) 〈平成30年4月> 発想から表現へ	**	講師	清水 利明 (43) <平成30年4月> 発想から表現へ	兼任	排析	清水 利明 (44) 〈平成30年4月> 発想から表現へ	*	瞬節	清水、利明 (45)男 〈平成30年4月> 発着から表現へ
兼任	游師	桑原(多田)桃音 (40) 〈平成31年4月〉 現代家族論 ジェンターと社会	兼任	講師	秦原 (多田) 株音 (40) <平成31年4月> 現代家族論 ジェンダーと社会	兼任	評師	桑原(多田)株音 (41) <令和元年4月> 現代家族論 ジェンダーと社会	兼任	講師	秦原(多田)核音 (42) 〈令和元年4月〉 現代家族論 ジェンダーと社会	兼任	講師	桑原(多田)株音 (43) <令和元年4月> 現代家族論 (開除)
						兼任	牌師	近 鄉 雄生 (42) (42) (42) (42) (42) (42) (42)	兼任	牌解	近 鄉 雄生 (43) 〈令和元年4月〉 人間幸工	兼任	辨酹	近廊 雄生 (44) <令和元年4月> 人岡辛亚
						兼任	講師	藤 原 由美 (42) <◆和元早4月> 英番Ⅱ	兼任	講師	夢 原 由美 (43) <◆和元年4月> 英 糖Ⅱ	禁任	腺節	廉原 由美 (44) 《令和元年4月》 美糖 I
兼任	游的	中田 (阿部) 英利子 (40) 〈平成30年4月〉 心理学基礎	兼任	講師	中田 (阿部) 英利子 (40) 〈平成30年4月〉 〈平成30年4月〉	- 兼任	牌師	中田 (阿部) 英利子 (41) 《平成30年4月》 心理学基礎				-		
兼任	游的	中村 真里絵 (40) 〈平成30年4月〉 現代東南アジア事情	兼任	講師	中村 真里絵 (40) <平成30年4月> 現代東南アジア事情	- 兼任	講師	中村 真里絵 (41) <平成30年4月> 現代東南アジア事情	兼任	課師	中村 真里絵 (2) <平成30年4月> 現代東南アジア事情	- 兼任	满的	中村 真里絵 (43) <平成30年4月> 現代東南アジア事情

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月> 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別 順	名 <就任	氏 名 (年 齢): (予定)年月> 当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) 《就任 (予定) 年月> 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) (就任(予定)年月> 担当授業科目名
兼任	講師	野村 淮平 (40) <平成30年4月> 教育社会学 教育学2	兼任 講	9	野村 洋平 (40) P成30年4月>	兼任	評師	野村 淮平 (41) <平成30年4月> 教育社会学 教育学2	兼任		野村 洋平 (42) <平成30年4月 > 教育社会学 教育学2	兼任	講師	野村 洋平 (43) <平成30年4月> 教育社会学 教育学2
						兼任	跳師	上版 故生 (40) <令和元年4月> 仏教社会論	兼担	講師	上野 放生 (41) (41) (41) (41) (41) (41) (41) (41)	- 兼担	講師	上時 校生 (42) <今和元年4月>
						兼任	講師	関田 #子 (40) 〈	兼任	佛師	間田 伸子 (41) (41) (41) (41) (41) (41) (41) (41)	兼任	排師	間田
			兼任 韓	< 7	●授 忠宏 (38) 2成30年4月>	- 兼任	髀師	維賀 忠宏 (39) <平成30年4月> 大衆文化論	兼任	講師	兼實 忠宏 (40) 〈平成30年4月〉 大衆文化論	-		
						兼任	10年 50年	原理 勿順 (28) <令和元年4月> 生命のしくみと多様性 自然と生物の科学	兼任	蜂師	藤陽 知顧 (39) <令和元年4月> 生命のしくみと多様性 自然と生物の科学			
兼任	講師	木島 菜菜子 (37) <平成31年4月> 芙酢 II	兼任 講	本 <平 英語II	-島 薬薬子 (37) 平成31年4月>	-						-		
		竹内 早耶香 (36) < 平成30年4月 >			竹内 早耶香 (36) F成30年4月>			竹内 早耶香 (37) < 平成30年4月 >			竹内 早耶香 (38) < 平成30年4月>			竹内 早耶香 (39) <平成30年4月>
兼任	游師	スポーツと健康の科学1 スポーツと健康の科学2	兼任 講	スポーツと健康 スポーツと健康	*の科学1 長の科学2	兼任	溝師	スポーツと健康の科学1 スポーツと健康の科学2	兼任	講師	スポーツと健康の科学! スポーツと健康の科学2	兼任	詳節	スポーツと健康の科学1 スポーツと健康の科学2
						-						兼任	聯節	金集 聯補 (33) (35) (37) (37) (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47) (4
		中田 千穂 (35) <平成30年4月>			中田 千穂 (35) P成30年4月>			中田 千穂 (36) <平成30年4月>			中田 千穂 (37) <平成30年4月>			中田 千穂 (38) <平成30年4月>
兼任	講師	除害者スポーツ論 除害者スポーツ研究演習 I 除害者スポーツ研究演習 I 身体活動 I (除害者スポーツ) 身体活動 II (障害者スポーツ)	兼任 講	障害者スポーツ 障害者スポーツ 障害者スポーツ 身体活動Ⅱ(障 生罹スポーツ・	/研究演習Ⅱ	兼任	講師	障害者スポーツ論 障害者スポーツ研究演習 I 障害者スポーツ研究演習 I 身体活動 I (除害者スポーツ) 身体活動 II (除害者スポーツ) (削除)	兼任		陸舎者スポーツ論 障害者スポーツ研究演習 I 障害者スポーツ研究演習 I 身体活動 I (障害者スポーツ) 身体活動 I (障害者スポーツ) (開除)	兼任	講師	障害者スポーツ論 障害者スポーツ研究演習 I 障害者スポーツ研究演習 I 身体活動 I (障害者スポーツ) 身体活動 I (障害者スポーツ) (削除)
兼任	講師	岡崎 沙織 《平成30年4月》 教育学1	兼任 講		岡崎 沙織 (34) 平成30年4月>	兼任	講師	岡崎 沙織 (35) 《平成30年4月》 教育学1	兼任	講師	同崎 沙織 (36) <平成30年4月> 教育学1	兼任	講師	岡崎 沙織 (37) <平成30年4月> 教育学1
						-			兼任	蜂師	簡并 香 (33) <令和2年4月>	· 兼任	排師	筒井 香 (34) 〈令和2年4月>
					建						スポーツ研究教育I スポーツ研究教育I			スポーツ研究演習 I スポーツ研究演習 I タ体で動 I 身体活動 I
			兼任 講		實際 光介 (33) 定成30年4月 > 数文化	-						-		
兼任	講師	児島 廉介 (31) 〈平成30年4月〉 生命のしくみと多様性 自然と生物の科学				-						-		

専任・兼兼任の別	職名	氏 名 (年 館) 〈就任 (予定) 年月〉 担当授業科目名	専行技術の別	∄ • E	担当授業科目名 古優 慎也 (30)			職名	氏 名 (年 齡) 〈就任 (予定) 年月〉 但当按業科目名	専任・兼任の別	職名	氏 名 (年 館) (本 館) (本 (予定)年月> 担当授業料目名	専任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
			-		自然と生物の科学	-							兼任	蒙師	伊藤 高 (32) 〈令和3年4月〉 生命のレスと多職性 自然と生物の昇挙
						- 1	軟任 調	t fig	大高 千明 (29) 〈令和元年4月〉 生産スポーツ・レクリエーション活 前	兼任	牌師	大高 千明 (30) (今和元年4月> 生器スポーツ・レクリエーション倍 動	兼任	講師	大高 千明 (31) 〈中和元年4月〉 生産スポーツ・レクリエーション活動
						-				兼任	講師		兼任	腺師	参川 神枝 (30) (30) (全布2年4月> (削除) 心理療法要論 (削除)
						-							兼任	牌町	中村 友春 (30) 〈令和3年4月〉 社会福祉と社会教育
兼任	講師	井上 禁真 (28) <平成20年4月> 大衆文化論								兼任	牌解	奥村 旅人 (28) (今和2年4月) 青年と社会教育 社会報社と社会教育			

⁽注) 報告年度の5月1日現在の情報を記入してださい、(過年度については、各年度末時点の情報として記入してださい。) 認可申請書文は設置部は書の終す策3号(その2の1)に単して作成してください。 ・認可申取くは届出時、1は、管理習可申取と国出時の砂場をで、(業年、兼知報を含む。) を黒字で記入してください。 その上で、**国軍取りは最初から原理となっている場所は大学の妻をしてください**。 その内依方法は「大学の登録者に係る世間書材があります。) の「教員名海」を確認してください。 年齢は、**土れ上れの年度の5月 1日除点の資金**等を記入してください。 専任(毎門散大学館は大学、実集、実 (前)、実み)、、実出、兼任の際に記入してください。 ・ 事任(年門散大学館は来、実集、実 (前)、実 (本)、表し、表してください。 ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) - ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

```
【平成30年度】

・学科専門科目「フィールドワーク技法基礎」の担当を専任講師に変更。
・共通基礎科目「学びの発見」の担当を専任講師に変更。
・現代総合科目「探究基礎演習」の担当を専任教授に変更。
・学科専門科目「市民活動論」を旧学科と共通で開講することから、専任講師のみの担当に加え旧学科兼担教授の担当を追加。
・学科専門科目「人間学 I」「人間学 II」の担当を専任教授に変更。
・共通基礎科目「人間学 I」「人間学 II」の担当を専任教授に変更。
・共通基礎科目「人間学 I」の担当を専任教授に変更。
・現代総合科目「都定史論 I・2」の担当を兼任講師に変更。
・現代総合科目「常想から表現へ」の担当を兼任講師に変更。
・現代総合科目「発想から表現へ」の担当を兼任講師に変更。
・現代総合科目「アの利用による表計算入門・応用」の担当を他の兼任講師に変更。
・現代総合科目「アの利用による表計算入門・応用」の担当を他の兼任講師に変更。
・現代総合科目「アの利用による表計算入門・応用」の担当を他の兼任講師に変更。
・現代総合科目「東アジアの宗教文化」の担当を他の兼任講師に変更。
・現代総合科目「生産のしくみと多様性」「自然と生物の科学」の担当を他の兼任講師に変更。
・現代総合科目「東アジアの宗教文化」の担当を他の兼任講師に変更。
```

【令和元年度】

```
【専任教員の昇格】
高橋 真 講師→准教授
【兼担教員の追加】
  兼担教員の追加】

- 学生の履修機会を増やすために履修クラスを拡張したことに伴う担当者追加:
四方 保仁 (兼担 准教授)、DASH SHOBHA (兼担 准教授)、藤元 雅文 (兼担 准教授)、赤澤 清孝 (兼担 准教授)
- 専任担当者の担当コマ数の事情 (旧学科科目の担当開講科目数の増加)により別の専任教員に担当を変更したことに伴う担当者追加:
山本 貴子 (兼担 教授)、M.J.CONNMY (兼担 講師)
- 兼任担当者の就任辞退に伴う担当者変更による担当者追加: 石本 哲子 (兼担 准教授)、井黒 忍 (兼担 准教授)、野末 幸子 (兼担 助教)
【兼担教員の昇格】
新日 和茂 准教授→教授、喜多 恵美子 准教授→教授(18年度訂正漏れ)、三宅 伸一郎 准教授→教授(18年度訂正漏れ)、新田 智通 講師→准教授(18年度訂正漏れ)、井上 摩紀 准教授→教授、藤田 義孝 准教授→教授、箕浦 暁雄 准教授→教授【兼担教員の定年起職】
 R.F.RHODES 兼担 教授→兼任 講師、朴 一功 兼担 教授→兼任 講師
・本人の都合による就任辞退:本多 義治、河井 純子、種子田 香、池末 陽子、佐久間 思帆、木島 菜菜子、濱野 亮介、古俣 慎也
【兼任教員の追加】
・学生の履修機会を増やすために履修クラスを拡張したことに伴う担当者追加:桂 干草、蓮岡 修、近藤 雄生、上野 牧生・就任報退となった兼任教員の補填:岡嶋 詳二、杉山 潤、小西 貴子、北島 美咲、藤原 由美、岡田 律子、藤澤 知親、大高 千明 【兼任教員の所属変更】
【兼仕教員の所属変更】
三木 彰円 兼任 講師→兼担 教授
【前年度の誤記】
・富岡 量美子 推教授→教授
・喜宅単一郎 准教授→教授
・三宅伸一郎 准教授→教授
・新田 智通 講師→准教授
```

【令和2年度】

```
【兼担収員の井田』
西本 祐攝 講師 → 准教授
【兼担教員の追加】
井上 尚実 (コマ数調整のため)
戸次 顕彰 (コマ数調整のため)
宮崎 健司 (新規科目開講のため)
     国際 (利用 ) (
                                                                                                                                                                                                                           → 退職(定年退職)→ 退職(自己都合)→ 退職(自己都合)
        【兼任教員の追加】
              (兼任教員の追加)

與村 旅人 当該学部科目を新たに担当(新規科目開講のため)

粉川 尚枝 当該学部科目を新たに担当(新規科目開講、退職教員の補填のため)

簡井 香 採用(兼任教員の担当科目辞選の補填のため)

外羽 徹 採用(退職教員の補填のため)

水野 尚之 採用(退職教員の補填のため)
```

```
【令和3年度】
 兼担教員の昇格】
DASH SHOBHA 准教授 → 教授、釆睪 晃 准教授 → 教授、M.J.CONWAY 講師 → 准教授
【兼担教員の退職】
      【兼担教員の担当変更】
山本 貴子(担当コマ数調整のため)、四方 保仁(担当コマ数調整のため)、三宅 伸一郎(担当コマ数調整のため)、箕浦 晩雄(担当コマ数調整のため)、戸次 顕彰(担当コマ数調整のため)
本社は教授の12日本と1
中尾 都史子 (自己都合による退職)、青木 惠子 (自己都合による退職)、小西 貴子 (自己都合による担当辞退)、北島 美咲 (自己都合による担当辞退)、蓮岡 修
(自己都合による退職)、雑賀 忠宏 (自己都合による退職)、藤澤 知親 (自己都合による退職)、奥村 旅人 (自己都合による担当辞退)
【兼担教員の追加】
浅若 裕彦(前任者(兼担)担当コマ数調整のため)、安田 誠人(前任者(兼担)定年退職のため)
【兼任教員の追加】
野末 幸子(助教任期満了に伴い兼任講師として新たに採用)、真城 義麿(前任者(兼担)担当コマ数調整のため)、田中 浩(前任者(兼任)担当辞退のため)、西田
彩(採用/前任者(兼任)退職のため)、佐藤 美奈子(前任者(兼任)担当辞退のため)、長野 真奈(採用/前任者(兼任)担当辞退のため)、柳生 利恵(採用/前任
者(兼任)退職のため)、星津 香織(前任者(兼任)担当辞退のため)、金森 謙輔(採用/前任者(兼任)担当辞退のため)、伊藤 真(採用/前任者(兼任)退職のため)、中村 友香(採用/前任者(兼任)担当辞退のため)
```

- (注)・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ **認可で設置された学部等の享任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、
 - 大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。
 - 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
1 0	5
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) 一② 専任教員等数【大学】

		設置時	の計画				:	現在(報告	時)の状況		
教 授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
6	3	2	0	1 1	0	6	4	1	0	11	0
(6)	(3)	(2)	(0)	(11)	(0)						
	現在(報告時)の	完成年度時	の状況			現在(報告時)の	完成年度時	の計画	
教 授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
6	4	1	0	1 1	0	6	4	1	0	1 1	0
[0]	[1]	[△1]	[0]	[0]	[0]	[0]	[1]	[△1]	[0]	[0]	[0]

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 - ・「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 - ・「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受害済みであり、
 - 完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)
 - ・「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 - []内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)

(2) - ③ 年齢構成

	年齢構成	
定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告時 (上記 (B)) の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時(上記 (C))の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
6 5	1	1
歳	名	名

- (注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、 及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている 教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 - ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入 し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - (2) -④ 設置時の計画に対する教員充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C) = 11 = 100 % 設置時の計画(A) = 111 = 100

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (2) -⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

<u>報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数</u> = 1 1 9.09 % 現在(報告時)の状況(B)

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (2) ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(\mathbf{C} ') = \mathbf{O} = $\# \mathsf{DIV} / 0!$ %

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) 一① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番	号	職	位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自日	воя	担当予定科目	後任	補充状	況	京	忧任辞退	(未	就任)の理	由	
				該当なし													
				合計	(D)						往	经任補充状 沉	の集計	(E)			
	京	ぱ任 る	を辞	退した教員数	担当科目	数の合計	(a) +	+ (b) + (c)	①の合語	†数(a)	②の合語	十数 (b)		③の合語	+数(0)
					必	修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
					選	択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	林田	選択	0	科目
			0	人	自	由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
					ī	+	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注)・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全て<u>の専任教員</u>の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 - 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。 就任した後に辞任した教員は、以下「(3)-②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、 「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職	位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自	Bo≋l -	担当予定科目	後任	補充物	況		刮	ŧ任等	の理由			
			該当なし														
																	_
			合計	(F)		•		後任補充状況の集計(G)									
	辞	任し	した教員数	担当科目	数の合詞	† (a) +	(b) + (c)	①の合語	十数 (a)	②の合計	†数 (b))	③の合言	十数	(c)	
				必	修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修		0	科目
0				選	択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択		0	科目
		0 人		0 \		0 人 自由		0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	
				Ī	+	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計		0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての事任教員**についてに記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、
 - 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -3 上記(3) -1 ・ (3) -2 の合計

	合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計(E)+(G)								
辞任等した教	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)			②の合計数 (b)			③の合計数 (c)				
		必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修		0	科目
	Д	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択		0	科目
0		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由		0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計		0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

(3)-③合計(D)+(F) (2) - ②設置時の計画(A) = -

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (3) 一⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0

(注)・(3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職	位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当于	予定科目	後任補充	状況			辞任	E等の	理由			
			該当なし													
																_
			ŕ	計			後任補充状況の集計									
	辞	任し	た教員数	担当科目数の合計	† (a) +	(b) + (c)	①の合計	数 (a)		②の合計	十数(b)		③の合計	散	(c)	
				必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0) 科	4目
				選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0) 科	4目
		0	人	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0) 科	48
				計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0) 科	4目

- (注)・ **定年により退職した全ての享任教員**についてに記入してください。 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
- (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし。		

(注) · 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、 今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附帯事項	等	履行状況		今後の 実施計画
認 可 時 (平成30年4月)	①大学学科の入学を受ける。 の入学を表生を の入学を記述を 教科及と 教科及大力、科学を 教科及大力、科学を 教科を 教科を 教科を 教科を がの、 がの、 がの、 がら、 がら、 がら、 がら、 がら、 がら、 がら、 がら		①平成29年度の超過率が1.61 倍と定員の配替のでは、不成 30年度とにに努め、た。 ②大の、大成 30年度はの.911倍となった。 ②大の大の、大成 30年度はの、511倍以の、大の ②大の大の、大の ②大の大の大の、大の 30年度とかでは、展的に参考 成30年度とが、大の 30年度とり、大の 30年度とと類学生。 学科についいへ発展り学。 学科に 対象のことを知学生の が当年とと初生との が当時では、 第4時に 対象のもの、 34倍との 346との 346 346 346 346 346 346 346 346 346 346	履行中	九州大谷短期大学福祉学科については、入学者支援を含めた募集強化の取り組みを進めるとともに、入学定員の適正化を図るべき準備を進める。
設置計画履行状況調 査 時(平成30年)	「該当なし」				
設置計画履行状況 調 査 時 (令和元年)	「該当なし」				
設置計画履行状況調 査 時(令和2年)	「該当なし」				

- (注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(<u>学校法人の寄附行為又は</u> <u>寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。</u>)と、それに対する履行状況等について、 具体的に記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、<u>当該大学に付された指摘を</u> 全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。 その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<社会学部 現代社会学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の	計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
特になし。		

- (注) ・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

教務委員会「FD部会」

全学をあげて取り組む姿勢を明確にするため、教務委員会の中にカリキュラムの検討を中心とする「教務部会」と、FD活動を中心とする「FD部会」とを2007年度に設置。FD活動とカリキュラムの連携を図りながら、取り組みを進めている。

- b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) 本学として必要なFD活動を検討するFD部会を年4回程度開催。
- c 委員会の審議事項等

FD部会の審議及び推進事項(教務委員会規程第3条第2号)

- ア 教育内容及び授業方法改善のための具体案(各授業科目における「授業計画(シラバス)」の記載内容の確認を含む。)
- イ 授業評価アンケートの活用
- ウ FDに係る研究会及び研修会の実施
- エ FDに係る調査及び研究
- オ その他FDに関すること

② 実施状況

a 実施内容

FD部会活動内容

- 新任教員向けFD研修会の実施
- ・ 授業評価アンケートの活用による授業優秀賞・事情確認科目の検討、事情確認対象科目担当者への確認
- 授業優秀賞受賞科目の授業公開の実施
- · 全学的な教職員向けFD研修会とミニFD研修会(教授会内研修)の実施
- ・ 他大学・団体等との連携、他団体研修会等の参加及び部会内での報告
- ・「授業計画(シラバス)」の記載内容確認及び修正が必要な科目の内容修正依頼
- b 実施方法

全学的な研修会や授業公開については、非常勤講師も含め実施を告知。対象者が限定されるものについては、 原則、対象者全員参加として呼びかけている。

- c 開催状況(教員の参加状況含む)
 - *新型コロナウィルス感染拡大防止のため、政府・自治体の要請に従い、活動の一部を縮小して実施(2020年度実績)
 - · 新任教員向けFD研修会(2020年10月7日実施)
 - ・ 授業評価アンケートの活用 (2020年9月17日・2021年3月17日FD部会にて検討・決定)
 - 授業公開の実施(2020年11月18日~12月17日に開催:対象科目4科目)
 - ・ ミニFD研修会の実施(2020年11月11日開催、「シラバス作成について」)
 - ・ 「授業計画 (シラバス)」の記載内容の確認 (2021年2月実施)
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

研修会や懇話会を開催することにより、本学学生の実情を把握し、本学の教育理念や育成する学生像の共有 を図り、継続的な授業改善に取り組むことの意識付けを行っている。

個々の授業担当者の資質向上を図るために、「学生による授業評価アンケート」を活用し、振り返りを おこなっている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

「学生による授業評価アンケート」を、本学の内部質保証に係るFDとして、本学の教育システムの不断の 点検・改善に役立てると同時に、授業担当者が日頃の教育活動の成果を確認し、今後の授業改善の参考資料と して活用するために、全学を対象に実施している。前期については、6月下旬から7月上旬に実施、後期については、12月上旬から12月中旬にかけて実施。

また、2020年度前期については、アンケート内容を「オンライン授業の実施について<u></u>学生アンケート」と変更し実施している。

b 教員や学生への公開状況,方法等

授業評価アンケート結果については、各授業担当者に科目ごとに報告される。アンケート内容は、I. 回答者の属性 II. 授業における受講生の取り組みについて、II. 授業内容や担当教員の授業運営について、IV. 総合的評価、V. 自由記述からなっており、数値やグラフにして提供している。

受講学生に対しては、学内ネットワーク上に科目ごとの評価結果を公開し、自由に閲覧できるようになっている。また、大学全体及び学部ごとの評価結果を大学HP上に公開し、社会一般からの閲覧に供している。 公開の時期は、ともに前期が9月から10月頃、後期が3月頃に公開をおこなっている。

(注) · 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

1	$\langle \circ \rangle$	教育課程連携協議会に関する事項
١		20日末年191515000000000000000000000000000000000

(3) 教育課程連携協議会に関する事項 ※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

「該当なし」

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

建学の理念を仏教、殊に浄土真宗に据え、いかなる時代・社会の状況においても、自己と人間の課題を深く見つめ、人間の立脚地を考えつづける姿勢をその学びの根幹においてきた。つまり、自己の信念の確立を建学の理念として掲げ、学修、研究をすすめてきた。その達成の状況は、建学の理念、教育目標のもとに各方針、教育内容やその方法等を体系的に関連づけた体制として構築し、各学部・学科、各研究科・専攻とも学生に対する教育、研究指導を充全に実施しており、そのことは、平成27年度に公益財団法人大学基準協会による大学評価ならびに認証評価を受け、同協会の大学基準に適合していると認定された。

- ② 自己点検・評価報告書
 - a 公表 (予定) 時期
 - 7月下旬頃
 - b 公表方法
 - ・大学運営会議構成員(各学部・研究科長、並びに事務部長含む)に報告書を配付
 - ・大学ホームページ上に公開
- ③ 認証評価を受ける計画
 - ・令和4年度に、公益財団法人大学基準協会による大学評価ならびに認証評価を受ける予定で準備を進めている。
- (注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を 含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

0	設置計画履行状況報告	書	(令和3年度)					
а	公表予定の有無	(有	無)			
b	で「有」の場合≫ か 公表(予定)時期 た 公表方法		調査結果公表後 1 ウェブサイトへの		公表後2~3ヶ月以内その他(•	公表後3ヶ月以降))
	っで公表「無」の場合≫ 公表しない理由	ί)

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、 設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

○教務委員会規程

2002年3月4日 制定

(設置)

- 第1条 大谷大学及び大谷大学短期大学部(以下「本学」という。)に、教育・学生支援担当 副学長の教務に関する補佐機関として、教務委員会(以下「委員会」という。)を置く。 (目的)
- 第2条 委員会は、教育推進室と連携し、教育課程及び教育方法等の改善を図るとともに、 FD(ファカルティ・ディベロップメント)活動を推進し、もって大学教育の充実と発展を 図ることを目的とする。

(審議及び推進事項)

- 第3条 前条の目的を達成するために、委員会に部会を置き、次の事項について審議し、 その推進にあたる。
 - (1) 教務部会
 - ア 教育課程改善のための具体案
 - イ 教育課程に付随する諸制度(成績評価、単位認定、進級、登録等)
 - ウ 開講科目、開講形態及び履修方法
 - エーその他教務に関すること。
 - (2) FD 部会
 - ア 教育内容及び授業方法改善のための具体案(各授業科目における「授業計画(シラバス)」の記載内容の確認を含む。)
 - イ 授業評価アンケートの活用
 - ウ FD に係る研究会及び研修会の実施
 - エ FD に係る調査及び研究
 - オ その他 FD に関すること。

(構成)

- 第4条 委員会は、次の者をもって構成する。
 - (1) 委員長 1名
 - (2) 部会長 2名
 - (3) 委員 若干名
 - (4) 学生支援部事務部長
 - (5) 学生支援部教務課長
- 2 委員長、部会長及び委員は、本学専任教育職員のうちから教育・学生支援担当副学長が 推薦する者を学長が委嘱し、任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。
- 3 委員長は、必要と認めた場合、委員以外の者を委員会に出席させることができる。

(所管)

第5条 委員会に関する事務の所管は、学生支援部教務課とする。

(改廃)

第6条 この規程の改廃は、教授会の議を経て、学長が決定する。

付 則

この規程は、2002 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 4 条第 1 項第 3 号に定める「教務部事務部長」は、2002 年 5 月 31 日までは、「教務部教務課長」と読み替えるものとする。

付 則

この規程は、2007年2月13日一部改正し、2007年4月1日から施行する。 付 則

この規程は、2008年6月18日一部改正し、2008年6月1日に遡及して施行する。 付 則

この規程は、2012年2月1日に一部改正し、2012年4月1日から施行する。 付 則

この規程は、2013年2月25日に一部改正し、2013年4月1日から施行する。 付 則

この規程は、2015年3月11日に一部改正し、2015年4月1日から施行する。 付 則

この規程は、2016年3月10日に一部改正し、2016年4月1日から施行する。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人真宗大谷学園

- (2) 大 学 名 大谷大学
- (3) 調査対象大学等の位置

〒603-8143 京都府京都市北区小山上総町20番地

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を())書きで記入してください。
 - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載して ください。

(4) 管理運営組織

職名	設 置 時	変更状況	備考
	(タジマ ヒロシ)		
理 事 長	但 馬 弘		
	(平成28年12月19日)		
	(キゴシ ヤスシ)		
学 長	木 越 康		
	(平成28年4月1日)		
	(シドウ シュウシ)	(ノムラ アキヒロ)	任期満了のため
学 部 長	志 藤 修 史	野村 明宏	令和3年4月1日
	(平成30年4月1日)	(令和3年4月1日)	(3)
	(マツカワ タカシ)	(スズキ ヒサシ)	任期満了のため
学科長等	松 川 節	鈴木 寿志	令和2年4月1日
	(平成30年4月1日)	(令和2年4月1日)	(2)

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を ()書きで記入してください。
 - (例) 令和2年度に報告済の内容 → (2) 令和3年度に報告する内容 → (3)
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) · 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください (入試 区分ごとではありません)。
 - ・ <u>なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位</u> <u>(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。</u> <u>その場合別ファイルを作成し提出してください。</u>
 - ・ <u>様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが</u>、 完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、 5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の	学位又は学科		設 置 時	の計画		学生募集の停	備考	Ī
名称 (学位)	の分野	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	止について	1/# 15	
社会学部 コミュニティ デザイン学科 学士 (社会学)	社会学・社会 福祉学関係	年 4	100	年次 人 一	人 400			

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 - ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号 (その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 - ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

	対象年度	平成29年	F度 平成	30年度	令和元	元年度	令和2年度		令和3年度	平均入学定員	開設年度から 報告年度まで	備	考
区 :	分	春季入学 その他	他の学期 春季 <i>〕</i>	学 その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学 その他の	期春	季入学 その他の学期	超 過 率	の平均入学定 員超過率	1)用	75
А	入学定員	人 (-	X (人 人 100 -)	人 10 (-	人 00 -)	人 100 (-)	λ .	人 人 100 (-)				
		`[-	ı (<u> </u>	[-	- ´]	[-]		<u> [</u>				
	志願者数		- 76° -) (- -] [-) (-)	979 (-) [-]	- (-) [-]	1009 - (-) (- [-] [-) (666 – –) (–) [1] [–]				
	受験者数		- 744 -) (- -] [-	-)(-)][-]	955 (-) [-]	- (-) [-]	979 – (–) (– [–] [–) (642 – –) (–) [1] [–]	1. 01倍	—倍		
	合格者数	- (-) (-] [-]	- 273 -) (- -] [-	-)(-)][-]	334 (-) [-]	- (-) [-]	392 – (–) (– [–] [–) (468 – –) (–) [1] [–]				
В	入学者数		- 103 -) (- -] [-) (-)] [-]	114 (-) [-]	- (-) [-]	102 – (–) (– [–] [–) (86 – –) (–) [1] [–]				
入当	学定員超過率 B/A	_		1. 03	1.	14	1. 02		0.86				

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ () 内には、<u>編入学の状況について**外数で**記入</u>してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「一」を記入してください。
 - 転入学生は記入しないでください。
 - ・ 「]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入</u>してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は<u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入</u>してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、 報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ 記入してください。完成年度を越えていない場合は「一」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

	対象年度	平成2	9年度	平成 3	0 年度	令和克	元年度	令和 2	2年度	令和 (3年度	- 備 考	
学	年	春季入学	その他の学期										
		-	-	103	_	114	_	104	_	89	_		
	1 年次	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[1]	[-]		
		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(2)	(-)	(3)	(-)		
		-	-	-	-	102	_	113	_	105	_		
	2 年次	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(3)	(-)	(4)	(-)		
		-	-	-	-	-	-	95	_	109	_		
	3 年次	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(3)	(-)		
		-	-	-	-	-	-	-	-	92	_		
	4 年次	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
		-	-	10	03	2	16	3	12	39	95		
	計	[-]	[-]	[-	.]	[-]	[1]		
		(-	-)	(-	-)	(-	-)	(!	5)	(1	0)		

- ・令和3年5月1日 公表
 - (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ []内には、<u>留学生の状況について**内数で**記入</u>してください。該当がない年度には「一」を記入してください。
 - ・()内には、 $\underline{\mathbf{a}}$ 年者の状況について、内数で記入してください。 $\underline{\mathbf{i}}$ 当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ $\underline{$ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入</u>してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分				内訳		主な退学理由
対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	入学した年度	退学	者数	(留学生の理由は[]書き)
7134-12			71,01012		うち留学生数	
平成29年度	- 人	- 人	平成29年度	- 人	- 人	
平成30年度	103 人	1 人	平成29年度	- 人	- 人	
1 1,000 + 10	100 %		平成30年度	1 人	0 人	その他<他大学受験>(1人)
			平成29年度	- 人	- 人	
令和元年度	216 人	5 人	平成30年度	3 人	0 人	その他<就職>(2人)、その他<他大学受験>(1人)
			令和元年度	2 人	0 人	就学意欲の低下(1人)、その他<進路変更>(1人)
			平成29年度	- 人	- 人	
令和2年度	312 人	2 人	平成30年度	1人	0 人	他の教育機関への入学・転学(1人)
			令和元年度	1人	0 人	その他<進路変更>(1人)
			令和2年度	0 人	0 人	
			平成29年度	- 人	- 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
令和3年度	395 人	0 人	令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
合 計		8 人		8 人	0 人	

- (注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、<u>留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入</u>してください。
 - ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】 平成29年度の退学者数(a) **#VALUE!** 平成29年度の在学者数(b) 【平成30年度】 平成30年度の退学者数(a) 0.97 平成30年度の在学者数(b) 【令和元年度】 令和元年度の退学者数(a) 令和元年度の在学者数(b) <u>5</u> 216 2.31 【令和2年度】 令和2年度の退学者数(a) 令和2年度の在学者数(b) 312 0.64 【令和3年度】 令和3年度<u>の退学者数(a)</u> 0 % 令和3年度の在学者数(b)

(注) · 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<社会学部 コミュニティデザイン学科>

(1)一① 授業科目表

【認可時又は届出時】

【令和3年度】

	科目区分	!	授業科目の名称	配当年次		単位数 選		准		の配制		兼 任 ・兼		科目区分		授業科目の名称	配当年次		単位数 選 自		准		の配置助	th :
-	Г		人間学Ⅰ	1前・後	修 4	択目	由授	教授	師	教	手	兼 担 兼3		T		人間学I	1前・後	修 4	択由	授	教授	飾	教	兼 手 担 非2
共通		8合 4目	人間学Ⅱ	2 - 3 - 4	4		1					兼12	共通	総合 科目	3	人間学Ⅱ	2 - 3 - 4	4		1	1			兼17
共通基礎科目	,	大学	学びの発見	前・後 1前	2	+			1		- 1		通基礎	大学	ř,	学びの発見	前・後 1前	2		+		1		+
科目	18	¥入 ≤修	英語Ⅰ	1前・後	4	+	-		1			兼9	科目	導力		英語I	1前・後	4		-				※6
		国語	英語 II	2前・後	4		4	2	2			兼12		外国	26	英語 Ⅱ	2前・後	4		4		2		兼6
			コミュニティデザイン演習 I a コミュニティデザイン演習 I b	1前 1後	2		4	2	2							コミュニティデザイン演習 I a コミュニティデザイン演習 I b	1前	2		4	3	1		
		演	コミュニティデザイン演習 II a コミュニティデザイン演習 II b	2前 2後	2		2	3	3					演		コミュニティデザイン演習Ⅱa コミュニティデザイン演習Ⅱb	2前 2後	2		3	3	2 2		
		퍔	コミュニティデザイン演習Ⅲa コミュニティデザイン演習Ⅲb	3前 3後	2		3	2 2	3					習		コミュニティデザイン演習Ⅲョ	3前 3後	2 2		3	3	2 2		
			コミュニティデザイン演習Wa	481	2		3	2	3							コミュニティデザイン演習皿b コミュニティデザイン演習IVa	4前	2		3 5	2	1		
		Τ	コミュニティデザイン演習IVb 仏教社会論	4後 2前	2		3	2	3		-	兼1		Н		コミュニティデザイン演習IVb 仏教社会論	4後 2前	2	-	5	2	1	-	兼4
		Α	社会学概論 コミュニティデザイン概論	2後 1前	2		١.					兼1				社会学概論 コミュニティデザイン概論	2後 1前	2		١,				兼1
	200		公共政策概論1	187	2	2	-				- 1	兼1		886		公共政策概論1	1前	2	2	+				兼1
	概論		公共政策概論2 社会情報学概論1	1後 1前		2	1					兼1		概論		公共政策概論2 社会情報学概論1	1後 1前		2	1				兼1
		В	社会情報学概論2 現代社会と福祉1	1後		2 2	١,	1								社会情報学概論2 現代社会と福祉1	1後		2	1	1			
			現代社会と福祉2	1後		2	1							Ш		現代社会と福祉2	1後		2	1				
			ボランティア論 現代社会論	1前		2			1			兼1				ボランティア論 現代社会論	1前 1前		2			1		₩1
			生活問題論社会政策論	1前		2 2						兼1 兼1				生活問題論 社会政策論	1前		2 2					兼1 兼1
			メディアと市民社会	180		2		1								メディアと市民社会	1前		2		1			A11.2
1			市民活動論 現代社会とコミュニケーション	1後 2後		2			1			兼1				市民活動論 現代社会とコミュニケーション	1後 2後		2			1		兼1
1			社会調査論 宗教と社会	2前 2後		2 2						兼1 兼1				社会調査論宗教と社会	2· 3 前 2後		2					兼1 兼1
1			情報と倫理	1後		2					- [兼1				情報と倫理	1後		2					兼1
			情報社会論 地域と経済	1後 2前		2	1					兼1				情報社会論 地域と経済	1後 2前		2	1				兼1
			非営利組織マネジメント論 コミュニティ形成論	2後 2後		2 2	1	1								非営利組織マネジメント論 コミュニティ形成論	2後 2後		2	1	1			
1			ソーシャルビジネス論	3前		2	T.	1								ソーシャルビジネス論	3前		2		1			
			地域と環境 犯罪と社会	2前		2	1					兼1				地域と環境 犯罪と社会	2前 2前		2	1				兼1
			地方自治論 地域社会論	3前 1後		2 2	1					兼1				地方自治論 地域社会論	3前 1後		2 2	1				兼1
			現代家族論	2前		2						兼1				現代家族論	2前		2					兼1
			グローバリゼーション論 社会問題論	3前 2後		2						兼1 兼1				グローバリゼーション論 社会問題論	3前 2後		2					兼1 兼1
			情報技術論 コミュニティブランニング論	2後 3後		2	1	1								情報技術論 コミュニティブランニング論	2後 3後		2	1	1			
			情報マーケティング論 社会福祉発達史	2後 2後		2 2	١.					兼1				情報マーケティング論 社会福祉発達史	2後 2後		2 2	١,				兼1
学科裏		講義	災害と防災	2後		2	1						学科裏	講義		災害と防災	2後		2	1				
科専門科目			ターミナルケア論 高齢者福祉	3後 1後		2						兼1 兼1	専門科			ターミナルケア論 高齢者福祉	3後 1後		2					兼1 兼1
Ħ			障害者福祉 児童福祉	1後 1後		2 2						兼1 兼1	Ħ			聯害者福祉 児童福祉	1後 1後		2					兼1 兼1
			社会保障論1	2前		2			1			AN -				社会保障論1	2前		2			1		AK.1
			社会保障論2 地域福祉論1	2後 2前		2	1		1							社会保障論2 地域福祉論1	2後 2前		2	1		1		
			地域福祉論2 心理学	2後 1前		2 2	1		1							地域福祉論2 心理学	2後		2 2	1		1		
			社会学	1前		2						兼1				社会学	1前		2					₩1
			医学一般 社会福祉開查論	2前 2前		2						兼1 兼1				医学一般 社会福祉調査論	2前 2前		2					兼1 兼1
			介護概論 公的扶助論	2前 2後		2 2						兼1 兼1				介護概論 公的扶助論	2前 2後		2 2					兼1 兼1
			就労支援	2後		1			1						3	就労支援	2後		1			1		
			司法福祉論 福祉行財政と福祉計画	2後 3前		2			1			兼1			1	司法福祉論 福祉行財政と福祉計画	2後 3前		2			1		兼1
			社会福祉施設経営論 保健医療サービス論	3前 3前		2						兼1 兼1				社会福祉施設経営論 保健医療サービス論	3前 3前		2					兼1 兼1
			権利擁護と成年後見制度 相談援助の基盤と専門職1	3前 1前		2		,				兼1			1	権利擁護と成年後見制度 相談援助の基盤と専門職1	3前 1前		2		١,			兼1
			相談援助の基盤と専門職2	1後		2		1								相談援助の基盤と専門職2	1後		2		1			
			相談援助の理論と方法1 相談援助の理論と方法2	1後 2前		2						兼1 兼1			1	相談援助の理論と方法1 相談援助の理論と方法2	1後 2前		2					兼1 兼1
1			相談援助の理論と方法3 相談援助の理論と方法4	2後 3前		2 2						兼1 兼1				相談援助の理論と方法3 相談援助の理論と方法4	2後 3前		2					兼1 兼1
1			ブロジェクト研究入門 I ブロジェクト研究入門 I	1前		2 2	4		1	П	j					プロジェクト研究人門 I プロジェクト研究人門 II	1前 1後		2 2	4 3	2 2	2		
			プロジェクト研究実践Ⅰ	2前		4	2	2	1		- [1	プロジェクト研究実践 I	2前		4	4	2	1		
			プロジェクト研究実践Ⅱ プロジェクト研究実践Ⅲ	2後 3前		4	2		1							プロジェクト研究実践Ⅱ プロジェクト研究実践Ⅲ	2後 3前		4	4				
	2		プロジェクト研究実践IV 社会福祉援助技術演習1	3後 1後		4 2	3		1			兼2		グロ		プロジェクト研究実践IV 社会福祉援助技術演習1	3後 1後		4 2	4				兼2
	5	730	社会福祉援助技術演習2	2前		2						兼2		23	ts is	社会福祉援助技術演習2	2前		2					兼2
	1	.践 ·研	社会福祉援助技術演習3 社会福祉援助技術演習4	2後 3前		2						兼2 兼2		エリクテ	H H	社会福祉援助技術演習3 社会福祉援助技術演習4	2後 3前		2					兼2 兼2
	# SF)		社会福祉援助技術演習5 社会福祉援助技術現場実習指導 I	4前 2後		2 2		1	1 2			兼1		究		社会福祉援助技術演習5 社会福祉援助技術現場実習指導 I	4前 2後		2	1	1	1 2		
			社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ	3前		2		1	1			兼3				社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ	3前		2		1	1		兼3
			社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ 社会福祉援助技術現場実習	4前3後		4		1	2			兼3 兼3				社会福祉援助技術現場実習指導 Ⅲ 社会福祉援助技術現場実習	4前3後		2	2	1	2		兼3 兼3
			社会福祉学特殊演習 I 社会福祉学特殊演習 Ⅱ	4前		2			1							社会福祉学特殊演習 I 社会福祉学特殊演習 Ⅱ	4前		2			1		
	4	Y菜 开究	在去場在子神林貞吉 II 卒業研究	4後	8		3	2	3	0	0			卒業研究		在去無在子特殊演習 II 卒業研究	4被	8	-	6	2	1	0	0
-	-	>6	日本国憲法	1 • 2 • 3 • 4		2	\dagger	1			+	兼1		47.9		日本国憲法1	1 • 2 • 3 • 4		2	t		H	\dashv	₩1
				前・後												日本国家後2	1・2・3・4後		2					#1
1			発想から表現へ	1・2・3・4後		2						兼1				日本 国憲法 3 発想から表現へ	1・2・3・4前		2					兼1 兼1
			思考法人門	1・2・3・4後		2						兼1				思考法入門	1・2・3・4後		2					兼1
1			日本語表現 (入門)	1・2・3・4 前・後		2						兼1				日本語表現 (入門)	1 • 2前 · 後		2					兼1
			日本語表現 (実践)	2·3·4 前		2					- [兼1				日本語表現 (実践)	2 · 3 · 4 mm		2					兼1
1			探究基礎演習	1・2・3・4後		2						兼1				探究基礎演習(未開課)	1・2・3・4後		2					₩1
1			ボルトガル路圏のくらしと言葉1 ボルトガル路圏のくらしと言葉2	1·2·3·4前 1·2·3·4後		2						兼1 兼1				ポルトガル語圏のくらしと言葉1 ポルトガル語圏のくらしと言葉2	1・2・3・4前 1・2・3・4後		2					兼1 兼1
1		牛	インターンシップ1大学コンソ京都 インターンシップ2大谷大学	2·3後 1·2·3·4後		2 2						兼1 兼1		*		インターンシップ 特殊演習 1 大学コンソ京都 インターンシップ 特殊演習 2 大谷大学	2・3後 1・2・3・4後		2 2					兼1 兼1
•		de .	1				٠				1		٠	l de	II.			• '		•		. 1	'	

************************************	専任教員等			Т	汝	女		Т										Ť	3
### 1-2-2-2-20 日本 1-2-2-20 日	教准講教科學師	教術	教拇	1 4	由由	自由	自由	4	教授	g B	准彩料	催 教禄		講師	1	動動	助手	1	1 1 1
# 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	10 10 100	-	•	Τ	<u> </u>	ш	_	T		Τ	_	٦	Ť	MA	T	_	_	Ť	- 1
### 2 *** *** *** *** *** *** *** *** **	1				ı '				ı							J		ı	Я
### 1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-	1				1				1			- 1						ı	#
************************************	1				ı '				ı							J		ı	#
中部による中部成形 1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1	1				1				1			- 1						ı	31
Temporary 1-1-1-40 1-1-40 1-1-1-40 1-1-1-40 1-1-1-40 1-1-1-40 1-1-1-40 1-1-40 1-1-1-40 1-1-1-40 1-1-1-40 1-1-1-40 1-1-1-40 1-1-40 1-1-1-40 1-1-4	1				1				1			- 1						ı	31
### 1 1 2 1 4 1 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1				1				1			- 1						ı	- 21
### 12-15-14日 2 1-15-15-15 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1				, '				ı							Į,		ı	31
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	1				, '				ı							Į,		ı	38
####################################	1				1				1			- 1						ı	я
## (1	1				1				1			- 1						ı	я
Marf () 神風以下	1				1				1			- 1						ı	Я
Marting 1-2-1-16 2 1-2-1-1	1				, '				ı							Į,		ı	Я
1-2-1-14년 1-	1				, '				ı							Į,		ı	Ħ
	1				, '				ı							Į,		ı	Я
	1				1				1			- 1						ı	*
SaOL(くかと 神経性 1-2 - 4-48	1				, '				ı							Į,		ı	
自から他の神学 1-2-1-48	++-	_	-	+	\vdash		-	+	-	+	₩	_	+	_	+	_	⊢	+	*
無数を公司 1-2-1-4日 2 1 1	1				1				1			- 1						ı	#
報告を知知		,	١,	-	, '				١.	, [1	ı					1	1	Я
現場的学 1-2-3-44 2	1 *		1	-	, '						1	ı					1	1	я
数据科学 1-21-3-48 2 数数	1		ĺ		1				ı		1	ı						1	ж Я
製造機能・全角の内薬化 1-23-4歳 2 1-23-4& 2 1-23-4& 3 1-23-4& 3 1-23-4& 3 1-23-4& 3 1-23-4& 3	1		ĺ		1				ı		1							1	#
1 - 20 - 20 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1				, '				ı							Į,		ı	9
1-2-3-4回 1-2-3-4回 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1				1				1			- 1						ı	38
### 1	1				1				1			- 1						ı	я
日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	1				1				1			- 1						ı	Я
日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	1				, '				ı							Į,		ı	Я
6	1				1				1			- 1						ı	Я
##	1				, '				ı							Į,		ı	Я
1	1				1				1			- 1						ı	Я
大小一一母歌問目 2 - 3 - 4歳 2 2 3 - 4歳 2 3 - 5 - 4歳 3 2 - 5 - 4歳 3 4 5 - 5 - 5 - 4歳 1 4 5 - 5 - 5 - 4歳 1 4 5 - 5 - 5 - 4歳 1 4 5 - 5 - 5 - 4歳 1 4 5 - 5 - 5 - 4歳 1 4 5 - 5 - 5 - 4歳 1 4 5 - 5 - 5 - 4歳 1 4 5 - 5 - 5 - 4歳 1 4 5 - 5 - 5 - 4歳 1 4 5 - 5 - 5 - 4歳 1 4 5 - 5 - 5 - 4歳 1 4 5 - 5 - 5 - 4歳 1 4 5 - 5 - 5 - 4歳 1 4 5 - 5 - 5 - 5 - 4歳 1 4 5 - 5 - 5 - 5 - 5 - 5 - 5 - 5 - 5 - 5	1				, '				ı							Į,		ı	#
対象を大水ー・一型視覚音	1				1				1			- 1						ı	#
カー・フィー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1				1				1			- 1						ı	州州
中核が動目 (関連者 ボーケ) 1 2 2 3 4 6	1				, '				ı							Į,		ı	#
## (1				1				1			- 1						ı	#
## (1				1				1			- 1						ı	9
## A PAKS 動目 (関帯者 メポーツ)	1				, '				ı							Į,		ı	9
#	1				1				1			- 1						ı	я
************************************	1				1				1			- 1						ı	Я
# 1 - ローッパの宗教と文化(ドイツ)	1				1				1			- 1						ı	Я
# ローッパの宗教と文化(アランス) 1・2・3・4版 2 1・2・3・4版 2 1・2・3・4版 2 2 2・3・4版 2 2 3・4版 2 3 3 3・4版 2 3 3 3・4版 2 3 3 3・4版 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	1				, '				ı							Į,		ı	-
# ローリバの液化 文化(プランス)	+			4	⊢'		_	4	_	4	L	لــــ	4		4	لــــا	₩	4	*
無比 機能性 無対	1				1				1			- 1						ı	#
ML	1				, '				ı							Į,		ı	#
無用アジアの宗教文化 1 2 2 3 4個 2	1				1				1			- 1						ı	31
定行日本とアジア 1・2・3・4報 2 1・2・3・4報 4 1・2・3・4報 2 1・2・3・4報 4 1・2・3・4報 2 1・2・3・4報 4 2 1・2・3・4報 2 1・2・3・4	1		ĺ		1				ı		1	ı						1	л Я
************************************	1		ĺ		1				ı		1	ı						1	#
大都の使史と文化 1・2・3・4個 2 (公民と本所 1・2・3・4個 2 (公民と本所 1・2・3・4個 2 (公民と本所 1・2・3・4版 2 (公民・本所 1・2・3・4版 2 (公民・本所 1・2・3・4版 2 (公民・本所 1・2・3・4版 2 (公民・本所 1・2・3・4版 2 (公民・大阪 1・2・3・4版 2 (公尺・大阪 1	1		ĺ		1				ı		1							1	31
(上数と発酵 1 - 2 - 3 - 4機 2 次との需数と文化 1 - 2 - 3 - 4機 2 次との需数と文化 1 - 2 - 3 - 4機 2 次と文化 1 - 2 - 3 - 4機 2 次と文化 1 - 2 - 3 - 4機 2 次と文化 1 - 2 - 3 - 4機 2 次	1				, '				ı							Į,		ı	9
#1 インドの需要と文化 1 2 2 3 4機 2 中国の需要と文化 (本質像) 1 2 2 3 4機 2 中国の需要と文化 (本質像) 1 2 3 4機 2 中国の需要と文化 (本質像) 1 2 3 4機 2 中国の需要と文化 (本質像) 1 2 3 4機 2 東1 年 2 3 4機 2 第本条例と大容機関目 1 2 3 4機 2 第本条例と大容機関目 1 2 3 4機 2 第本条例と大容機関目 1 2 2 3 4個 2 第本条例と子上集中立 1 2 3 4機 2 第本条例と子上集中立 1 2 3 4機 2 第本条例と子上集中立 1 2 3 4機 2 第本条例と 2 ズラースト運動論 1 2 3 4機 2 東1 第本条例と 2 ズラースト運動論 1 2 3 4機 2 東1 アグ文保険と 声位 東1 1 2 3 4機 2 東1 アグ文保険と 声位 東1 1 2 3 4機 2 アグス保険と 声位 東1 2 3 4機 2 アグス保険と 声位 東2 3 4機 2 2 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	1		ĺ		1				ı		1	ı						1	38
歴 人と文化 2 - 3 - 4後 2 東1 東1 東2 京帝守1 1 - 2 - 3 - 4後 2 東1	1				, '				ı							Į,		ı	Я
Y 大 教育学1 1 - 2 - 3 - 4 個 2 東1 Y 大 教育学1 1 - 2 - 3 - 4 個 2 東	1				, '				ı							Į,		ı	Я
文 教育子1	1				, '				ı							Į,		ı	Я
# 7 クタビ学ぶ 1・2・3・4版 2 東1 新 2・3・4版 2 東1	1				1				1			- 1						ı	Я
(4) ブッグに学ぶ 1・2・3・4個 2 数: 数: 2 数: 4個 2 数: 数: 2 3・4個 2 数: 2 3・4個 2 数: 2 3・4個 2 数: 2 3・4個 2 数: 3 2・3・4個 2 数: 3 2・3・4回 2 3 3 2・3・4回 2 3 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	1				, '				ı							Į,		ı	Ħ
第二条形とたとが経費目 1・2・3・4版 2 第1 第二条形とたとが接種目 1・2・3・4版 2 第1 第二条形とたを活費配目 1・2・3・4版 2 第二条形ととの表現的に含まます。 1・2・3・4版 2 第二条形を影けと含ままでは 1・2・3・4版 2 第二条形を施口 1・2・3・4版 2 7・3・4版 2 7・3・4版 2 7・3・4版 1・2・3・4版 2 7・3・4版 1・2・3・4版 2 7・3・4版 1・2・3・4版 2 7・3・4版 1・2・3・4版 2 7・3・4版 3・3・4版 2 7・3・4版 2 7・3・4版 2 7・3・4版 2 7・3・4版 3 7 7 7 7 7 7 7 7 7	1				, '				ı							Į,		ı	#
第二条 表別と分上表示教団2 1 - 2 - 3 - 4後 2 東1 第二条 別と今上其宗主 1 - 2 - 3 - 4後 2 東1 第二条 別と今上其宗主 1 - 2 - 3 - 4後 2 東1 第二条 別と今上其宗主 1 - 2 - 3 - 4後 2 東1 第二条 別と今上其宗主 1 - 2 - 3 - 4後 2 東1 第二条 別と今上其宗主 1 - 2 - 3 - 4後 2 東1 第二条 別と今上末宗主 1 - 2 - 3 - 4後 2 東1 第二条 東2 第三条 東2 東2 東2 東2 東2 東2 東2 東2	1				, '				ı							Į,		ı	#
新年 表別と 日本	i		ĺ	-	, '				1		1	ı					1	1	31
照落差別と浄土実常2 1・2・3・4後 2 第1 第2 第2 第1 第2	1		ĺ	1	, '		- 1	1	ı		1				1		1	1	я Я
新原文論 1-2-3-4前 2 東1 新原文論 1-2-3-4前 2 東2 新原文論 1-2-3-4前 2 東3 新原文論 1-2-3-4前 2 東4	1		ĺ		1				ı		1	ı						1	#
部落交胎2 1・2・3・4後 2 東1 部落交胎2 1・2・3・4後 2 東1 アイス反叛と称に 1・2・3・4後 2 アイス反叛と称に 1・2・3・4後 2 アイス反叛と称に 1・2・3・4後 2 アイス反叛と称に 1・2・3・4後 2 アイス反叛と称は 1・2・3・4後 2 平板の名階 1・2・3・4節 1・2・3・4節 2 平板の名階 1・2・3・4節 2 平板の名階 1・2・3・4節 2 平板の名階 1・2・3・4節 2 平板の名階 1・2・3・4節 2 1・2・3・4節 1・2・3・4節 2 1・2・3・4節 1・2・3・4節 2	1		ĺ		1				ı		1	ı						1	#
次ケースト運動論 1-2-3-4後 2 東1 ズケースト運動論 1-2-3-4後 2 アイヌ投版と共に 1-2-3-4後 2 アイヌ投版と共に 1-2-3-4後 2 アジア投格と宗教 1-2-3-4後 2 東1 アジア投格と宗教 1-2-3-4後 2 東2 戸板の名階 1-2-3-4後 2 原板の名階 1-2-3-4節 2 仮報経論 1-2-3-4節 2 (必要経論 1-2-3-4節 2 (公理経論 1-2-3-4節 2 (公理経施 1-2-3-4節 2 (公理経 1-2-3-4) (公理経 1-	1		ĺ		1				ı		1	ı						1	31
アイヌ民族と共に 1・2・3・4前 2 兼1 アイヌ民族と共に 1・2・3・4費 2 アジア保険と宗教 1・2・3・4前 2 兼1 アンア保険と宗教 1・2・3・4表 2 非戦の系譜 1・2・3・4前 2 兼1 表数の系譜 1・2・3・4前 2 仏教福計論 1・2・3・4表 2 東1 仏教福計論 1・2・3・4書 2	i		ĺ	-	, '				1		1	ı					1	1	38
アジア優略と宗教 1・2・3・4後 2 東1 アジア侵略と宗教 1・2・3・4歳 2 非報の表層 1・2・3・4前 2 東1 人教術社論 1・2・3・4前 2 仏教術社論 1・2・3・4歳 2 東1	1		ĺ	1	, '		- 1	1	ı		1				1		1	1	38
非戦の系譜 1・2・3・4前 2 東1 非戦の系譜 1・2・3・4前 2 北製福祉論 1・2・3・4前 2 北製福祉論 1・2・3・4前 2	1		ĺ		1				ı		1	ı						1	38
	1		ĺ	1	, '		- 1	1	ı		1				1		1	1	38
		_	L_	4	'ـــا	_	_	4	_	4	L	_	4	_	4	ب	Ļ	4	- 1
合計(171科目) - 48 312 0 5 3 3 0 0 集終 合計(176科目) - 48 328 0 5 3 企業率件及び開催力法	5 3 3	5 3	5	1	0	0	0	_	5	ز	3	3	_ــــ	3	Ш	0	0	_	*

①共通基礎科目18単位以上(人間学1・18単位、大学導入科目2単位、必修外国語8単位) 2字科専門科目92単位(人)法官6単位、機能人3単位、機能619単位。誘義科目から 3単位、支援のインセント研究から20単位、交易有次単位を修得 3現代総合科目から6単位以上を修得 必必半部間減計日を映ました19世帯した場合。最大3単位までを自己選択科目の単位 として認める 17一位の村目を修得し、124単位以上を履修すること

*必修外国語は英語 I・IIの8単位であるが、学生の希望により、文学部に開講するドイツ語、 フランス語、中国語、韓国・朝鮮語を関修させることができる *履修科目の登録単位数の上限は、年間48単位まで

①共通基礎科目18単位以上(人間学 1・18単位、大学導入科目2単位、必修外国語8単位) 空学科専門科目92単位以上(演習16単位、概論/N5単位、概論(D4単位、講義科目から38単位、実践研究(プロジェクト研究)から20単位、卒業 研究学単位を終刊 3現代総合科目から8単位以上を修得 必常学問期第日を限・間心により履修した場合、最大3単位までを自己選択科目の単位として認める ①~④の科目を修得し、124単位以上を履修すること

* 必修外国語は英語 1・日の8単位であるが、学生の希望により、文学部に開講するドイツ語、フランス語、中国語、韓国・朝鮮語を履修させること ができる ・優勢料目の登録単位数の上限は、年間48単位まで

【平成30年度】 【令和元年度】
 単位数
 専任教員等の配置

 必
 選
 自
 教
 准
 講
 助
 助

 修
 択
 由
 授
 授
 師
 教
 手

 単位数
 専任教員等の配置

 必 選 自 教 准 講 助 助 像 択 由 授 授 師 教 手
 兼任・兼担 ※3 ※12 科目区分 配当年次 科目区分 配当年次 授業科目の名称 授業科目の名称 総合料目 人間学Ⅱ 人間学Ⅱ **兼16** 大学 導入 学びの発見 大学 導入 学びの発見 190 1前 必修 英語 I 外国語 英語 II 1前・後 2前・後 兼**6** 兼**6** 必修 外国語 英語 II
コミュニティデザイン演習 I a
コミュニティデザイン演習 I b
コミュニティデザイン演習 I B
コミュニティデザイン演習 II B
コミュニティデザイン演習 II B 1 例 1 後 2 前 2 後 3 前 3 後 4 前 演習 コミュニティデザイン後書面。 コミュニティデザイン後書面。 コミュニティデザイン後書下の コミュニティデザイン後書下り 仏教技会論 人社会学報論 これたコティデザイン概論 公共政策報論1 公共政策報論2 。 社会等を編論1 コミュニティデザイン演習Na コミュニティデザイン演習Nb 仏教社会論 社会学概論 コミュニティデザイン概論 公共政策概論! 公共政策報論! 兼1 兼1 2 2 2 兼**4** 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 概論 出会情報学既論1 社会情報学既論2 現代社会と福祉1 現代社会と福祉2 ボランティア論 社会情報学概論1 社会情報学概論2 現代社会と福祉1 現代社会と福祉2 ボランティ: 現代社会論 生活問題論 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 社会政策論 社会政策論 メディアと市民社会 市民活動論 現代社会とコミュニケーション 社会開査論 宗教と社会 情報社会論 地毯と経済 地毯と経済 **敷1** 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 非営利組織マネジメント論 非宮刊組織マネジメント編 コミュニティ形成論 ソーシャルビジネス論 地域と環境 犯罪と社会論 地域社会論 現代東がリゼーション論 1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 現代定族論
プローバリゼーション論
社の問題論
コミュニティブリンニング論
情報技術論
コミュニティブリンニング
情報技術論
コミュニティブリンニング
情報・アクマイング論
社の最社を発度。
アン・ナルッア論
高者を福祉・
社会保護論
地名保護論
地名保護論
地名保護論
地名保護論
地名保護論
地名保護論
地名保護論
地名保護論
地名保護論
「中国語語
公力理学
医子・校
大規模語
「中国語語」
の表生を
「日本語語」
「日本語語』
「日本語語
「日本語語』
「日本語語』
「日本語語』
「日本語語』
「日本語語
「日本語語』
「日本語語』
「日本語語
「日本語語』
「日本語語』
「日本語語』
「 *****1 兼1 学科専門科目 講義 調義 兼1 1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 南原被助の強強とか助は プロジェクト研究人門1 プロジェクト研究大阪1 プロジェクト研究大阪1 プロジェクト研究大阪1 プロジェクト研究大阪1 プロジェクト研究大阪1 社会福祉援助技術所領別 社会福祉援助技術所領別 社会福祉援助技術所領別 社会福祉援助技術所領別 社会福祉援助技術所領別 社会福祉援助技術所領別 社会福祉援助技術所領別 社会福祉援助技術所領別 社会福祉援助技術所領別 社会福祉援助技術所規率習而傳 社会福祉援助技術所規率 プロジェクト研究入門Ⅰ プロジェクト研究入門Ⅱ プロジェクト研究実践Ⅰ 1後前後前後前後前前後前前後前 4前後前前後前 プロジェクト研究教員 1 プロジェクト研究教園 プロジェクト研究教園 プロジェクト研究教園 社会福祉股助技術演習2 社会福祉股助技術演習2 社会福祉股助技術演習2 社会福祉股助技術演習2 社会福祉股助技術機需了習問専 I 社会福祉股助技術機需了習問専 I 社会福祉股助技術機需等習問專 I 社会福祉股助技術機需等 プロジェクト研究) 兼2 兼2 兼2 兼2 兼1 兼3 兼3 兼2 兼2 兼2 兼2 兼1 社会福祉学特殊演習Ⅱ 社会福祉学特殊演習Ⅱ 4後 卒業 研究 卒業研究 4通 卒業研究 4通 卒業研究
日本国憲法 1
日本国憲法 2
日本国憲法 3
死想から表現へ
思考法入門
日本語表現 (入門) 1 · 2 · 3 · 4章 2 · 2 · 3 · 4章 2 · 3 · 4章 2 · 3 · 4章 1 · 2 · 3 · 3 · 4章 1 · 2 · 3 · 3 · 3 · 3 · 3 · 3 · 3 1 · 2 · 3 · 4 **楠** 1 · 2 · 3 · 4 **楠** 1 · 2 · 前 · 後 2 · 3 · 4 **镜** 1 · 2 · 3 · 4 **楠** 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 思考放入門
日本語表現 (大畑)
日本語表現 (大畑)
日本語表現 (大畑)
日本語表現 (大畑)
日本語表現 (大畑)
「東京都園かららしと音楽1
ポルトガル園間かららしと音楽1
ポルトガル園間からしと音楽2
イクターンシップ2 大声シアダイン 一大中プアダイン機能1
キャリアデザイン機能1
キャリアデザイン実践1
キャリアデザイン実践1
トャリアデザイン実践2
アード・プロセッシング5月
アで利用によるサドスの円
では同によるサドスの円
所知用によるサドスの円
高数数型5円
高数数型5円
高数数型5円
高数数型5円
高数数型5円
高数数型5円
高数数型5円
100、コージック5円
100、コージック5円
100、コージック5円
100、コージック5円
100、コージック5円
100、100、30、30 個性
自動と生の04、20 個性
自動と大川1
地球を大川1
地球を大川1
地球を大川1
地球を手掌1
地球構造と大川1
地球を大川1
地球を手掌1
地球構造と大川1
地球を手掌1
地球構造と大川1
地球を手掌1
地球構造2・生命の共産化
こころの音学 1 · 2 · 3 · 4前 1 · 2 · 3 · 4後 1 · 2 · 3 · 4後 1 · 2 · 3 · 4卷

7

				- 5	単位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼
	科目	授業科目の名称	配当	必	選	自	教	准	講	助	助	任
	区分	25,7411	年 次	修	択	ь	授	教授	飾	教	手	兼担
		人間理解の心理学	1・2・3・4後	120	2	ш	1.X	1.8	Pili	73.	T	班1
		スポーツと健康の科学1	1・2・3・4前		2							兼1
現	白	スポーツと健康の科学2	1・2・3・4後		2							#1
代総	然生	脳とこころ	1・2・3・4前		2							兼1
合	की	障害者スポーツ論	1・2・3・4後		2							兼1
科日	系科	生涯スポーツ・レクリエーション活動	1・2・3・4後		2							兼1
н	日	スポーツ研究演習I	2・3・4前		2							兼1
		障害者スポーツ研究演習I	2・3・4前		2							兼1
		スポーツ研究演習Ⅱ	2・3・4後		2							兼1
		障害者スポーツ研究演習Ⅱ	2・3・4後		2							兼1
		カウンセリング	2 · 3 · 4ñi		2							兼1
		身体活動I	1・2・3・4前		1							兼2
		身体活動 I (障害者スポーツ)	1・2・3・4前		1							兼1
		身体活動Ⅱ	1・2・3・4後		1							兼2
		身体活動Ⅱ (障害者スポーツ)	1・2・3・4後		1							兼1
		人間関係と身体表現	1・2・3・4前		2							兼1
		障害者・病者と共に生きる	1・2・3・4前		2							兼1
		ヨーロッパの宗教と文化 (ドイツ)	1・2・3・4後		2							兼1
		ヨーロッパの宗教と文化 (フランス)	1・2・3・4後		2							兼1
		現代朝鮮半島事情	1・2・3・4後		2 2							兼1
		現代東南アジア事情 東南アジアの宗教文化	1・2・3・4版		2							兼1 兼1
		来用/シノの示収文化 近代日本とアジア	1・2・3・4例		2							#1
		東アジアの宗教文化	1 - 2 - 3 - 48		2							班1
		古都の歴史と文化	1 - 2 - 3 - 4前		2							班1
		仏教と美術	1・2・3・4後		2							班1
		インドの宗教と文化	1・2・3・4後		2							#1
		中国の宗教と文化	1・2・3・4後		2							班1
	歴	人と文化	2・3・4後		2							班1
	史文	教育学1	1・2・3・4前		2							#1
	化	教育学2	1 • 2 • 3 • 4後		2							961
	系科	ブッダに学ぶ	1・2・3・4前		2							兼1
	日	親鸞に学ぶ	1・2・3・4後		2							兼1
		部落差別と大谷派教団1	1・2・3・4前		2							₩1
		部落差別と大谷派教団2	1・2・3・4後		2							兼1
		部落差別と浄土真宗1	1・2・3・4前		2							兼1
		部落差別と浄土真宗2	1・2・3・4後		2	1	l				1	兼1
		部落史論1	1・2・3・4前		2							兼1
		部落史論2	1・2・3・4後		2	1	l				1	兼1
		反カースト運動論	1・2・3・4後		2							兼1
		アイヌ民族と共に	1 · 2 · 3 · 4		2							兼1
		アジア侵略と宗教	1・2・3・4後		2	1	l				1	兼1
		非戦の系譜	1・2・3・4前		2	1	l				1	兼1
1		仏教福祉論	1・2・3・4後		2		l		1			兼1

合計(171科目) - 48 312 0 5 3 3 0 0 兼96 卒業要件及び履修方法	12x EX 199 11E pm		1.7.3.480		- 2							384.1
卒業要件及び履修方法		合計(171科目)	-	48	312	0	5	3	3	0	0	兼96
		卒業要件及び履	修方法									

*必修外国語は英語 I・IIの8単位であるが、学生の希望により、文学部に開講するドイツ語、 フランス語、中国語、韓国、朝鮮語を環修させることができる *履修科目の登録単位数の上限は、年間48単位まで

				- 1	単位多	汝	専	任教	員等	の配	置	兼
	科目	授業科目の名称	配当	必	選	自	教	准	講	助	助	任
	区分	12.8414 10.07117	年 次		-	_	440	教	4-	- ML	-	兼
\vdash		人間理解の心理学		修	択	由	授	授	師	教	手	担
		スポーツと健康の科学1	1・2・3・4後		2							兼1
現	ė				_							
代総	25	スポーツと健康の科学2	1・2・3・4後		2 2							兼1 兼1
合	生命	脳とこころ 図字者スポーツ論	1・2・3・4前		2							班1
科	系	年涯スポーツ・レクリエーション活動	1・2・3・4後		2							班1
目	料	生在ヘルーン・レクリエーション信頼 スポーツ研究演習 I	1 • 2 • 3 • 4		2							班1
	目		2・3・4前		2							
		障害者スポーツ研究演習 I スポーツ研究演習 II	2・3・4前		2							兼1 兼1
		ヘホーン研究演習Ⅱ 障害者スポーツ研究演習Ⅱ	2・3・4後		2							班1
		向き有ヘホーン研究検査 II カウンセリング	2 • 3 • 48		2							班1
		身体活動 I	1・2・3・4前		1							兼2
		対体出版 I (職害者スポーツ)	1・2・3・4前		1							班1
		対体出動 I (単音もヘホーン) 身体活動 II	1・2・3・4前		1							兼2
		身体活動Ⅱ (障害者スポーツ) 人間関係と身体表現	1・2・3・4後		1							兼1
			1・2・3・4前		2 2							兼1
1		障害者・病者と共に生きる ヨーロッパの宗教と文化 (ドイツ) (未開催)	1・2・3・4前		2							兼1 兼1
		ヨーロッパの宗教と文化 (アイン) (未開業)	1・2・3・4後		2							班1
		現代朝鮮半島事情	1・2・3・4後		2							班1
		現代東南アジア事情	1・2・3・4後		2							班1
		東南アジアの宗教文化	1・2・3・4前		2							班1
		近代日本とアジア	1・2・3・4份		2							班1
		東アジアの宗教文化	1 - 2 - 3 - 40		2							班1
		古都の歴史と文化	1・2・3・4前		2							#1
		仏教と美術	1・2・3・4後		2							兼1
		インドの宗教と文化	1・2・3・4後		2							₩2
		中国の宗教と文化(未開催)	1・2・3・4後		2							班1
	腰	人と文化	2・3・4後		2							班1
	史文	教育学1	1・2・3・4前		2							班1
	化	数實学2	1 · 2 · 3 · 486		2							#1
	系	ブッダに学ぶ	1・2・3・4前		2							#1
	科目	親鸞に学ぶ	1 · 2 · 3 · 486		2							#1
	п	部落差別と大谷派教団1	1・2・3・4前		2							₩1
		部落差別と大谷派教団2	1 • 2 • 3 • 486		2							₩1
		部落差別と浄土真宗1	1・2・3・4前		2							₩1
		部落差別と浄土真宗2	1・2・3・4後		2							961
		部落史論1	1・2・3・4前		2							961
		部落史論2	1 • 2 • 3 • 486		2							₩1
		反カースト運動論	1 - 2 - 3 - 486		2							₩1
		アイヌ民族と共に	1 - 2 - 3 - 4		2	1					1	兼1
		アジア侵略と宗教	1・2・3・4後		2							兼1
		非戦の系譜	1・2・3・4前		2							兼1
		仏教福祉論	1・2・3・4後		2							兼1
		合計(173科目)	-	48	316	0	5	3	3	0	0	豐102

①共進基礎科目 18単位以上(人間学1・13単位、大字導入科目2単位、必修外国語8単位) ②字柱専門科目92単位以上(漢言)申単位、概論人即単位、概論(科単位、議義科目から 3集代表(表情)を対して近くが対象がような日本(本書等)を建立を等) 3度代表(合格目から8単位以上を等等 40十分制御制料目の基準、後のにより掲修した場合、最大8単位までを自己選択科目の単位 10一位の科目を修得し、124単位以上を覆等すること

* 必修外国語は英語 I・II の8単位であるが、学生の希望により、文学部に開講するドイツ語、 フランス語、中国語、韓国・朝鮮語を優修させることができる * 履修科目の登録単位数の上限は、年間48単位まで

	科目区分		授業科目の名称	配当年次	必修	単位数	自由	教授	准教授	講師	の配助教	直助手	対付・対抗
共通基	総合科目	1	人間学 I 人間学 I	1前・後 2・3・4 前・後	4 4	υL	щ	1	1 1	ρĐ	- X	r	兼兼
能料	大与 導力	Ĺ	学びの発見	1前	2					1			
Ħ	必能 外国	26 26	英語 I 英語 II	2前・後	4							Ш	兼
			コミュニティデザイン演習 I a コミュニティデザイン演習 I b	1前	2 2			4	3	2			
			コミュニティデザイン演習 Ⅱ a コミュニティデザイン演習 Ⅱ b	2前	2 2			2 2	3	3			
	演習		コミュニティデザイン演習Ⅲa	3前	2			3	3	2			
			コミュニティデザイン演習IIb コミュニティデザイン演習IVa	3後 4前	2 2			3	3 2	3			
			コミュニティデザイン演習IVb	4後	2			3	2	3			L
		Α	仏教社会論 社会学概論	2前 2後	2 2								H
			コミュニティデザイン概論 公共政策概論1	1前	2	2		1					9
	概論		公共政策概論2	1後		2							9
		В	社会情報学概論1 社会情報学概論2	1前 1後		2		1	1				
			現代社会と福祉1	180		2		1	-				
			現代社会と福祉2 ボランティア論	1後	H	2		1		1		H	H
			現代社会論 生活問題論	180 180		2 2							20
			社会政策論	1 (0)		2							2
			メディアと市民社会 市民活動論	1前		2			1	1			
			現代社会とコミュニケーション	2後		2							Я
			社会調査論 宗教と社会	2 • 3 前 2後		2							身
			情報と倫理	1後		2							3
			情報社会論 地域と経済	1後 2前	1	2		1	Ì	Ì	ĺ		Я
			非営利組織マネジメント論 コミュニティ形成論	2後	1	2 2		1	1	Ì	Ì		
			ソーシャルビジネス論	3前	1	2			1	Ì	ĺ		1
			地域と環境 犯罪と社会	2前 2前	1	2		1	Ì	Ì	Ì		9
			地方自治論 地域社会論	3前	1	2		1	Ì	Ì	ĺ		
			現代家族論	1後 2前	1	2			Ì	Ì	ĺ		20 20
			グローバリゼーション論 社会問題論	3前 2後		2							20 20
			情報技術論	2後	1	2			1	Ì	ĺ		1 28
			コミュニティブランニング論 情報マーケティング論	3後 2後		2 2		1					3
学	28		社会福祉発達史	2後		2		1					_
科専門科	義		災害と防災 ターミナルケア論	2後		2		1					9
科目			高齢者福祉	1後		2							3
н			障害者福祉 児童福祉	1後 1後		2							身
			社会保障論1 社会保障論2	2前 2後		2 2				1			
			地域福祉論1	2前		2		1		1			
			地域福祉論2 心理学	2後 1前		2		1		1			
			社会学	1 (0)		2							3
			医学一般 社会福祉調査論	2前 2前		2							31
			介護概論 公的核助論	2前 2後		2 2							20 20
			就労支援	2後		1				1			A
			司法福祉論 福祉行財政と福祉計画	2後 3前		1 2				1			Я
			社会福祉施設経営論	3前		2							Я
			保健医療サービス論 権利擁護と成年後見制度	3前		2 2							20 21
			相談援助の基盤と専門職1	180		2			1				
			相談援助の基盤と専門職2 相談援助の理論と方法1	1後 1後		2			1				9
			相談援助の理論と方法2 相談援助の理論と方法3	2前		2 2							20 21
			相談援助の理論と方法4	3前		2							9
			プロジェクト研究入門 I プロジェクト研究入門 II	1前 1後	1	2		4 3	2	2	ĺ		
			プロジェクト研究実践 I プロジェクト研究実践 II	2前	1	4		4	2	1	ĺ		
			プロジェクト研究実践Ⅲ	2後 3前	1	4		4	2	1	ĺ		
	7		プロジェクト研究実践IV 社会福祉援助技術演習1	3後 1後	1	4 2		4	2	1	ĺ		9
	ロジラ エ	is R	社会福祉援助技術演習2	2前		2							я
	エクト	Ĥ E	社会福祉援助技術演習3 社会福祉援助技術演習4	2後 3前		2							身
	研究		社会福祉援助技術演習5 社会福祉援助技術現場実習指導 I	4前 2後		2 2			1	1 2			31
			社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ	3前		2			1	1			я
			社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ 社会福祉援助技術現場実習	4前 3後		2		2	1	1 2			20 21
			社会福祉学特殊演習 I	480		2		٦		1			ľ
	卒第	GW 10	社会福祉学特殊演習 II 卒業研究	4後	8	2		3	2	3	0	0	H
	47 9	u	日本国憲法1	1 • 2 • 3 • 4		2	H					H	3
			日本国際後2日本国際後3	1・2・3・4後	1	2							1
			発想から表現へ 思考法入門	1·2·3·4費 1·2·3·4後	1	2			Ì	Ì			2 2
			日本語表現 (入門)	1 · 2前 · 後 2 · 3 · 4前		2 2					Ì		20
			日本語表現(実践) 探究基礎演習 (未興 課)	1・2・3・4後		2							3
			ポルトガル語圏のくらしと言葉1 ポルトガル語圏のくらしと言葉2	1・2・3・4前 1・2・3・4後	1	2 2			Ì	Ì	ĺ		21 21
			インターンシップ1 大学コンソ京都 (未開課)	2・3後	1	2			Ì	Ì	ĺ		*
	牛		インターンシップ2 大谷大学 (未開業) キャリアデザイン概論1	1・2・3・4後 1・2・3・4前		2							身
			キャリアデザイン概論2	1・2・3・4後	1	2			Ì	Ì	ĺ		Я
	デ形		キャリアデザイン実践1 キャリアデザイン実践2	2・3・4後 3・4前	1	2			Ì	Ì	ĺ		身
	ヤリア形成系科		ワード・プロセッシング入門 ワード・プロセッシング応用	1・2・3・4前	1	2 2			Ì	Ì	ĺ		20
	科目		PC利用による表計算入門	1・2・3・4後 1・2・3・4前	1	2			Ì	Ì	ĺ		я
			PC利用による表計算応用 PC利用によるプレゼンテーション	1 · 2 · 3 · 4後 1 · 2 · 3 · 4後	1	2 2			Ì	Ì	ĺ		20
			PC利用によるレポート・論文技法	1・2・3・4前	1	2			Ì	Ì	ĺ		я
			画像処理入門 画像処理応用	1 · 2 · 3 · 4前 1 · 2 · 3 · 4後	1	2 2			Ì	Ì	ĺ		20 21
			PCミュージック入門	1・2・3・4版	1	2			Ì	Ì		1	3
			and the second s	1 .									
			PCミュージック応用 Webサイト構築入門	1·2·3·4後 1·2·3·4前		2							я
			PCミュージック応用										景景

$\overline{}$			1	-	単位数		草	任教	員等	の配	置	*
	科目	授業科目の名称	配当	必	選	自	教	准	講	助	助	任
	区分	25,001 18 -5 18 10	年 次	條	択	ф	授	教授	飾	数	手	兼担
		生命のしくみと多様性	1・2・3・4前	130	2	ш	*^		му	7/	_	兼1
		自然と生物の科学	1・2・3・4後		2							兼1
		地震と火山1	1・2・3・4前		2		1					
		地震と火山2	1・2・3・4後		2							兼1
		地球科学1 地球科学2	1・2・3・4前		2							兼1
		地球環境と生命の共進化	1・2・3・4後		2							兼1
		こころの科学	1・2・3・4前		2							兼1
		人間理解の心理学	1 - 2 - 3 - 4後		2							兼1
3W		スポーツと健康の科学1	1・2・3・4前		2							兼1
代総		スポーツと健康の科学2	1・2・3・4後		2							兼1
A	自然	脳とこころ	1・2・3・4前		2							兼1
科目	生命	障害者スポーツ論 生涯スポーツ・レクリエーション活動	1 · 2 · 3 · 4後 1 · 2 · 3 · 4首		2							兼1 兼1
B	系	生涯スポーツ・レクリエーション治期 スポーツ研究演習 I	2・3・4前		2							※1
	科目	ヘホーノ研究演音 I 障害者スポーツ研究演習 I	2・3・4前		2							班1
	Ħ	スポーツ研究演習Ⅱ	2・3・4後		2							班1
		障害者スポーツ研究演習Ⅱ	2・3・4後		2							兼1
		カウンセリング	2・3・4後		2							兼1
		身体活動 I	1・2・3・4前		1							兼2
		身体活動 I (障害者スポーツ)	1・2・3・4前		1							兼1
		身体活動Ⅱ	1・2・3・4後		1							兼2
		身体活動Ⅱ (障害者スポーツ)	1・2・3・4後		1							兼1
		人間関係と身体表現 障害者・病者と共に生きる	1・2・3・4義		2 2							兼1 兼1
		陳香省・利省と共に生きる 心理療法報告	2 • 3 • 410		2							#1
		心理療法と教育	2・3・4数		2							兼1
		ヨーロッパの宗教と文化(ドイツ) (未開除)	1・2・3・4後		2							#1
		ヨーロッパの宗教と文化 (フランス) (未開除)	1・2・3・4後		2							#1
		現代朝鮮半島事情	1・2・3・4後		2							#1
		現代東南アジア事情	1・2・3・4後		2							班1
		東南アジアの宗教文化	1 - 2 - 3 - 4前		2							兼1
		近代日本とアジア	1・2・3・4後		2							兼1
		東アジアの宗教文化	1 • 2 • 3 • 4		2							兼1
		古都の歴史と文化	1・2・3・4前		2							兼1
		仏教と美術	1・2・3・4後		2							兼1
		インドの宗教と文化 (未開館)	1・2・3・4後		2							兼2
	歴	中国の宗教と文化 (未開業) 人と文化	1・2・3・4後 2・3・4後		2 2							兼2 兼1
	史	教育学1	1・2・3・4前		2							#1
	文化系	教育学2	1 . 2 . 3 . 4%		2							WF1
	系科	ブッダに学ぶ	1・2・3・4前		2							班1
	8	親鸞に学ぶ	1 - 2 - 3 - 4後		2							兼1
		部落差別と大谷派教団1	1・2・3・4前		2							兼1
		部落差別と大谷派教団2	1・2・3・4後		2							兼1
	1	部落差別と浄土真宗1	1・2・3・4前		2							兼1
	1	部落差別と浄土真宗2	1・2・3・4後		2							兼1
	1	部落史論1	1・2・3・4前		2	1						兼1
	1	部落史論2	1・2・3・4後		2							兼1
	1	反カースト運動論 アイヌ民族と共に	1·2·3·4後 1·2·3·4養		2							兼1 兼1
ĺ	1	アジア侵略と宗教	1・2・3・4後		2	1						36.1
	1	非戦の系譜	1・2・3・4前		2	1						#1
	1	仏教福祉論	1・2・3・4後		2							兼1
		合計(178科目)	-	48	326	0	5	3	3	0	0	兼108
		卒業要件及び履	修方法									
②学 38 3 現 ④他 とし	科専門科 単位、実践 代総合科 学部開講 で認める	□18単位以上(从間学 I·I3 単位、大学導入科目2単位、必 92単位以上(漢□18単位、概論/A5単位、根論/B4単位、対 弱欠(プロジェクト等)から2甲位、不変換改多単位をは 3から単位以上を修縛 日を興味・棚口と、70番をから、70番を 20を 20を 20を 20を 20を 20を 20を 20	養科目から									
フラ	ランス語、中	は英語 I・Ⅱの8単位であるが、学生の希望により、文学部に 国語、韓国・朝鮮語を履修させることができる 登録単位数の上限は、年間48単位まで	開講するドイツ語									

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(適年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
・ 認可申請審文は設置臨出書の様本第2号(その2の1)に準じて作成してください。
・ 各欄の作成方法は「大学の設置者に係る提出書類作成の手引き」の「教育課業をの概要」を確認してください。
・ 「認可申取は届出時」には 設置設可申以は届出時の授業弁目全て、条任、兼担教員が担当する科目をそむ。)を
黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太子の赤空**としてください。
・ 関係希望者がいなかったかに未開建<u>となった料目についても料目を必要となっている箇所は**太子の赤空**としてく</u>ださい。
・ <u>1ページ目に述認可申又は届出地を報告年度つの表を記入してください。</u>
・ 不要な年度(令和元本度開設であれば平成30年度)の表は適宜開除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。
・ 専門歌大学等の場合、実験、実習以ま技はよる授業科目には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【鑑】」、「連携実務演習」による授業科目には「【鑑】」、「連携実務演習」による授業科目には「【鑑】」、「連携実務演習」による授業科目には「【鑑】」、「

```
・担当者交化に弁・変更
・担当者交化に弁・変更
・「コミュニティデザイン演習 I b」 教授4、准教授5、講師2・教授4、准教授5、講師(担当教員の持ちコマ調整による変更)
「コミュニティデザイン演習 II b」 教授4、准教授5、講師2・教授4、准教授3、講師(担当教員の持ちコマ調整による変更)
「社会福祉課題論」 教授1 本籍・(担当教員の持ちコマ調整による変更)
「仕会福祉課題論」 教授1 本第 (担当教員の持ちコマ調整による変更)
「中国の宗教と文化」 素1 本2 (担当教員の持ちコマ調整による変更)
 担当者追加に伴う変更(教育環境の改善)
      「プロジェクト研究実践Ⅲ・Ⅳ」 教授3、准教授2、講師1→教授4、准教授2、講師1
「社会福祉援助技術現場実習」 准教授1、講師2、兼3→教授2、准教授1、講師2、兼3
 ·授業科目の新規開設
「青年と社会教育」、「社会福祉と社会教育」、「心理療法概論」、「心理療法と教育」(2020年社会教育課程法改正に対応)
「フィールドワーク特殊演習(PRL)」(「京都市京セラ美術館」をフィールドとしたPRL科目の新規開設)
 開講期別変更
「人間関係と身体表現」:前期→後期(担当教員の体調不良による変更)
```

```
【令和3年度】

- 担当者及代に伴う変更
「コミュニティデザイン演習 I a · b」 教授2、准教授3、講師3一教授3、准教授2、講師1 (担当教員の持ちコマ調整による変更) 教授2、集教授2、講師6 (担当教員の持ちコマ調整による変更) 講師1 (東日本教授3 (東田本教授4 (東田本教)4 (東田本教授4 (東田本教教授4 (東田本教授4 (東田本教) (東田本教授4 (東田本教授4 (東田本教) (東田本) (東田本) (東田本) (東田本) (東田本) (東田本) (東田本) (東田本) (東田本) (田本) (東田本) (
          開講期別変更
「社会福祉と社会教育」:後期一前期(担当教員(策任)の本務先都合による担当辞述に伴う担当者変更により)
「人間関係と身体表現」:後期一前期(担当教員(策担)の体部不良により20年度に開別変更を行ったが、21年度より当初に届け出て
                いた期別に戻した)
「仏教福祉論」 : 後期一前期(担当教員(兼任)の本務先都合により)
```

- (注)・2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、 授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。 不要な年度(平成30年度開設でおれば平成29年度)の表は適宜削除してください。
- (2) 授業科日数

設置時の計	由				変更状況			備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	18.75
144 科目	204 科目	0 科目	348 科目	144 科目 [0]	217 科目 [13]	0 科目 [0]	361 科目 [13]	・共通基礎科目「人間学 II」を6科目増設 ・現代総合科目「日本国 憲法」を2科目増設 ・現代総合科目「青年と 社会教育」など5科目増 設

⁽注) - 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目教を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を 紀入してください。(記入網・1科目域の場合・入1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1	ヨーロッパの宗教と文化(ドイツ)	2	1 • 2 • 3 • 4	一般	選択	新型コロナウイルスの感染拡大に伴う渡航制限等により
2	ヨーロッパの宗教と文化(フランス)	2	1 • 2 • 3 • 4	一般	選択	新型コロナウイルスの感染拡大に伴う渡航制限等により
3	東アジアの宗教文化	2	1 • 2 • 3 • 4	一般	選択	担当教員(兼担)の在外研究により
4	インドの宗教と文化	2	1 • 2 • 3 • 4	一般	選択	新型コロナウイルスの感染拡大に伴う渡航制限等により
5	中国の宗教と文化	2	1 • 2 • 3 • 4	一般	選択	新型コロナウイルスの感染拡大に伴う渡航制限等により

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入して ください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入して ください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

学生向け情報提供システムにて学生へ周知を行った。

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、 学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

 未開講科目(3)と廃止科目(4)の計
 =
 5

 設置時の計画の授業科目数の計(A)
 =
 348

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況,経費

	区		分				内				容		備考
(1)		Ø	分		専	用	共	用	3	共用する他の 学校等の専用		R†	
		校:	舎敷均	ė		0.00 m 41, 194.92 m		44, 452, 60 41, 194, 92 0, 00	mi	0.00) m²	44, 452, 60 mi 41, 194, 92 mi	大谷大学短期大学部と 共用
校		運車	协場用地	9		0.00 mi 23,655.48 mi		29, 680, 12 23, 655, 48 0, 00	m	0.00) mi	29, 680. 12 mi 23, 655. 48 mi	大谷大学短期大学部の 廃止によるもの(在籍 者0名のため廃止認可 申請中)(3) 旧学を動物を 建物籍
地		小	81	+		0.00 m 64,850.40 m		74, 132, 72 64, 850, 40 0, 00	mi	0. 00) m²	74, 132, 72 m 64, 850, 40 m	旧学寮敷地を、建物譲 渡特約付定期借地契約 したことによるもの (3) 用途変更及び湖西キャ
等		F	の他	l		0.00 m 20,084.21 m		11, 464, 30 20, 746, 62 0, 00	mi	0. 00) m²	11, 464, 30 mi 20, 746, 62 mi 20, 084, 21 mi	ンパス人工芝化工事の 際の再測量結果による
		合	81	+		0.00 m 84,934.61 m		85, 597, 02 0. 00		0.00) m²	85, 597, 02 mi 84, 934, 61 mi	
					專	用	共	用	4	共用する他の 学校等の専用		8+	
(2) 校			舍		-(6 -(6 -(6	6, 236, 11 mi 6, 160, 94 mi 6, 136, 29 mi 6, 444, 66 mi 53, 597, 58 mi 1, 236, 11 mi 1, 136, 29 mi 1, 444, 66 mi 1, 444, 66 mi 1, 597, 58 mi	-(4) -(4)	47, 260, 21 46, 989, 56 47, 117, 63 46, 999, 11 0, 00 7, 260, 21 m 7, 117, 63 m 7, 117, 63 m (0, 00 m	######################################	450, 44 447, 04 343, 64 153, 8 0, 04 (450, 46 (447, 08 (343, 66 (153, 81 (0, 00)	#) #) #) #) # #	53, 946, 78 mi 53, 597, 58 mi (53, 946, 78 mi) (53, 597, 58 mi)	大谷大学短期大学部と 共用 大谷大学短期大学部の 廃止によるもの(3) 教員の所憲変更に伴う 変更(元)(2)
				EA	義 室	演	習室	実験多	室智事	情報処理学	習施設 8	语学学習施設	
(3) 教		室	等		61 63 66	室	52 49 室		60 4 0 室	(補助職員	8室	1 4 室	大学全体 村目開講実態に対応し た環境整備による変更 (30) 大谷大学短期大学部の 廃止によるもの(3)
(4) 専	任教	攻員研9	空		社会		3等の名称 ニティデザ	イン学科		室	ž	室	
(5)		新設学 の名		(3		学得	が知書〕 種	電子ジャ		- 視聴覚資料 点	機械・器具		
				889 886),727[186,4 1,796[181,6 ;	87) 21)	6,648(645) 6,561(667)		115(0) 589(530)	2,100	30	0	
図書・設	=	社会等 ミュニ ザイン	ティデ		(891, (185, 507) (882, (185, 538) (873, (183, 167) (863, (181, 105) (846, (175, 621)) 729 (6, 65) 727 (6, 50) (6, 47)	3 [640]) 0 [640]) 3 [640]) 3 [640]) 1 [647])	(115 -(116 -(889	(0)) (0)) (630))	2, 126 (2, 107) (2, 088) (2, 078) (2, 080)	(30)	(0)	大学大学 大学大学 大学大学 大学大学 (19) 12 大学 大学 13 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学
镉		81		881 881),727[186,4),786[181,6 ;	21)	6,648(645) 6,561(667)		115(0) 589(530)	2,100	30	0	の増設があり、完成年し 版の見込み数が増加加 たため (2) ・ナレス・ もの (3) ・ナレス・ は、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では
					(891, (185, 507) (882, (185, 528) (873, (183, 467) (863, (181, 105) (846, (175, 621)	729 (6, 65: 727 (6, 64: (6, 60: (6, 47:		-(116	(0)) (0)) (530))	2, 126 -(2, 107) -(2, 088) -(2, 078) -(2, 080)	(30)	(0)	(3)
(6) 🗵		書	館		面	積 7, 604. 82	nî	閲覧后	医席 数	588	納可	能 冊 数 1,115,833	
(7) 体		音	館		面	積			体育館以	³⁰⁰ 外のスポーツI	施設の概要	., .10, 000	
					Δ.	4, 857. 06	1	i e		場弓	道	物の生物	
			[2	-	分	開設年度	完成年月	佐 区	分	開設前年度	開設年度	m	共同研究費等は大学全 体。 図書購入費、設備購入
(8) 経費の		経費 の見 積り	教員 1	人当り	研究費等	350 千円			購入費	65, 970 千円 52, 458 千円	63, 028 辛 55, 917 千	円 02,009 千円	費は、大谷大学短期大 学部との共用図書およ び設備として購入。 図書費には、電子
積り及 維持方 の 概	法		共 同	研 3	党 費 等	80,000 千円 54,167 千円	80,000 = 76,446 =	F円 設備	購入費	38,300 千円 40,150 千円	20 020 7	8,000 +H	
	学生 1 人当り				第2年次	第	3年次	第4年	手次 第	5年次	第6年次	図書場へ負のよび取得 購入費の増減は、執行 の見直しおよび予算額 の変更による。(30) 共同研究費等、図書購	
			寸金	1	.190 千円	1, 140 =	千円 1	1.140 千円	1, 14	40 千円	- 千円	- 千円	入費および設備購入費 の減額は、執行の見直 しによる。 (元) 共同研究費等、図書購
	入野の時											入費および設備購入費 の増減は、予算額の変 更による。 (3)	

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。 (複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1) 校地等」及び「(2) 校舎」は大学全体の数字を、その他の 項目はAC対象学部等の数値を記入してください。) 運動場用地が校舎数地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。 「(6)図書・設備」については、上段に完成年度の予定整備を、下段には今和3年5月1日現在の数値を記入してください。 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、 その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。 ・ 校舎等建物の計画の変更 (後舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延) がある場合には、「建築等設置計画変更書」 を併せて提出してください。 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。

 - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	大谷	大学					学生募集停止学科数	4	平均入学定員超過率 1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和3年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
社会学部	4	220	-	880	-	1. 03	0. 95	-	平成30年度	=	
コミュニティデザイン学科	4	100	_	400	学士	1. 01	0. 86	_	平成30年度	京都府京都市北区小山	
現代社会学科	4	120	_	480	学士	1. 05	1. 04	=	平成30年度	上総町20番地 同上	
SUCILATIO	7	120		400	(社会学)	1.00	1.04		1 1000-100	[1-1] <u>T</u>	
##- *** *** ***		120		F00		1 00	1. 03		平成30年度		
教育学部	4	130		520	学士	1. 02		-		京都府京都市北区小山	
教育学科	4	130		520	(教育学)	1. 02	1. 03	-	平成30年度	上総町20番地	
<u>初等教育コース</u>	4	50	-	200	学士	1. 08	1.06	=	平成30年度	同上	
<u>幼児教育コース</u>	4	80	-	320	学士	0. 99	1. 01	=	平成30年度	同上	
文学部	4	318	-	1, 246	-	1. 04	0. 99	-	昭和24年度	-	
真宗学科	4	60	-	240	学士 (文学)	0. 98	0. 96	-	昭和40年度	京都府京都市北区小山 上総町20番地	
仏教学科	4	25	-	100	学士	0.89	0. 64	-	昭和24年度	同上	
哲学科	4	50	-	200	学士	1. 19	1. 16	=	昭和24年度	同上	
社会学科	4	-	-	-	学士	-	-	-	昭和40年度	同上	平成30年学生募集停止
歴史学科	4	105	_	410	学士	1. 04	1. 05	令和2年度	昭和40年度	同上	定員変更 (5)
文学科	4	78	-	296	学士	1. 03	0. 92	令和2年度	昭和40年度	同上	定員変更 (8)
国際文化学科	4	_	_	_	学士	-	_	-	平成 5年度	同上	令和3年学生募集停止
人文情報学科	4	_	_		(文学)	_		_	平成 5年度	同上	平成30年学生募集停止
	4		_	_	(文学)	_	_	_	平成12年度		平成30年子主募集停止
教育・心理学科	4	-	_	_	(教育学)	-	-	=	平成21年度	同上	平成30年学生募集停止
E1000 444 440		100		100		1.00	1 00		A 7=0 == ==		
国際学部	4	100	_	100	学士	1. 03	1. 03	-	令和3年度	- 京都府京都市北区小山	
国際文化学科	4	100	-	100	(文学)	1. 03	1.03	令和3年度	令和3年度	上総町20番地	定員変更(10)
大学の名称	大谷	大学大学	学院				学生募集停止学科数	1	平均入学定員超過率 1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学定 員	収容定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和3年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
既設学部等の名称						平均入学 定員 超過率	令和3年度 入学定員 超過率 倍	定員変更 年度 (AC期間の学科のみ)		所 在 地	
既設学部等の名称	年限	定員	定員	定員		定員 超過率	入学定員 超過率	年度		所在地	
	年限	定員	定員	定員		定員 超過率	入学定員 超過率	年度		所 在 地	
	年限	定員	定員	定員	は称号	定員 超過率	入学定員 超過率	年度		所 在 地	
文学研究科	年限	定員	定員	定員	体金生の	定員 超過率	入学定員 超過率	年度		京都府京都市北区	
文学研究科	年	人	定員	人	修士	定員報	超過年	年度	年度		
文学研究科 真宗学専攻 (修士課程)	年	定員 人 20	定員	定員 人 40 9	は称号 修文(文博文学)	定員 超過率 倍 0.75 0.88	入学定員 超過率 倍 0.60 0.66	年度	年度 昭和28年度	京都府京都市北区	
文学研究科 真宗学專攻 (修士課程) (博士後期課程) 仏教学專攻 (修士課程)	年限 年 2 3	定員 人 20 3	定 年	定員 人 40	は 称号 修(文博(文 修(文学) 士学) 士学)	定員 超過率 倍 0.75 0.88	入学定員 超過率 倍 0.60 0.66	年度	年度 昭和28年度 昭和30年度 昭和28年度	京都府京都市北区	
文学研究科 真宗学専攻 (修士課程) (博士後期課程) 仏教学専攻	年限 年 2 3	定員 人 20 3	定 年	定員 人 40 9	は称号 (修文博文学) 生	定員 超過率 倍 0.75 0.88	入学定員 超過率 倍 0.60 0.66	年度	年度 昭和28年度 昭和30年度	京都府京都市北区 小山上総町20番地	
文学研究科 真宗学専攻 (修士課程) (博士後期課程) 仏教学専攻 (修士課程) (博士後期課程) 哲学専攻	年限 2 3 3	定員 人 20 3 15 3	定 年	定員 人 40 9 30 9	は	定員 超過率 倍 0.75 0.88 0.06 0.55	入学定員 超過率 倍 0.60 0.66 0.06 1.00	年度	年度 昭和28年度 昭和30年度 昭和28年度 昭和28年度	京都府京都市北区 小山上総町20番地	
文学研究科 真宗学専攻 (修士課程) (博士後期課程) 仏教学専攻 (修士課程) (博士後期課程) 哲学専攻 (修士課程)	年限 年 2 3 2 3	定員 人 20 3 15 3	定 年	左員 人 40 9	は ・	定員 超過率 倍 0.75 0.88 0.06 0.55	入学定員 超過率 倍 0.60 0.66 0.06 1.00	年度	年度 昭和28年度 昭和30年度 昭和28年度 昭和29年度	京都府京都市北区 小山上総町20番地	
文学研究科 真宗学専攻 (修士課程) (博士後期課程) 仏教学専攻 (修士課程) (博士後期課程) 哲学専攻 (修士課程) (博士後期課程)	年限 2 3 3	定員 人 20 3 15 3	定 年	定員 人 40 9 30 9	は 修文博文 修文博文 修文 本学 ・	定員 超過率 倍 0.75 0.88 0.06 0.55	入学定員 超過率 倍 0.60 0.66 0.06 1.00	年度	年度 昭和28年度 昭和30年度 昭和28年度 昭和28年度	京都府京都市北区 小山上総町20番地 同上	
文学研究科 真宗学専攻 (修士課程) (博士後期課程) 仏教学専攻 (修士課程) (博士後期課程) 哲学専攻 (修士課程) (博士後期課程) 社会学専攻	年限 年 2 2 3 3 2 2 3 3 3 2 2 3 3	定員 人 20 3 15 3	定 年	定員 人 40 9 30 9	は ・	定員 超過率 倍 0.75 0.88 0.06 0.55	入学定員 超過率 倍 0.60 0.66 0.06 1.00	年度	年度 昭和28年度 昭和30年度 昭和28年度 昭和29年度 昭和31年度	京都府京都市北区 小山上総町20番地 同上 同上	
文学研究科 真宗学専攻 (修士課程) (博士後期課程) 仏教学専攻 (修士課程) (博士後期課程) 哲学専攻 (修士課程) (博士後期課程) 社会学専攻 (博士後期課程)	年限 年 2 3 2 3	定員 人 20 3 15 3	定 年	定員 人 40 9 30 9	は	定員 超過率 倍 0.75 0.88 0.06 0.55	入学定員 超過率 倍 0.60 0.66 0.06 1.00	年度	年度 昭和28年度 昭和30年度 昭和28年度 昭和29年度	京都府京都市北区 小山上総町20番地 同上	令和2年学生募集停止
文学研究科 真宗学專攻 (修士課程) (博士後期課程) (博士後期課程) 哲学專攻 (修士課程) (博士後期課程) 社会学專攻 (博士後期課程) 仏教文化專攻	年 年 2 2 3 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	定員 人 20 3 15 3 10 3 -	定 年	定員 人 40 9 30 9 20 9	は	定員 超過率 倍 0.75 0.88 0.06 0.55 0.00	入学選事 倍 0.60 0.66 0.06 1.00 0.00 -	年度	年度 昭和28年度 昭和30年度 昭和30年度 昭和30年度 昭和31年度	京都府京都市北区 小山上総町20番地 同上 同上	令和2年学生募集停止
文学研究科 真宗学專攻 (修士課程) (博士後期課程) (博士後期課程) 哲学專攻 (修士課程) (博士後期課程) 社会学專攻 (博士後期課程) 仏教文化專攻 (修士課程)	年限 年 2 3 2 2 3 3 3 2 2 2 3 3 2 2 2 2 2 2 2	定員 人 20 3 15 3 10 3	定 年	定員 人 40 9 30 9 20 9	は	定員 超過率 倍 0.75 0.88 0.06 0.55 0.00 -	入学定員 据過事 倍 0.60 0.66 0.06 1.00 0.00 0.00	年度	年度 昭和28年度 昭和30年度 昭和30年度 昭和30年度 昭和30年度 昭和13年度	京都府京都市北区 小山上総町20番地 同上 同上	令和2年学生募集停止
文学研究科 真宗学専攻 (修士課程) (博士後期課程) 位称士课程) (博士後期課程) 哲学専攻 (修士課程) (博士後期課程) 社会学専攻 (博士後期課程) 仏教文化専攻 (修士課程) (博士後期課程)	年 年 2 2 3 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	定員 人 20 3 15 3 10 3 -	定 年	定員 人 40 9 30 9 20 9	は	定員 超過率 倍 0.75 0.88 0.06 0.55 0.00	入学選事 倍 0.60 0.66 0.06 1.00 0.00 -	年度	年度 昭和28年度 昭和30年度 昭和30年度 昭和30年度 昭和31年度	京都府京都市北区 小山上総町20番地 同上 同上	令和2年学生募集停止
文学研究科 真宗学專攻 (修士課程) (博士後期課程) (博士後期課程) 哲学專攻 (修士課程) (博士後期課程) 社会学專攻 (博士後期課程) 仏教文化專攻 (修士課程) (博士後期課程)	年限 2 2 3 3 2 2 3 3 3 2 2 3 3 3 4 3 4 4 4 4	定員 人 20 3 15 3 10 3 - 10 3	定 年	定員 人 40 9 30 9 20 9	は	定員 超過率 倍 0.75 0.88 0.06 0.55 0.00 - 0.60 0.00	入学定員 据途事 倍 0.60 0.66 0.06 1.00 0.00 - 0.20 0.00	年度	年度 昭和28年度 昭和30年度 昭和30年度 昭和30年度 昭和30年度 昭和31年度 昭和31年度 昭和31年度	京都府京都市北区 小山上総町20番地 同上 同上	令和2年学生募集停止
文学研究科 真宗学專攻 (修士課程) (博士後期課程) (博士後期課程) 哲学專攻 (修士課程) (博士後期課程) 社会学專攻 (博士後期課程) 仏教文化專攻 (修士課程) (博士後期課程)	年限 2 2 3 3 2 2 3 3 2 2 2 3 2 2 3 4 2 2 4 4 4 4	定員	定 年	定員 人 40 9 30 9 20 9 20 9	は	定員 超過率 倍 0.75 0.88 0.06 0.55 0.00 - 0.60 0.00	入学定員 据通事 倍 0.60 0.66 0.06 1.00 0.00 0.00 - 0.20 0.00	年度	解和28年度 昭和30年度 昭和30年度 昭和30年度 昭和30年度 昭和31年度 昭和31年度	京都府京都市北区 小山上総町20番地 同上 同上	令和2年学生募集停止
文学研究科 真宗学專攻 (修士課程) (博士後期課程) 位教学專攻 (修士課程) (博士後期課程) 哲学專攻 (修士課程) (博士後期課程) 社会学專攻 (博士後期課程) 仏教文化專攻 (修士課程) (博士後期課程)	年限 2 2 3 3 2 2 3 3 3 2 2 3 3 3 4 3 4 4 4 4	定員 人 20 3 15 3 10 3 - 10 3	定 年	定員 人 40 9 30 9 20 9	は	定員 超過率 倍 0.75 0.88 0.06 0.55 0.00 - 0.60 0.00	入学定員 据途事 倍 0.60 0.66 0.06 1.00 0.00 - 0.20 0.00	年度	年度 昭和28年度 昭和30年度 昭和30年度 昭和30年度 昭和30年度 昭和31年度 昭和31年度 昭和31年度	京都府京都市北区小山上総町20番地同上同上同上	令和2年学生募集停止
文学研究科 真宗学専攻 (修士課程) (博士後期課程) 仏教学専攻 (修士課程) (博士後期課程) 社会学専攻 (博士後期課程) 社会学専攻 (博士後期課程) 仏教文化専攻 (修士課程) (博士後期課程) 国際文化専攻 (修士課程) (博士後期課程)	年限 年 2 2 3 3 3 2 2 3 3 3 2 2 3 3 3 4 2 2 3 3 4 3 4	定員 20 3 15 3 10 3 - 10 3 10 3	定	定員 人 40 9 30 9 20 9 20 9	は	定員 超過率 倍 0.75 0.88 0.06 0.55 0.00 - 0.60 0.00	入学定員 据通事 借 0.60 0.66 0.06 1.00 0.00 0.00 0.00 0.00	年度	年度 昭和28年度 昭和30年度 昭和30年度 昭和30年度 昭和31年度 昭和31年度 昭和31年度 昭和31年度 昭和31年度 昭和31年度	京都府京都市北区小山上総町20番地同上同上同上	令和2年学生募集停止
文学研究科 真宗学專攻 (修士課程) (博士後期課程) 位教学專攻 (修士課程) (博士後期課程) 哲学專攻 (修士課程) (博士後期課程) 社会学專攻 (博士後期課程) 仏教文化專攻 (修士課程) (博士後期課程)	年限 2 2 3 3 2 2 3 3 2 2 2 3 2 2 3 4 2 2 4 4 4 4	定員	定	定員 人 40 9 30 9 20 9 20 9	は	定員 超過率 倍 0.75 0.88 0.06 0.55 0.00 - 0.60 0.00	入学定員 据通事 倍 0.60 0.66 0.06 1.00 0.00 0.00 - 0.20 0.00	年度	解和28年度 昭和30年度 昭和30年度 昭和30年度 昭和30年度 昭和31年度 昭和31年度	京都府京都市北区小山上総町20番地同上同上同上	令和2年学生募集停止
文学研究科 真宗学專攻 (修士課程) (博士後期課程) (博士後期課程) (博士後期課程) (博士後期課程) (博士後期課程) 社会学專攻 (博士後期課程) 仏教文化專攻 (修士課程) (博士後期課程) (博士後期課程)	年限 2 3 2 3 3 2 3 3 2 3 3 2 2 3 3 2 2 3 3 2 2 3 3 2 2 3 3 4 4 5 6 7 8 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	定員	定	定員 40 9 30 9 20 9 20 9 16	は	定員 超過率 倍 0.75 0.88 0.06 0.55 0.00 - 0.60 0.00	入学定員 据通事 借 0.60 0.66 0.06 1.00 0.00 0.00 0.00 0.00	年度	年度 昭和28年度 昭和30年度 昭和30年度 昭和31年度 昭和31年度 昭和31年度 昭和31年度 昭和31年度 昭和31年度 平成13年度 平成13年度	京都府京都市北区 小山上総町20番地 同上 同上 同上	
文学研究科 真宗学専攻 (修士課程) (博士後期課程) 仏教学専攻 (修士課程) (博士後期課程) 哲学専攻 (修士課程) (博士後期課程) 仏教文化専攻 (修士課程) (博士後期課程) 国際文化専攻 (修士課程) (博士後期課程) 大学の名称	年限	定員 人 20 3 15 3 10 3 10 3 10 3 8 短 大	定	定員 人 40 9 30 9 20 9 20 9 16	は	定員 超過率 倍 0.75 0.88 0.06 0.55 0.00 0.00 - 0.60 0.00 0.00 0.12	入学遊車 倍 0.60 0.66 0.06 1.00 0.00 0.00 0.00 0.0	年度 (AC期間の学科のみ)	年度 昭和28年度 昭和30年度 昭和30年度 昭和31年度 昭和31年度 昭和31年度 昭和31年度 昭和31年度 昭和31年度 昭和31年度 昭和31年度 明和31年度 明和31年度 明和31年度 明初31年度 明初31年度 明初31年度 明初31年度 明初31年度 明初31年度 明初31年度	京都府京都市北区小山上総町20番地 同上 同上 同上	
文学研究科 真宗学専攻 (修士課程) (博士後期課程) 位教学専攻 (修士課程) (博士後期課程) 哲学専攻 (修士課程) (博士後期課程) 社会学専攻 (博士後期課程) 仏教文化専攻 (修士課程) (博士後期課程)	年限 2 2 3 2 2 3 3 2 2 3 3 2 2 3 3 2 2 5 ** 大谷	定員 人 20 3 15 3 10 3 10 3 10 3 8 短 大	定年-------------------------------------	定員 人 40 9 30 9 20 9 20 9 16	は	定員 超過率 倍 0.75 0.88 0.06 0.55 0.00 0.00 - 0.60 0.00 0.00 0.12	入学定員 据途事 倍 0.60 0.66 0.06 1.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00	年度 (AC期間の学料のみ)	田和28年度 昭和30年度 昭和30年度 昭和30年度 昭和30年度 昭和31年度 昭和31年度 昭和31年度 昭和13年度 昭和51年度	京都府京都市北区小山上総町20番地同上同上同上同上	
文学研究科 真宗学専攻 (修士課程) (博士後期課程) 仏教学専攻 (修士課程) (博士後期課程) 社会学専攻 (博士後期課程) 社会学専攻 (博士後期課程) 仏教文化専攻 (博士後期課程) 国際文化専攻 (博士後期課程) (博士後期課程) 大工課程) (博士後期課程) 大工課程) (博士後期課程)	年限	定員 人 20 3 15 3 10 3 10 3 10 3 8 短 大	定年-------------------------------------	定員 人 40 9 30 9 20 9 20 9 16	は	定員 据通率 倍 0.75 0.88 0.06 0.55 0.00 0.00 - 0.60 0.00 0.00 0.12	入学定員 倍	年度 年	年度 昭和28年度 昭和30年度 昭和30年度 昭和31年度 昭和31年度 昭和31年度 昭和31年度 昭和31年度 昭和31年度 昭和31年度 昭和31年度 明和31年度 明和31年度 明和31年度 明初31年度 明初31年度 明初31年度 明初31年度 明初31年度 明初31年度 明初31年度	京都府京都市北区小山上総町20番地 同上 同上 同上	
文学研究科 真宗学専攻 (修士課程) (博士後期課程) 仏教学専攻 (修士課程) (博士後期課程) 哲学専攻 (修士課程) (博士後期課程) 社会学専攻 (博士後期課程) 仏教文化章課程) (博士後期課程) 国際 (修士世界) (博士後期課程) 大学専攻 (修士世界) (博士後期課程)	年	定	定年-------------------------------------	定員 人 40 9 30 9 20 9 20 9 16 W定	は	定員 超過率 倍 0.75 0.88 0.06 0.55 0.00 0.00 - 0.60 0.00 0.00 0.12	入学遊車 倍 0.60 0.66 0.06 1.00 0.00 0.00 0.00 0.	年度 年	年度 昭和28年度 昭和30年度 昭和30年度 昭和31年度 昭和31年度 昭和31年度 昭和31年度 昭和31年度 昭和31年度 昭和31年度 昭和31年度 明和31年度 明和31年度 明和31年度 明初31年度 明初31年度 明初31年度 明初31年度 明初31年度 明初31年度 明初31年度	京都府京都市北区小山上総町20番地同上同上同上同上	
文学研究科 真宗学専攻 (修士课程) (博士後期課程) 仏教学専攻 (修士课程) (博士後期課程) 社会学専攻 (博士後期課程) 社会学専攻 (博士後期課程) 仏教文化申課程) (博士後期課程) 国際文化申课程) (博士後期課程) 大工課程) (博士後期課程)	年	定	定年-------------------------------------	定員 人 40 9 30 9 20 9 20 9 16 W定	は	定員 超過率 倍 0.75 0.88 0.06 0.55 0.00 0.00 - 0.60 0.00 0.00 0.12	入学遊車 倍 0.60 0.66 0.06 1.00 0.00 0.00 0.00 0.	年度 年	年度 昭和28年度 昭和30年度 昭和30年度 昭和31年度 昭和31年度 昭和31年度 昭和31年度 昭和31年度 昭和31年度 昭和31年度 昭和31年度 明和31年度 明和31年度 明和31年度 明初31年度 明初31年度 明初31年度 明初31年度 明初31年度 明初31年度 明初31年度	京都府京都市北区小山上総町20番地 同上 同上 同上	

大学の名称	九州	大谷短期	月大学				学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率 1.3倍以上の学科等数	0	備考	
既設学部等の名称	修業 年限		編入学定 員		学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和3年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の学科のみ)	開設 年度	所 在 地		
	年	人	年次人	人		倍	倍					
仏教学科	2	10	-	20	短期大学士 (仏教学)	0. 65	0. 60	=	昭和45年度	福岡県筑後市蔵数 495-1		
表現学科	2	65	-	130	短期大学士 (表現学)	0. 66	0. 56	=	昭和45年度	同上	定員変更(15)	
幼児教育学科	2	100	-	200	短期大学士 (幼児教育 学)	0. 75	0. 82	-	昭和45年度	同上		
福祉学科	2	20	-	40	短期大学士 (介護福祉 学)	0.50	0. 45	-	平成11年度	同上	定員変更 (△15)	

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください・学部の学科または研究科の事攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合合含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の町やを記載してください。・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<社会学部 コミュニティデザイン学科>

(1)一① 担当教員表

	可時又	【は届出時】		成30:	年度】		和元年	度】		和2年	度】		和3年	度】
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) (末 (千) (年) (年) (年) (年) (年) (年) (年) (年) (年) (年	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月>	専任 兼担 兼任 の別	職名	氏 名 (年 節) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月>
		担当授業科目名	┨		担当授業科目名	-		担当授業科目名	▐		担当授業科目名	┡		担当授業科目名
		志藤 修史 (54) 〈平成30年4月〉			志藤 修史 (54) <平成30年4月>	_		志藤 修史 (55) <平成30年4月>	-		志藤 修史 (56) <平成30年4月>	=		志藤 修史 (57) <平成30年4月>
專	教授(学)	コミュニティデザイン演習 I a コミュニティデザイン演習 I b コミュニティデザイン演習 I b ロミュニティデザイン 演習 II b ロミュニティデザイン 演習 II b 日本 ロミュニティデザイン 演習 II b ロミュニティデザイン 演習 II b ロミュニティデザイン 演習 IV b 現代社会と 語社は A p は A p を 実践 I ブロジェクト 研究実践 I ブロジェクト研究実践 I アロジェクト研究実践 I アロジェクト研究実践 I アロジェクト研究実践 I アロジェクト研究実践 I アロジェクト研究実践 I P を 表研究	專	教授(学部長)	コミュニティアデザイン。 デザザインでは高音目も コミュニティアデザインでは高音目も コミュニティアデザインでは高音目も ロミュニニティアデザインでは高音目的 リーラー・ フミュニニティアデザインでは高音目的 大きなとなった。 現代からには、 大きなとなった。 東京東鉄II フロジジェクトの研究実践II ブロジェクトのデストリコ プロジェクトのデストリコ プロジェクトのデストリコ プロジェクトのデストリコ プロジェクトのデストリコ	廖	教授(学部 長)	コミュニティデザイン演習習 I a コミュニティデザイン演習習 I b コミュニティデザイン演演習 II a コミュニティデザイン演演習 II a コミュニティデザイン演演習 II b ロミュニティデザイン演習習 II b ロミュニティデザイン演習習 II b リミュニティデザイン 演習習 IV b 現代社会会 協社と アイドガーロジェクト研究実践II ブロジェクト研究実践II フロ研究エクト研究実践II アロデジェクト研究実践II アロデジェクト研究実践II アロデジェクト研究実践II アロデジェクト研究実践II アロデジェクト研究実践II アロデジェクト研究実践II アロデジェクト研究実践II アロデアン・サーデース アード・デース トー・デース トー・デース トー・デース アー・デース トー・デース アー・デース	均	教授(学部長)	コミュニティデザイン演習 I s コミュニティデザイン演習 I s コミュニティデザイン演習 I b コミュニティデザイン演演習 II s コミュニティデザイン演演習 II s コミュニティデザイン演演習 II s コミュニティデザイン 演演習 II s コミュニティデザイン 演演習 II s は t t t j t j t j t j t j t j t j t j t	專	教授	コミュニティデザイン液溶習 I s コミュニティデザイン液溶習 I s コミュニティデザイン液溶習 II s コミュニティデザイン液溶溶 II s コミュニティデザイン液溶溶 II コミュニティデザイン液溶溶 II s コミュニティデザイン液溶溶 I s 1 s 1 s 1 s 1 s 1 s 1 s 1 s 1 s 1 s
		西村 雄郎 (61) <平成30年4月>			西村 雄郎 (61) <平成30年4月>			西村 雄郎 (62) < 平成30年4月 >			西村 雄郎 (63) 〈平成30年4月〉			西村 雄郎 (64) < 平成30年4月 >
南	教授	コミュニティデザイン 厳智 II a コミュニティデザイン 厳智 II b コミュニティデザイン 微智 II a コミュニティデザイン 微智 II a コミュニティデザイン 機 地 と 経済 コミュニティ 形成論 コミュニティ 形成論 フェニティ 形成論 フェニティ 形成 アカジェクト研究人門 I ブロジェクト研究末数 II a ブロジェクト研究末数 II a ブロジェクト研究末数 II a ブロジェクト研究末数 II a ブロジェクト研究末数 II a ブロジェクト研究末数 II a	專	教授	コミュニティデザイン演習日日コミュニティデザイン演習日日コミュニティデザイン演習日日コミュニティデザイン演習日日コミュニティデザイン 仮報 日本コニニティ がデザイン 仮軸 ロミュニティアデザイン (制能)フェニティアデリカニング (制能)フェニティアランニング 筒 で表換日 フェニティアシニング 前で実験日 プロジェクト 研究実験日 プロジェクト 研究実験日 ブロジェクト 研究実験日 ブロジェクト 研究実験日 ブロジェクト 研究実験	專	教授	(制物) (利物) (利物) フミュニティデザイン演習面は コミュニティデザイン演習面は サニミュニティデザイン機能 レミュニティ形成論 コミュニティ形成論 フミュニティ形成論 フミュニティ形成論 フェュニティ形成論 フィルティの表現に イ制的 アロジェクト研究実践ロ ブロジェクト研究実践ロ ブロジェクト研究実践ロ ブロジェクト研究実践ロ	均	教授	(別論) (別論) (別論) (別論) (別論) (別論) (別論) (別論)	專	教授	(制強) (制強) (制強) (制強) (制強) (制強) (制力) (制力) (制力) (制力) (制力) (制力) (制力) (制力
		平尾 良治 (60) (年成30年4月> コミュニティケザイン廣管 1 a コミュニティケザイン廣管 1 b コミュニティケザイン廣管 1 b	_		平尾 良治 (60) (平成30年4月> コミュニティデザイン演習 Ia コミュニティデザイン演習 Ib			平尾 良治 (G1) (平成の中4月) コミュニティデザイン演習 I a コミュニティデザイン演習 I b コミュニティデザイン演習 II a	-		平尾 負給 (62) (72) (62) (73) (74) (75) (75) (75) (75) (75) (75) (75) (75	-		平尾 負拾 (63) (7成3)の44月> コミュニティデザイン演習 1。 コミュニティデザイン演習 1。 コミュニティデザイン演習 1。
專	教授	コミュニティデザイン高層IIb コミュニティデザイン高層IVa コミュニティデザイン高層IVb 比ら福祉発達 地域高祉論 地域高祉論 が返离社論 アロジェクト研究入門 I 全裏研究	專	教授	コミュニティデザイン演習IID コミュニティデザイン演習IVD 社会福祉機選 地域協能論は 地域協能論は サプロジェクと研究入門 I 卒業研究	專	教授	コミュニティデザイン演習IIIs コミュニティデザイン演習IVs コミュニティデザイン演習IVs 社会福祉後週 地域福祉論! 地域福祉論! 世会基本資本 である。 「一年」 「一年」 「一年」 「一年」 「一年」 「一年」 「一年」 「一年」	均	教授	コミュニティデザイン演習Ws コミュニティデザイン演習Ws コミュニティデザイン演習Wb 社会福祉を通り 地域福祉協 (1998) (199	章	教授	コミュニティデザイン演習IIIb コミュニティデザイン演習IVa コミュニティデザイン演習IVb 社会福祉発達史 ************************************
		松川 節 (57) <平成30年4月>			松川 節 (57) <平成30年4月>			松川 節 (58) <平成30年4月>			松川 節 (59) <平成30年4月>			松川 節 (60) <平成30年4月 >
敢	教授	コミュニティデザイン接管 1s コミュニティデザイン接管 1s 社会情報学報制: プロジェクト研究人門 1 プロジェクト研究人門 1 プロジェクト研究人間 プロジェクト研究大戦ロ プロジェクト研究失戦ロ プロジェクト研究失戦ロ	專	教授	コミュニティデザイン演習 I a コミュニティデザイン演習 I b 社会情報や報酬 I プロジェクト研究入門 I プロジェクト研究入門 I プロジェクト研究実践Ⅲ プロジェクト研究実践W	專	教授	コミュニティデザイン演習 I コミュニティデザイン演習 I b 社会情報や電子 アイデザイン (変習 I b 社会情報や電子 アイディン・カー アイディン・カー アイディン・カー アイディン・カー ディー・カー ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・	187	教授	コミュニティデザイン演習 Is コミュニティデザイン演習 Ib 社会情報や報子、 プロジェクト研究人門 I プロジェクト研究人門 I プロジェクト研究機覧 I プロジェクト研究機覧 I プロジェクト研究機関 フロジェクト研究機関	单	教授	コミュニティデザイン演習 Is コミュニティデザイン演習 Ib コミュニティデザイン演習 II Is コミュニティデザイン演習 IV II

専任・ 兼担・ 兼任 の別 職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別 職名	氏 名 (年 齢) (本 齢) (就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>		専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任 兼担 兼任 の別	•	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月>
專數授	超越模集科目名	專 教授	指当提集料目名	專	教授	担当授業科目名		專	教授	担当授業科目名	塘	、 教授	担当授業科目名
專 推教者	高井 恵光 (59) (平成30年4月> - 年成30年4月> - 三ミュニティグデザイン(高質器1日) - コミュニティグデザイン(高質器1日) - コミュニティグデザイン(高質器1日) - コミュニティグデザイン(高質器10日) - 北会情報2日 - コミュニティグデザイン(高質N)日 北会情報を発売している。 アンジェクト研究大阪日 フロジェクト研究大阪日 フロジェクト研究大阪日 フロジェクト研究大阪日 アロジェクト研究大阪日 アロジェクト研究大阪日 アロジェクト研究大阪日 アロジェクト研究大阪日 ・ 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	孝 指教:	商井 恵光 (50) (平成20年4月 > マ平成20年4月 > コミュニティアザイン 仮習 II 由 コミュニティアザイン 仮習 II 由 コミュニティアザイン 仮習 IV 北会博報学報2 (10) ト 研究大映 II プロジェクト 研究大映 II プロジェクト 研究大映 II プロジェクト 研究大映 II プロジェクト 研究大映 II フロジェクト III フロジェクト III エーア・	專	准教授	商井 恵光 (5(3)) (平成30年4月>) フミュニティイデザイン(演習日1日) コミュニニティイデザイン(演習日1日) コミュニニティアデザイン(演習日1日) コミュニティアデザイン(演習日1日) コミュニティアデザイン(演習日1日) コミュニティアデザイン(演習日1日) コミュニティアデザイン(演習日1日) コミュニティアデルトの研究実践日 フロジェクト研究実践日 フロジェクト研究実践日 フロジェクト研究実践日 スロジェクト研究実践日 スロジェクト研究実践日 スロジェクト研究実践日 スロジェクト研究実践日 スロジェクト研究実践日		瓔	准教授	適井 恵先 (52) (52) (52) (52) (52) (52) (52) (52)	增	在	画件 恵火 (53) (平成30年4月) コミュニティデザイン演習 II ロコミュニティデザイン演習 II ロコミュニティデザイン演習 II D
邛 抽散計		寥 准数:	赤海 清孝 (43) 《平成30年4月> コミュニティデザイン演習 I a コミュニティデザイン演習 I b アルカリー	專	准教授	赤傷 清孝 (430年4月 > (430年4月 > (430年4月 > 7デザイン演習 I a コミュニティアデザイン (477 乗 7 イン (477 乗 7 年 7 年 7 年 7 年 7 年 7 年 7 年 7 年 7 年		專	化 教授	※階(5) (45) (40) (40) (41) (41) (42) (43) (44) (45) (46) (47) <p< td=""><td>鸡</td><td>()推教技</td><td>赤澤。 清孝 (本学成30年4月 > コミュニティデザイン演習 I a コミュニニティデザイン演習 I b コミュニニティデザイン演習 I b コミュニニティデザイン演習 I b コミュニニティデザイン演習 I b コミュニニティアデザイン カイン アイン 海 で カイン アイン 海 で カイン アイン アイン 海 で アイン アイン アイン アイン アイン アイン アイン アイン アイン アイン</td></p<>	鸡	()推教技	赤澤。 清孝 (本学成30年4月 > コミュニティデザイン演習 I a コミュニニティデザイン演習 I b コミュニニティデザイン演習 I b コミュニニティデザイン演習 I b コミュニニティデザイン演習 I b コミュニニティアデザイン カイン アイン 海 で カイン アイン 海 で カイン アイン アイン 海 で アイン アイン アイン アイン アイン アイン アイン アイン アイン アイン
邓 准数	中野 加东子 (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4)	專 准数:	中野 加奈子 (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4)	專	准教授	中野 加充子 (48) (48) (48) (49) (49) (49) (49) (49) (49) (49) (49	_	專		中野 加奈子 (60) (40) (40) (40) (40) (40) (40) (40) (4	塘	(准教材	中野 加奈子 (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47)

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月> 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 館) 名 (末 (予定) 年月> 担当授業科目名	9	存任・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	氏 名 (年 齢) (年 齢) (本 十 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年	専作 兼担 兼任	E .	0.00	氏 名 (年 節) <就任 (予定) 年月> 担当授業科目名
專	講節	大原 (30) 〈平成20年4月〉 □ミュニティデザイン演習 I a コミュニティデザイン演習 B 1 a コミュニティデザイン (英麗智 B 1 a コミュニティデザイン (英麗智 B 1 a 2 a 2 a 2 a 2 a 2 a 2 a 2 a 2 a 2 a	專	講師	大阪(か)、 (平成20年4月) マ平成20年4月) マ平成20年4月) コミュニティデザイン演習 II s コミュニティアが 所究 大阪 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	專	排合行	大版 がい (40) (40) (年成30年4月) ラミュニティデザイン演費 1。 コミュニティデザイン演費 1。 コミュニティデザイン演費 18 コミュニティデザイン演費 18 コミュニティデザイン演費 18 コミュニティデザイン 演費 10。 コミュニティデザイン 演費 10。コミュニティデザイン 演費 10。コミュニティデザイン デオンティアザイン		序講	大原 ゆい (41) (平成30年4月 > ラミュニティデザイン 演習 I a (解散) コミュニティデザイン 演習 I b	1	i i	件 6 市	大阪 かい (単位) (平成の年4月) コミュニティデザイン (漢習 I a (情報) (情報) (情報) (情報) (情報) (情報) (情報) (情報)
專	練節	様容 (36) 男女 (36) 男女 (36) 男女 (77成30年4月> (77成30年4月>) 東京 イデザイン演習 11 1 1 1 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1	專	講師	議会 勇宏 (36) 《平成の中4月> マニュニティデザイン演習 I s コミュニティデザイン演習 II b 社会保険課金 [4] を持続を指し、 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1	專	8弊自行	様谷 男女 (37) 《平成の0年4月> ラニュニアイデザイン高音 I s コミュニアイデザイン高音 I s コミュニティデザイン高音 I b 会話を提助技術演奏 I b 会話を提助技術演奏 I b 会話を提助技術演奏 I b 会話を提助技術演奏 I t 会話を提助技術演音 I t c 会話を受助する		写 講	様谷 勇宏 《平成30年4月> 三キューティデザイン(第211年) コミュニティデザイン(第211年) コミュニティデザイン(第211年) コミュニティデザイン(第211年) (開始) コミュニティデザイン(第211年) (開始) エミュニティデザイン(第211年) (開始) 北会の経過機能と編誌計画 社会総長規助技術成場を開始 社会総長規助技術成場を開始 社会総長規助技術成場を開始 社会総長規助技術成場を開始 社会総長規助技術成場	1 1	k iii	养 自行	様谷 勇安 (39) (39) (平成30年4月) コミュニティデザイン 南智 1 b コミュニティデザイン 南智 1 b コミュニティデザイン 南智 1 b コミュニティデザイン 南智 1 b コミュニティデザイン 南南田 1 b コミュニティデザイン 南南田 1 b 北京 大田 1
專	牌師	開館 第 (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (27) (27) (27) (27) (27) (27) (27) (27	專	講師	同部 (29) (29) (平成30年4月> デびの発見 フミュニティデザイン(演習日1日 コミュニティデザイン(演習日1日 コミュニティデザイン(演習日1日 コミュニティデザイン(演習日1日 コミュニティデザイン(演習日1日 コミュニティデザイン(演習日1日 コミュニティデザイン(演習日1日 コミュニティデザイン(演習 1日 は会議を提助技術現場来習指導日 社会編を提助技術現場来習指導日 社会編を提助技術現場来習	專	游客行	同節 割 (90) (平成:00年4月 > 年 (90) (平成:00年4月 > 年 (90) (平成:00年4月 > 年 (90) (平成:00年4月) (平成:00年4月) (平成:00年6月) (平成:00年6月) (平成:00年6月) (平成:00年6月) (平成:00年6月) (平成:00年7) (攻 諸	回答 第 (31) 《平成20年4月》 学びの発見 コミュニティゲディン演習 11。コミュニティゲディン演習 11。コミュニティゲディン演習 11。コミュニティゲディン演習 11。コミュニティゲディン演習 11。コミュニティゲディン演習 11。 12、12、12、12、13、13、13、13、13、13、13、13、13、13、13、13、13、		in i	养師	関第 首 (52) (52) (52) (52) (52) (52) (53) (54) (54) (54) (54) (54) (54) (54) (54
兼担	教授	ロバート ローズ (64) <平成31年4月> 人同学日	兼担	教授	ロバート ローズ (64) <平成31年4月> 人間学Ⅱ	兼任	: 韓町	ロバート ローズ (65) <令和元年4月> 7	_	兼任 課	ロバート ローズ (66) 〈合和元年4月〉 人間学日	-	任 11	Riff -	ロバート ローズ (67) <令和元年4月>
			兼担	教授	発摘 玄己 (24) (24) (24) (25) (25) (25) (25) (25) (25) (25) (25	兼担	L WH	策蔵 光己 (66) 〈平成30年4月> 最完基確談習				-			
兼担	教授	織田 顕祐 (63) 《平成31年4月》 人周学日	兼担	教授	織田 類格 (63) 〈平成31年4月〉 人間学Ⅱ	兼担	教授	歳田 顕祐 〈今和元年4月〉		兼任 課	機田 顕祐 (65) 〈令和元平4月〉	-	任 11	作師 -	織田 顕培 (965) <令和元平4月>
兼担	教授	朴 — 功 〈平成30年4月〉 日本語表現(人門)	兼担	教授	料 - 功 (64) (平成30中4月> 日本語表現 (入門)	兼任	* 講報			兼任 韓	株 ─ 功 〈平成30年4月 > ■ 日本語表現 (入門)	*	任間	作師 -	朴 ─ 功 (67) <平成30平4月> 日本語表現 (入門)

専任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月> 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月> 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月> 担当授業科目名	専任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) < 就任 (予定) 年月> 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月> 担当授業科目名
兼担	教授	山下 連昭 (62) (7元30年4月> インターンシップ2大名大学 キャリアデザイン実践1 キャリアデザイン実践2	兼担	教授	山下 憲明 (62) (平成30年4月> インターンシップと大学 キャリアデザイン実践! キャリアデザイン実践! 市の記書館 現代社会と福祉 1 現代社会と福祉 2	兼担	教授	山下 連昭 (63) (平成30年4月> (7ンターンシップスを大学 キャリアデザイン実施) キャリアデザイン実施) 市民新命 (保険) (保険)	兼担	教授	山下 憲昭 (64) (年成の中4月> インターンシップスト分大学 キャリアデザイン実験2 市でリアデザイン 実験2 市でリアデザイン 実験2 (開始) (開始)			
						兼担	載提	山本 貴子 (82) 〈幸和元年4月〉 インターンシップ1大学コンソ京都	兼担	教授	山本 食子 (63) <舎和元年4月> インターンシップ1大学コンソ京都			
			兼担	教授	- 米 真 (60) (平成30年4月> 人間学I	兼担	教授	一来 章 〈守成30年4月〉 人間学 I 人間学 I	兼担	教授	- 米 真 (62) (平成30年4月> 人間学I 人間学I	兼担	教授	一张 章 〈平成30年4月〉 人類学豆
									兼担	教授	井上 開第 (60) <合和2年4月> 人間学Ⅱ	兼担	教授	井上 尚実 (4)(4) 《令歌2年4月》 人間学五
									兼担	教授	宮崎 徳司 (00) <专記記年4月> フィールドワーク特殊政曹 (PSL)	兼担	教授	京権 徳司 (01) 《令和2年4月> フィールドワータ特殊護習 (PSL)
兼担	教授	版中 洋 (58) <平成31年4月> 犯罪と社会	兼担	教授	駆中 洋 (58) (78) (58) (78) (14) (78) (14) (78) (15) (78) (16) (78) (16) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78	兼担	教授	版中 洋 (59) (今和元年4月> 刻罪と社会	兼担	教授	版中 洋 (60) 〈令和元年4月〉 犯罪と社会	兼担	教授	編中 序 (61) <令和元年4月> 矩罪と社会
兼担	教授	渡辺 得真 (59) 《平成30年4月》 情報と倫理	兼担	教授	渡辺 啓真 (59) 《平成30年4月》 情報と倫理	兼担	教授	渡辺 容真 (60) (平成30年4月> 情報と倫理	兼担	教授	渡辺 啓覧 (61) 〈平成30年4月〉 情報と倫理	兼担	教授	渡辺 啓真 (62) 《平成30年4月》 情報と倫理
兼担	教授	本趙 康 (55) (平成31年4月) 仏教社会論	兼担	教授	本越 唐 (55) 《平改31年4月》 仏教社会論	兼担	教授	本趙 康 (56) (56) (4) (4) (4) (4) (5) (5) (6) (6) (7) (7) (7) (8) (7) (8) (8) (8) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9	兼担	教授	木越 唐 (57) (67) (67) (67) (68) (68) (68) (68) (68) (68) (68) (68	兼担	教授	本題 康 (58) (今和元年4月> 仏教社会論
兼担	教授	集田 みゆき (54) 〈平成30年4月> 情報社会論	兼担	教授	集田 みゆき (54) 〈平成30年4月〉 情報社会論	兼担	教授	集田 みゆき (55) 〈平成20年4月〉 情報社会論	兼担	教授	集田 みゆき (56) <平成30年4月> 情報社会論	兼担	教授	集田 みゆき (57) 《平成30年4月> 博報社会論
兼担	教授	福島 栄寿 (53) 《平成31年4月》 人間学日												
			兼担	准數包	井上 和久 (56) 〈平成31年4月〉 人同学I	兼担	准款书	井上 和及 (57) <令和元年4月> - - - - - -	兼担	准教授	井上 和及 (68) <令和元年4月> 人國學Ⅱ	兼担	准款便	井上 和及 (58) <令和元年4月> 人同學豆

専任・兼任の別	職名	氏 名 (年 節) (就任 (予定) 年月> 担当授業科目名	専任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月> 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏. 名 (年 齡) 《就任 (予定) 年月》 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月 > 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 《年 館》 《就任 (予定) 年月> 担当授業科目名
						兼担	准款	国方 保仁 (58) <令和元年4月> - - - - - - - - - - - - - - - - - - -	兼担	准數包	图方 保仁 (59) <令和元年4月> →			
兼担	准教授	藤原 正寿 (55) (55) (7成30年4月> 福落签別上大谷禄教団1 昭落签別上大谷禄教団2 部落史鼬2	兼担	准教授	藤原 正寿 (55) (55) (55) (55) (54) (平成30年4月> - - - - - - - - - - - - - - - - - - -	兼担	准教技	藤原 正寿 (56) 《平成30年4月> 《平成30年4月> 《西落美別上大谷県教団 商落美別上大谷県教団 (新陸) (別陸)	兼担	准教授	#原 正寿 (57) 《平成功年4月》 南落亮列上大谷展教団 南落亮列上大谷展教団 (新論) (表社会論 中國の素板と文化	兼担	准教授	應原 正寿 (58) 《平成30年4月> 部落差別と大谷純教団 (新路差別と大谷純教団 (新路差別と大谷純教団 (新路)) (例論) (表社大論
兼担	准教授	善	兼担	准教授	善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善	兼担	數授	客多 恵美子 (52) (平成30年4月> 現代朝鮮半島事情	兼担	教授	喜多 惠美子 (53) 《平成30年4月》 現代朝鮮半島事情	兼担	教授	客多 惠美子 (54) 《平成30年4月》 現代朝鮮半島事情
兼担	准教授	グシュ ショバ ラニ (S1) 〈平成30年4月〉 人同学 I	兼担	准教授	グシュ ショバ ラニ (51) 《平成30年4月》 人間学 I	兼担	准教技	グシュショバラニ (52) 〈平成30年4月〉 ^(画版) インドの宗教と文化	兼担	准教授	グシュ ショバ ラニ 〈平成30年4月〉 (相称) インドの宗教と文化	兼担	教授	ダシュショバラニ (54) 〈平成30年4月〉 (削除) インドの宗教と文化 反カースト運動権
												兼担	教授	機者 裕彦 〈令和3年4月〉 インターンシップ特殊演習 1 大学コン ソ京都
兼担	准教授	三宅 伸一郎 (51) 〈平成30年4月〉 人間学1 戸内別用によるレポート・論文技法 ファグに学ぶ	兼担	准教授	三宅 伸一郎 (51) 〈平成30年4月〉 (495) P:科別によるレポート・論文技法 プッグに学ぶ	兼担	教授	= を 伸一郎 (52) 〈平成30年4月〉 (新聞) 元利用によるレポート・論文技法 ブッグに学ぶ	兼担	教授	三宅 伸一郎 (53) 〈平成30年4月> (新味) (大明日によるレポート・論文技法 (新味)			
兼担	准教授	田中 正隆 〈平成30年4月> 現代社会とコミュニケーション ダインが ゼーション論	兼担	准教授	田中 正隆 (50) (50) (7度20年4月> 現代社会論 現代社会論 現代社会 コミュニケーション グローバリゼーション論	兼担	准教技	田中 正隆 (51) (51) (7年成30年4月> (7年成30年4月> (7年成30年4月> (7年成30年4月> (7年成30年4月> (7年7年7年7年7年7年7年7年7年7年7年7年7年7年7年7年7年7年7年	兼担	准教授	田中 正隆 (52) (72) (72) (72) (73) (74) (74) (74) (74) (74) (74) (74) (74	兼担	准教授	田中 正隆 (53) 〈平成30年4月〉 現代社会論 現代社会論 現代社会とコミュニケーション グローバリゼーション論
												- 兼担	教授	安田 職人 (53) 人 (63) 人 (63) インターンシップ特殊演習2大谷大学
兼担	准教授	禾等 是 〈平成31年4月〉 人同学日	兼担	准教授	乗響 是 (48) 〈平成31年4月〉 人間学Ⅱ	兼担	准教护	采譽 是 (49) 《令和元中4月》 ² 入同学Ⅱ	兼担	准教授	系器 是 (56) < 令和元年4月> 人間学Ⅱ	兼担	教授	未等 是 (51) (今和元年4月> 人間学Ⅱ ブッグに挙ぶ
兼担	准教授	井上 摩記 (49) 《平成30年4月> 人間関係と身体表現	兼担	准教授	井上 摩記 (49) 《平成30年4月》 人開闢係と身体表現	兼担	教授	井上 離記 (50) (50) (平成30年4月> 人間関係と身体表現	兼担	教授	井上 摩紀 (51) 〈平成30年4月〉 人開開係と身体表現	兼担	教授	井上 摩記 (52) <平成30年4月> 人間関係と身体表現
兼担	准教授	藤田 義孝 (49) 〈早成30年4月〉 ヨーロッパの宗教と文化(フランス)	兼担	准教授	藤田 義孝 (49) 《早成30年4月> ヨーロッパの宗教と文化(フラン ス)	兼担	教授	原田 義孝 (30) 〈平成30年4月〉 ヨーロッパの宗教と文化(フラン ス)	兼担	教授		兼担	教授	

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月> 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月> 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月> 担当授業科目名	専任 兼担 兼任 の別		氏 名 (年 館) < 就任 (予定) 年月> 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 龄) < 就任 (予定) 年月> 担当授業科目名
兼担	准教授	策備 焼煙 (48) (平成30年4月> 中国の宗教と文化 反カースト運動論	兼担	准教授	実清 続極 (48) 〈平成30年4月〉 中国の宗教と文化 反カースト運動論	兼担	教授	実浦 焼煙 (49) (平成30年4月> 中国の奈敦と文化 反カースト運動論	兼技	E 85	装浦 陸雄 (50) (平成30年4月> (新版) (ズカースト運動論			
兼担	准教授	山田 恵文 〈平成30年4月〉 人開学 I	兼担	准教授	山田 惠文 (47) 《平成30年4月》 人開学II	兼担	准教授	山田 恵文 (48) 〈平成30年4月〉 (新) 人間学Ⅱ	兼封	且 准教	山田 恵文 (49) 《平成30年4月> ※ (開節) 人例学目	兼担	准教授	山田 恵文 〈平成30年4月〉 【 研除 】 人間学直
兼担	准教授	總田 剛 《平成31年4月> 社会等額論 社会問題論	兼担	准教授	巻田 剛 (46) (平 京30年4月) 社会平概論 地域社会論	兼担	准教授	総田 剛 (47) (平 京30年4月) 社会学機論 社会問題論 地域社会論	兼打	且 准教	徳田 剛 (48) 《平成30年4月》 ² 社会学機論 社会性機論	兼担	准教授	徳田 剛 (49) 《 平成30年4月》 汪介華編 社会問題論 地 教社会論
兼担	准教授	大應 一倍 (45) 〈平成31年4月〉 人同学Ⅱ	兼担	准教授	大應 一浩 (45) 〈平成31年4月〉 人剛学II	兼担	准教授	大應 — 浩 (46) 〈令和完年4月〉 人剛学II	兼排	且 准教	大鄭 一陪 (47) 《令和元年4月》	兼担	准教授	大雅 一浩 (48) 〈令和元年4月〉 人側学Ⅱ
兼担	准教授	藤枝 真 (45) <平成31年4月> 人間学日 ターミナルケア論	兼担	准教授	藤枝 真 (45) <平成31年4月> 人剛学Ⅱ クーミナルケア論	兼担	准教授	藤枝 真 (46) (46) (46) (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47	兼担	且 准教	藤枝 真 (47) <令和元年4月> ▽ 人間学Ⅱ ターミナルケア論	兼担	准教授	藤枝 真 (48) (今和元年4月> 人間学Ⅱ ターミナルケア論
兼担	准教授	三浦 賽史加 〈平成:30年4月〉 榮思から表現へ 日本語表現(実践)	兼担	准教授	三浦 養史加 (45) 《平成30年4月》 (網路) 日本語表現 (実践)	兼担	准教授	三浦 賽史加 (46) (今和元年4月> (開節) 日本語表現 (実践)	兼技	且 准教机	三浦 著史加 (47) 〈令和元年4月〉 《 (新版) 日本語表現 (実践)	兼担	准教授	三浦 賽史加 (48) 《令和元年4月》 (個版) 日本語表現 (実践)
兼担	准教授	高順 浮也 〈平成30年4月〉 生産スポーツ・レクリエーション活動												
兼担	准教授	膜川 智貴 〈平成30年4月〉 ヨーロッパの宗教と文化(ドイツ)	兼担	准教授	廣川 智貴 (44) 〈平成30年4月〉 ヨーロッパの宗教と文化(ドイツ)	兼担	准教授	廣川 智貴 (45) 〈平成30年4月〉 ヨーロッパの宗教と文化(ドイツ)	兼技	且 准教机	要用 智貴 (46) 〈平成30年4月> ^図 ヨーロッパの宗教と文化(ドイツ)	兼担	准教授	選川 智貴 (47) (平成30年4月 > ヨーロッパの宗教と文化(ドイツ)
兼担	准教授	井里 25 (43) <平成30年4月> 東アジアの宗教文化				兼担	准教授	非異 毫 (46) (46) <令和元年4月> 東アジアの永載文化	#i	星 神教	非異 恩 (48) 〈中和元年4月〉 東アジアの宗義文化 中国の宗教と文化	兼担	准象技	井黒 器 (47) (47) 東アジアの宗教文化 中国の宗教と文化
兼担	講師	新田 智通 〈平成31年4月〉 〈用学 I	兼担	淋師	新田 智通 (47) 《平成31年4月》 人開学 I 人開学 I	兼担	推教授	新田 智通 (48) 《平成:10年4月》 人剛学 I 人剛学 I	兼排	E 推教	新田 智通 (49) 《平成30年4月》 (大開学日	兼担	准教授	新田 智通 〈平成30年4月〉 人間学1
						兼担	推教授	■元 雅文 〈◆和元年4月〉 仏教社会論	**	E 推教	原元 雅文 (47) <令和元年4月> 仏教社会論	兼担	准教授	■元 種文 (48) <今本元年4月> 仏教社会論

専任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 數) < 就任 (予定) 年月> 担当授業科目名	専任・ 兼任 の別	職名	E. 名 (年 館) (年 館) (本 館) (年 度) 年月 > 担当授業科目名	専任 兼担 兼任 の別	•	龍名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月> 担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏 名 (年 館) < (年 作) 年月> 相当授業科目名	専任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 館) <就任 (予定) 年月> 担当授業科目名
兼担	講師	川陽 泰幸 (42) 〈平成30年4月> 探光基礎演習						-							
						- 兼在	1 111	·#F	M. J. CONWAY (42) 〈令和元年4月〉 類種に挙ぶ	兼担	. 森師	M.J.COMMAY (43) <令物元年4月> 悪雪に挙ぶ	兼担	推載さ	M. J. CONTAT (44) (今和元年4月>
兼担	講師	高橋 寛 (40) 〈平成31年4月〉 インターンシップ1大学コンソ京都	兼担	講師	高橋 真 (40)(平成31年4月>インターンシップ1大学コンソ京都			_							
								_		兼担	. 跳節	戸次 概象 (38) (金和2年4月> フッグド撃ぶ			
			兼担	助教	野村 英 (27) <平成30年4月> 生活問題論	· 兼在	1 % (•	野村 美 (28) <平成30年4月> 生活問題論	兼担	. 助教	野村 実 (29) <平成30年4月> 生活問題論	兼任	體師	野村 英 (30) 〈平成30年4月> 生活問題論
兼任	排師	諸快 貞夫 (68) 〈平成30年4月〉 日本国憲法	兼任	練師	諸秩 貞夫 (68) 〈平成30年4月〉 日本国憲法	兼任	E 講自	ĤĪ -	諸獎 貞夫 (600) 《平成30年4月> 日本国章法1 日本国章法3 日本国章法3						
兼任	講師	高谷 修 (64) 〈平成31年4月〉 天緒日	兼任	講師	高鈴 修 (64) 《平成31年4月》 英勝 II	兼任	E 調整自	飾	高容 修 (65) <令和元年4月>	兼任	講節	高倉 修 (66) (66) 《令和元年4月》 芙藤田	兼任	講師	高谷 修 (67) 〈令和元年4月〉 英語Ⅱ
兼任	講師	譲 西賢 〈平成30年4月〉 こころの科学 人間理解の心理学	兼任	講師	議 西賢 (65) 〈平成30年4月〉 こころの科学 人同理弊の心理学	兼任	· 清霄自	飾	譲 四覧 (66) 《平成30年4月》 こころの科学 人関理解の心理学	兼任	講師	議 西賢 (67) 〈平成30年4月〉 こころの科学 人間理解の心理学	兼任	講師	譲 西賢 (68) 〈平成30年4月〉 こころの科学 人間理解の心理学
													兼任	韓部	英妹 執要 (68) <令和3年4月> 人間学工
兼任	: 講事自市	本多 義治 〈平成30年4月〉 願とこころ	兼任	講師	本多 義治 (64) 〈平成30年4月〉 脳とこころ			_							
兼任	講師	教野 智治 (64) 《平成30年4月》 児童福祉援助技術現場実習指導II 社会福祉援助技術現場実習指導II 社会福祉援助技術現場実習	兼任	游師	牧野 哲治 (64) 《平成30年4月》 児童福祉 社会福祉援助技術現場來習指導工 社会福祉援助技術現場來習指導工 社会福祉援助技術現場來習指導工	兼任	E 部件自	飾	牧野 哲治 (65) 《平成30年4月〉 児童福祉 社会福祉援助技術現構來習指專Ⅱ 社会福祉援助技術現構來習指專Ⅲ 社会福祉援助技術現構來習	兼任	講節	教野 哲治 (66) 〈平成30年4月〉 児童福祉 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ 社会福祉援助技術現場実習	兼任	講師	牧野 哲拍 (67) 〈平成30年4月〉 兒童福祉提助技術現場英習指專II 社会福祉提助技術現場英習指專II 社会福祉提助技術現場英習用專Ⅲ 社会福祉提助技術現場英習用專Ⅲ

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 節) <就任 (予定) 年月> 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) < 就任 (予定) 年月> 担当授業科目名	3	享任・ 装担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) < 就任 (予定) 年月> 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) 〈就任 (予定) 年月> 担当授業科目名
兼任	講師	東 治子 (63) 〈平成30年4月〉 灰路 I 灰路 I							-				-		
兼任	講句	西尾 由利子 〈平成30年4月〉 芙藤 I	兼任	排印	西尾 由利子 (63) <平成30年4月> 英語 I 英語 I	兼任	講師	商尾 由利子 (64) <平成30年4月> 茶高 1 天器 1	-	兼任	講師	西尾 由利子 (65) <平成30年4月> 英語 I 英語 I	兼任	講師	西尾 由利子 (66) <平成20年4月> 英語 I 天語 I
						兼任	髀節	関係 脚二 (SS) <合和元年4月> 脚とこころ	-	兼任	瞬節	関係 群二 (64) (今和元年4月> 麗とこころ	兼任	静師	関格 第二 (65) 〈令和元年4月〉 圏とこころ
兼任	講師	松田 美智子 〈平成31年4月〉 〈平成31年4月〉	兼任	渊师	松田 美智子 (66) 《平成31年4月》 介護概論	兼任	講師	松田 美智子 (61) <令和元年4月> 介護概論	-	兼任	牌師	松田 美智子 (62) 〈令和元年4月〉 介護機論	兼任	講師	松田 美智子 (63) <令和元年4月> 介護銭論
兼任	講師	上羽 毅 (59) 〈平成21年4月〉 医学一般 保健医療サービス論	兼任	排師	上羽 毅 (59) <平成31年4月> 医学一般 保健医療サービス論	兼任	講師	上羽 毅 (60) <令和元年4月> 医学一般 保健医療サービス論	F	兼任	講師	上羽 毅 (61) <令和元年4月> 医学一般 保健医療サービス論	兼任	練師	上別 毅 (62) <令和元年4月> 医学一般 保健医療サービス論
兼任	牌句	河原 離子 (90) (平成30年4月 > 身体活動 II	兼任	湖南市	河原 雙子 (60) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (7	兼任	講師	河原 搬子 (61) 〈平成30年4月〉 身体活動Ⅱ	=	兼任	講師	河原 慶子 (62) 《平成30年4月》 寿体活動 II	**任	講師	问题 整子 (33) 〈平成30年4月〉 身体活動Ⅱ
兼任	講師	中尾 郷史子 (60) (平成30年4月> キャリアデザイン概論1 キャリアデザイン機論2	兼任	淋師	中尾 都央子 (60) (平成30年4月> キャリアデザイン機論1 キャリアデザイン機論2	兼任	講師	中尾 都央子 (61) (平成30年4月> キャリアデザイン戦論1 キャリアデザイン戦論2	-	兼任	講師	中尾 郡史子 (62) (平成30年4月> キャリアデザイン戦論1 キャリアデザイン戦論2	-		
						兼任	牌部	推 千章 (4) (4) (4) (4) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	-	禁任	錦師	推 千章 (0) 〈令称元年4月〉 人属学Ⅱ	兼任	錦師	推 千章 (60) <令称元年4月> 人類学五
兼任	講師	山内 小夜子 (55) (平成30年4月 > アジア侵略と宗教 非敬の系譜	兼任	排師	山内 小夜子 (53) (平成30年4月> アジア侵略と宗教 非戦の系譜	兼任	講師	山内 小夜子 (30) 〈平成3呼4月〉 アジア侵略と宗教 非戦の系譜	-	兼任	牌師	山内 小夜子 (700) (平成30年4月> アジア侵略と宗教 非戦の系譜	兼任	牌師	山内 小夜子 (日) (平成3中4月> アジア侵略と宗教 非戦の系譜
兼任	講師	青木 惠子 (57) 〈平成30年4月〉 メポーツ研究演習 I スポーツ研究演習 I 身体活動 I	兼任	排師	青木 惠子 (57) (平成30年4月) スポーツ研究演習 I スポーツ研究演習 I 身体活動 I	兼任	講師	青木 惠子 (S8) 〈平成30年4月〉 ×ボーツ研究練習 I メボーツ研究練習 I 身体活動 II	<u>-</u>	兼任	講師	青木 惠子 (50) (平成30年4月> (開始) (保格) 身体活動 I	-		
兼任	講師	杉本 理 〈平成31年4月〉 人間学日	兼任	練師	杉本 理 〈平成31年4月〉 人開学Ⅱ	兼任	講師	杉本 理 (57) (67) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (兼任	講師	杉本 理 〈令和元年4月〉 人側学Ⅱ	- 兼任	講師	杉本 理 (29) 〈令和元年4月〉 人例学Ⅱ

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 前) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月>
兼任	講師	担当授業科目名	兼任	講師	担当授業科目名 栃木 武也 (57) (平成30年4月> 高齢者福祉 社会福祉施設経営論	兼任	講師	超 当授業科目名	兼任	講師	担当授業科目名 橋木 武也 (59) 《平成30年4月> 高齢者福祉 社会福祉施設経営論			担当投票科目名
兼任	講師	古風 哲 〈平成31年4月〉 社会調査論	兼任	講師	古屋 哲 (56) 《平成31年4月》 社会調査論	兼任	講師	古屋 哲 (57) 〈令和元年4月〉 社会調査論	兼任	講師	古屋 哲 (58) 〈合和元年4月〉 社会調査論	- 兼任	絆師	古屋 哲 (59) 〈令和元年4月〉 社会調査論
兼任	牌師	山口 挿二 〈577 〈平成30年4月〉 古都の歴史と文化	兼任	講師	山口 梓二 (57) <平成30年4月> 古都の歴史と文化	- 兼任	講師	山口 挿二 (S8) 〈平成30年4月〉 古都の歴史と文化	兼任	講師	山口 祥二 (59) 〈平成30年4月〉 古都の歴史と文化	兼任	評師	山口 持二 (60) 〈平成30年4月〉 古都の歴史と文化
兼任	講師	吉生 淳一 (56) 《甲基39年4月》 还会屬陸援助技術演習1 社会屬陸援助技術演習2 社会屬陸援助技術演習3	兼任	練師	吉弘 淳一 (56) 《平成200年4月》 社会福祉援助技術演習: 社会福祉援助技術演習: 社会福祉援助技術演習:	兼任	牌師	吉弘 淳一 (57) 《平成功年4月》 社会福祉援助技術演習 社会福祉援助技術演習2 社会福祉援助技術演習3	兼任	講師	自弘 淳一 (58) 《平成20年4月》 社会福祉援助技術演習 社会福祉援助技術演習2 社会福祉援助技術演習3	- 兼任	講師	吉弘 淳一 (59) 《平成功中4月》 注金編社援助技術演習1 社会編社援助技術演習2 社会編社援助技術演習3
									兼任	: 鏡師	丹別 教 (58) <令和2年4月> 日本国産後2 日本国産後3	兼任	雅师	
兼任	牌師	削覇 浩 〈平成30年4月〉 陳書者・病者と共に生きる アイヌ民族と共に	兼任	講師	訓鸛 浩 (55)年4月> (平成30年4月> 随落者・明者と共に生きる アイヌ民帳と共に	兼任	講師	割額 浩 (56) (56) (平成30年4月> 陳喜名・明名と共に生きる アイヌ民族と共に	兼任	講師	測期 浩 (57) (57) (平成30年月> 随店者・明者と共に生きる アイヌ民帳と共に	兼任	沸奶	影響 店 (SS) (SS) (平成30年4月> 障害者・病者と共に生きる アイヌ投銭と共に
兼任	講師	本林 増久 <平成31年4月> 宗教と社会 地域社会館 人と文化	兼任	講師	本株 辨久 (55) (55) (55) (51) (51) (51) (51) (51)	兼任	講師	本株 朔久 (56) (76) (76) (70) (70) (70) 人と文化	兼任	講師	本株 薄久 (57) (67) (令和元年4月> 宗觀と社会 (近韓) 人と文化	兼任	講師	本株 辨久 (S8) (会和元年4月> 宗教と社会 (開始) 人と文化
						兼任	饢節	并 仁數 (56) 《令即元年4月》 公的效助施 社会福祉提勒技術演習2	兼任	: 鏡椰	井 仁敬 (57) 〈令和元年4月〉 公的禁助職 (補論)	兼任	鏡師	林 仁數 (68) (68) (中和元年4月> 金的於那論 (開始) (開始) (自然) (社会福祉局助於衛於實習 社会福祉局助於衛於實質 社会福祉局助於衛於實質
						-						兼任	推师	杉原 催子 (58) 〈令市3年4月〉 社会福祉施設経営論 清倉子福祉
兼任	牌師	太田 鈍 〈平成30年4月> 茶路 I	兼任	講師	太田 純 (54) 〈平成31年4月〉 (例除) 失語 II	- 兼任	講師	太田 純 (55) <中和元年4月> (例除) 疾語 II	兼任	講師	太田 純 (56) 〈令和元年4月〉 (例除) 朱陪 II			
兼任	講師	本塚 恵子 (53) 〈平成30年4月〉 茨路I	兼任	講師	木塚 恵子 (53) 〈平成30年4月〉 (新始) 英語 II									

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 前) <就任 (予定) 年月> 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 節) <就任 (予定) 年月> 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) < 就任 (予定) 年月> 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) < 就任 (予定) 年月> 担当授業科目名
		但当次集件目名	兼任	講師	担当校果件目的 首前 干蒜子 (53) 《平成30年4月》 都果史論 2	兼任	- 講師	但当庆東村日名 賞賞 千様子 (54) 《平成30年4月> 極寒史論 1 報席史論 2	兼任	. 講師	宮前 千種子 (55) 〈平成30年4月〉	兼任	機能	宫前 千掃子 (56) 〈平成30年4月〉
						-						兼任	擀飾	田中 情(se) (se) (本布3年4月>
兼任	絆師	整田 理 (52) <平成30年4月> 仏教と美術	兼任	游师	祭田 増 (52) <平成30年4月> 仏教と美術	- 兼任	講師	製田 理 (53) <平成30年4月> 仏教と美術	兼任	講師	蟹田 理 (54) <平成30年4月> 仏教と美術	兼任	游师	製田 理 (55) <平成30年4月> 仏教と美術
兼任	講師	西田 廣和 (52) 〈平成30年4月〉 英路 I	兼任	講師	西田 廣和 (52) 〈平成30年4月〉 矢路 I	- 兼任	講師	西田 廣和 (53) 〈平成30年4月〉 英語 I	兼任	講師	西田 跛和 (54) 〈平成30年4月〉 英語 I	兼任	講師	西田 廣和 (55) 〈平成30年4月〉 突絡 I
						- 兼任	講師	参田 典閣 (53) <◆和元年4月> 英額 Ⅱ	兼任	銀貨	松田 美育 (64) <令和元年4月> 美藤II	- 兼任	腺師	松田 集着 (55) <◆和元年4月> 英都 I
兼任	講師	三木 彰円 (52) 〈平成30年4月> 人間学日 インドの宗教と文化	兼任	湖町	三木 彰円 (52) 〈平成30年4月〉 人間学Ⅱ インドの宗教と文化	- 兼担	數技	三木 彰円 〈写成30年4月〉 (新) インドの宗教と文化	兼担	. 教授	三木 彰円 (54) 〈平成30年4月> (州論) インドの宗教と文化	- 辣担	教授	三木 彰円 (55) 〈平成30年4月〉 (開除) インドの宗教と文化
兼任	絆師	山坡 乾暢 (52) <平成30年4月> 画像处理九門 画像处理龙用	兼任	游师	山城 發暢 (52) 《平成30年4月》 兩億処理人門 兩億处理店用	- 兼任	講師	山坡 登暢 (53) 《平成30年4月》 萬億延度入門 國像処理公用	兼任	講師	山城 乾暢 (54) < 平成30年4月>	- 兼任	牌師	山坡 於楊 (55) < 平成30年4月 > 開像処理人門 開像処理応用
兼任	講師	河井 純子 (51) ⟨平成30年4月> 英語 I 実語 I	兼任	游师	河井 純子 (51) 〈平成30年4月〉 茶語 I 来語 II	兼任	講師	同井 - 純子 (52) <平成30年4月 > 京語 I (N M)	兼任	講師	河井 純子 (53) 〈平成30年4月〉 英語 I (制除)	- **任	講師	同并 終于 (54) <平成30年4月> 死後1 (M 50)
兼任	講師	笠原 俊典 (50) 〈平成30年4月〉 仏教福祉論	兼任	游师	笠原 俊典 (50) 《平成30年4月》 仏教福祉論	兼任	講師	空原 俊典 (51) 《平成30年4月》 仏教福祉論	兼任	講師	空原 後典 (52) 〈平成30年4月〉 仏教福祉論	- **任	講師	空原 俊典 (53) 《平成30年4月》 仏教編祉論
兼任	講師	川田 耕 〈平成31年4月〉 文化社会学 社会学史	兼任	游师	川田 耕 (50) (平成31年4月> 文化社会学 社会学史	-								
兼任	津町	福山 幸子 (50) <平成30年4月> カウンセリング	兼任	游師	福山 幸子 (50) <平成30年4月> カウンセリング	- 兼任	講師	福山 幸子 (51) (今都元年4月> カウンセリング	兼任	講師	福山 幸子 (52) 〈令和元年4月〉 カウンセリング	兼任	講師	福山 幸子 (G3) <含布元年4月> カウンセリング

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任 兼担 兼任 の別		職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月>	専任 兼担 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月>	専任 兼担 兼任 の別	職	
		组当授業科目名			担当授業科目名				担当技業科目名			担当授業科目名	- 兼任	: #	担当投票科目名
兼任	講師	田中 智子 (49) 〈平成30年4月〉 近代日本とアジア	兼任	牌師	田中 響子 (49) <平成30年4月> 近代日本とアジア	*	任 講館	李命节 3	田中 智子 (50) 〈平成30年4月> 近代日本とアジア	兼任	: 講師	田中 智子 (51) <平成30年4月> 近代日本とアジア	- 兼任	: 講:	田中 響子 (52) 〈平成30年4月〉 近代日本とアジア
兼任	練節	種子田 香 〈年成31年4月〉 英路日	兼任	練師	種子田 香 〈甲成31年4月〉 英語Ⅱ								-		
兼任	練師	濱島(宮川) 寂恵 (49) (中域32年4月> 甲菜32年4月> 甲菜25年4月> 柑菜積助の理論と方注4 社会福祉援助技術演習4	兼任	牌師	濱島(宮川)淑惠 (49) (年成22年4月> 相談規則の理論と方述4 社会福祉援助技術演習4	兼	任 講館		濱島(宮川)椒恵 (50) 〈令和2平4月〉 相談規助の理論と方注4 社会福祉援助技術演習4				-		
兼任	練師	進来 鑷子 < (48) < 平成31年4月 > 英路日	兼任	牌師	進末 陽子 (48) (平成31年4月) 英勝日								-		
兼任	絆師	遊野 浩毅 〈平成30年4月〉 公共政策概論1 公共政策機論2	兼任	練師	遊野 浩敦 〈平成30年4月〉 ②共政策報論1 公共政策報論2			_							
兼任	講師	杉山 正治 (48) 〈平成30年4月> 医利用によるブレゼンテーション 知かサイト構築に用 キャサイト構築に用	兼任	講師	杉山 正治 (48) (平成30年4月> 下利用によるブレゼンテーション 14かサイト構築を用 14かサイト構築を用	*	任 講館	På Till Till Till Till Till Till Till Til	杉山 正治 〈平成30年4月> で利用によるブレゼンテーション Pebサイト構築に用	兼任	評師	杉山 正治 (50) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (7	兼任	: 講:	杉山 正治 (51) <平成30年4月> 「で利用によるプレゼンテーション Rabサイト構築応用 Webサイト構築応用
兼任	絆師	映開 芳樹 (43) (年) (年) (東京法人門 ボルトガル語圏のくらしと言葉1 ボルトガル語圏のくらしと言葉2	兼任	練師	映開 労樹 (43) (平成30年4月 > 思考法人門 ボルトガル部圏のくらしと言葉1 ボルトガル部圏のくらしと言葉2	兼	任 講館		狭岡 芳樹 (49) 《平成30年4月 > 思考法入門 ボルトガル語圏のくらしと言葉! ボルトガル語圏のくらしと言葉!	兼任	評師	映開	兼任	: 講:	
兼任	絆師	森 徳弘 (443) 〈平成31年4月〉 空利用による表計策入門 吹利用による表計策応用											-		
						*	任癖	軸	江南 健志 (48) 《令和元年4月》 社会学	兼任	: 脾師	江南 使志 (48) 《令和元年4月》 社会学	· 兼在	* #	江南 他志 (50) (今和元年4月> # 社会学
兼任	練師	瀬戸 放表子 (46) 〈平成31年4月〉 英緒Ⅱ	兼任	沸師	瀬戸 奈美子 (46) 〈平成31年4月〉 英語Ⅱ	兼	任 講館	排節 3	#戸 奈英子 (47) 〈令和元年4月〉	兼任	: 講師	順戸 夯美子 (48) <令和元年4月> 英語Ⅱ	兼任	: 講:	瀬戸 在美子 (49) <合和元年4月>

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別		名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月>	専任 兼担 兼任 の別	•	氏 名 (年 節) 名 <就任 (予定) 年月>	専任 兼担 兼任 の別		養名	氏 名 (年 前) <就任(予定)年月>
兼任	講師	相当授業科目名 日高 周平 (47) (47) (47) (47) (48)	兼任	練師	相当授業科目名 日高 周平 (48) (48) 平成30年4月 >	兼任	: 3件分	¥ħi -	担当授業科目名 - 日高 周平 (40) (+0) (-平成30年4月> 英語 I	兼	迁 請	担当授業科目名 日高 周平 (50) (平成30年4月>	兼任	: 37	集自 市	相当侵棄料目名 - 日高
兼任	講句	松木 宏史 (47) 《平成32年4月 > 権利難讓と成年後見制度	兼任	排印	松木 変史 (47) 《平成22年4月》 權利擁護と成年後見刺皮	- 兼任	: 評自	भं	松木 宏史 (47) (今和2年4月> 権利維護と成年後見制度	兼	迁 講	松木 宏史 (47) <令和2年4月> 師 権利権健と成年後見制度	兼任	: 27	等自币 。	松木 変史 (48) <合和2年4月> 権利擁護と成年役見制度
兼任	牌印	鶴見 晃 (47) (平成30年4月>	兼任	排印	額見 是 (47) (平成30年4月> 部落差別と浄土真宗1 部落差別と浄土真宗2	- 兼任	: 講自	ěfi :	鶴見 晃 (48) 《平成30年4月> 総務差別と浄土真宗1 総務差別と浄土真宗2	兼	迁 講	総見 是 (49) <平成30年4月> の の の の の の の の の の の の の	兼任	: 28	等的	鶴見 晃 (50) (平成30年4月> 総高差別と停土真宗1 総高差別と停土真宗2
兼任	講師	船本 寂惠 (46) 〈平成30年4月〉 顯音者協址 社会福祉援助技術與編集習指導Ⅱ 社会福祉援助技術與編集智指導Ⅲ 社会福祉援助技術與編集	兼任	練師	船本 股惠 (46) (46) (平成30年4月> 顯客者福祉 比会福祉數數技術現場來習指導目 社会福祉數數技術現場來習指導目 社会福祉數別技術現場來習指導 社会福祉數別技術現場來習	兼任	: 講會		船本 東惠 (47) (47) 《平成30年4月》 障害者隔粒 社会保险提助技術或編末署指導 II 社会保险提助技術或編末署指導 II 社会保险提助技術或編末署指導 II 社会保险提助技術或編末署	兼	壬 講	船本 寂惠 (48) 〈平成30年4月〉 師 爾客者福祉 社会編起想助技術現場來看指導且 社会編起援助技術現場來看指導且 社会編起援助技術現場來看 社会編起援助技術現場來看	兼任	: 11		船本 東惠 (49) 〈平成30年4月〉 禪亦者編社 北六編社提助技術現場英習指導Ⅱ 北六編社提助技術現場英習指導Ⅲ 北美編社提助技術現場英習指導Ⅲ 北美編社提助技術現場英習
兼任	講師	佐久間 思帆 (45) 《平成30年4月》 薬語 I	兼任	練師	佐久間 思帆 (45) (47) (平成30年4月>	兼任	: 講會	新	佐久間 思帆 (46) 〈平成30年4月〉 英語1 (MB)	兼	壬 講	佐久間 思例 (47) 《平成30年4月》				
						- 兼任	辨自	師	建間 歩 (40) <今和元中4月> 人間学Ⅱ	*	£ M	業間 参 (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47)				
兼任	牌師	横澤 大典 (45) (45) (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47	兼任	練師	模様 大真 (43) (43) (45) (45) (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47	- 兼任	: 諸春音		横澤 大奥 (40) 《平成30年4月 > ワード・プロセッシング入門 ワード・プロセッシング応用	兼	壬 講	横澤 大典 (47) (平成30年4月) 「フード・プロセッシング入門 フード・プロセッシング応用	兼任	: 11	等自 可	横澤 大真 (43) <平成30年4月> ワード・ブロセッシンダ入門 ワード・ブロセッシング応用
兼任	講師	生田 教司 (44) ママ派30年4月 > 下ミュージック入門 ドミュージック応用	兼任	練師	生田 教司 (44) 〈平成の中4月〉 応ミュージック入門 応ミュージック応用	- 兼任	: 諸春音	1 1	生田 教司 (45) <平成230年4月> PCミュージック入門 PCミュージック応用	兼	壬 講	生田 教司 (46) (平成20年4月) 師 (でミュージック入門 (でミュージック及用	兼任	: 11	等自 可	生田 教司 (47) (マ元30年4月 > FCミュージック人門 FCミュージック応用 PC製用によるレポート・輸文技法
兼任	講師	清水 洋平 (44) <平成30年4月> 入開子II 東南アジアの宗教文化	兼任	沸印	清水 洋平 (44) 〈平成30年4月〉 人間学Ⅱ 東南アジアの宗教文化	- 兼任	: 諸春音		清水 洋平 (45) < 平成30年4月 > 人間学Ⅱ 東南アジアの宗教文化	兼	壬 講	清水 辞平 (46) (平成30年4月> 新 人剛宇ロ 東南アジアの宗教文化	兼任	: 11	峰師 -	清水 洋平 (47) <平成30年4月> 人局学II 東南アジアの宗教文化
								-		*	£ #	 	_			
													兼任	1	作師	長時 資素 (47) <合称が年4月> 心理療法と教育

専任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	<u> </u>	氏 名 (年 齡) 就任 (予定) 年月> 担当授業科目名	専任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) < 就任 (予定) 年月> 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
		担当权兼符目名			企画 双条符目 句				但当权条件目有			但当以来会自有	兼任	雅師	柳生 利車 (47) <令和3年4月>
兼任	排師	伊村 大樹 (43) <平成30年4月 > 英語 I 英語 I	兼任	練師	伊村 大樹 (43) (平成30年4月> 英語 I 英語 I	兼任	3件合作	英語 I (削除)	伊村 大樹 (44) 〈平成30年4月〉	兼任	講句	伊村 大樹 (45) (平成30年4月> 英酢 ! (Mib)	兼任	講師	キャリアデザイン振動: キャリアデザイン開発: キャリアデザイン実施: キャリアデザイン実施: (46) (平成:00年4月> 英語: ((例論)
兼任	講師	長女 推算 (40) 〈平成21年4月〉 社会福祉調査論	兼任	絆師	長友 薫輝 (43) 《平成31年4月》 社会福祉調查論										
兼任	講師	西本 括編 (43) 《平成30年4月》 人間学日 規載に学ぶ	兼任	練師	西本 括播 (43) 《平成30年4月》 人間学日 展纂に学ぶ	兼任	講師	人開学Ⅱ(制除)	西本 转攝 (44) 《平成30年4月》	兼担	准教授	西本 拾攝 (45) 《平成30年4月》 人際学Ⅱ (Mik)	兼担	准數提	西本 拾攝 (46) 《平成30年4月》 人類学丑 (附 節)
						兼任	離前	情報マー	伴 盲 (44) <令和元年4月>	兼任	腺師	作 首 (45) <令和元年4月> 情報マークティング権	兼任	装师	作 皆 (48) <令和元年4月> 情報マークティング酶
			兼任	腺師	平板 巻 (45) (45) (47成30年4月> 下で利用による委計構入門 Pで利用による委計構応用	兼任	雠餌		平便 隆 (44) 〈平成30年4月〉 よる乗計事入門 よる乗計事応用	兼任	雌梅	平標 を (45) (45) (45) (45) (45) (45) (45) (45)	兼任	雅師	平概 卷 (46) 《平成30年4月》 PC時間による乗計第六門 PC時間による乗計第応用
兼任	講師	松本(増田)歌子 (42) (平成31年4月 > 相談援助の理論と方法2 相談援助の理論と方法3	兼任	練師	松本(増田)配子 (42) (平成31年4月> 相談提助の理論と方法2 相談援助の理論と方法3	兼任	講師		松本(増田) 聡子 (43) (今和元年4月 > 0.理論と方法2 の理論と方法3	兼任	講師	松本(増田)取子 (44) (44) (今和元年月) 和築規約の理論と方法2 相談規約の理論と方法3	兼任	講師	松本(増田)取子 (45) (45) (全和元年月> 福築競助の理論と方法2 相談援助の理論と方法3
兼任	講師	三上 補次 (43) (平成30年4月> 地球科学2 地球科学2 地球科学2 地球科学2 地球科学2 地球科学2	兼任	納師	三上 楠次 (43) 《平成30年4月> 地震と火山2 地球科学1 地球科学2 地球科学2 地球科学2 地球科学2	兼任	講師	地球科学:		兼任	練師	三上 植次 (45) (平成30年4月> 地球科学社 地球科学社 地球科学社 地球科学社 地球科学社	兼任	講師	三上 検次 (46) (平成:00年4月> 地震と次山2 地球科学2 地球科学2 地球科学2 地球科学2 地球科学2 地球科学2
			兼任	換師	補水 利明 (42) <平成30年4月> 発着から表現へ	兼任	鎌部	発想から	情水 利明 (45) ⟨平成30年4月⟩ 変要≪	兼任	換梅	補水 利雨 (44) <平成30年4月> 売額から表現へ	兼任	╈師	補水 利爾 (45) 〈平成30年4月〉 発着から表現へ
兼任	講師	桑原(多田)桃音 (40) 〈平成31年4月〉 現代家族論	兼任	湖南市	桑原(多田)桃音 (46) 《平成31年4月》 現代家族論	兼任	講師	現代家族	桑原(多田)桃音 (41) 〈令和元年4月〉	兼任	講師	泰原(多田)桃音 (42) (今和元年4月> 現代家族論	兼任	講師	桑原(多田)核音 (43) (令和元年4月> 現代家族論
						兼任	牌解	人間学工	近摩 雄生 (42) <令和元年4月>	兼任	(株)	近藤 雄生 (43) <令和元年4月> 人間芋Ⅱ	兼任	蜂虾	近藤 雄生 (4) 〈令和元年4月〉 人類学五

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月>	専任 兼担 兼任 の別		職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任 兼担 兼任 の別		職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名	兼任	牌街	英語	担当技業科目名 『『『 由美 (42) <合和元年4月>	- *	£ I	辨師	担当授業科目名		£ I	供師	担当授業科目名
兼任	講師	中村 真風絵 (40) 〈平成30年4月〉 現代東南アジア事情	兼任	講師	中村 真里絵 (40) 〈平成30年4月〉 現代東南アジア事情		3件白巾	現代	中村 真里絵 (41) 〈平成30年4月〉 東南アジア事情	- 兼	£ i	講節	中村 真里絵 (42) 〈平成30年4月〉 現代東南アジア事情	- 兼任	£ I	講師	中村 真風絵 (43) 〈平成30年4月〉 現代東南アジア事情
兼任	講師	野村 洋平 (44) 《平成30年4月》 教育学2	兼任	網師	野村 洋平 (40) 《平成30年4月》 教育学2	兼任	講師	教育等	野村 洋平 (41) <平成30年4月>	- 兼	£	講節	野村 祥平 (42) 《平成30年4月》 教育学2	兼任	Ē I	講師	野村 洋平 (43) 《平成30年4月》 教育学2
										- *	£ I	蜂師	展開 茶人 (22) 《令和2年4月》 公共政策報節 1 公共政策報節 2	兼任	£ I	動師	展開 楽人 (43) 〈令和2年4月〉 公共収責機論 1 公共収責機論 2
										- *	£I	蜂師	・ 付額 (42) (43) (43) (43) (45) (45) (45) (45) (45) (45) (45) (45				
						兼任	酵餌	「仏教	上原 校生 (40) <令和元年4月> 社会論	- *		錦飾	上版 数生 (41) 《命和元帝4月》 仏教社会論	- 東部	B 1	業师	上跨 教生 (42) (42) (48) 元平4月>
兼任	講師	藤井	兼任	講師	蘇井 渉 (39) 〈平成30年4月〉 社会政策論	兼任	講師	社会	藤井 渉 (40) 《平成30年4月>	-							
兼任	講師	高 減晚 (33) 《平成30年4月> 社会学	兼任	講師	高 酸晚 (38) 《平成30年4月》 社会学					_				_			
兼任	練師	木島 葉栗子 (37) 《平成31年4月》 美新田	兼任	排的	木島 葉栗子 (37) 〈平成31年4月〉 矢語Ⅱ					-							
						兼任	練部	生命自然	際等 勿類 (38) 〈令和元年4月〉 のレくみと多様性 と生物の科学	- *	£ I	講師	摩羅 知順 (39) 〈令和元年4月〉 生命のしくみと多様性 自然と生物の科学	-			
						兼任	牌町	公共公共	及保 女美 (37) <令和元年4月> 受票額額1 支票額額2	-				-			

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) < 就任 (予定) 年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名		専任 兼担 兼任 の別		微名	氏 名 (年 齡) < 就任 (予定) 年月>	専任 兼担 兼任 の別	. 職		専任 兼担 兼任 の別		龍名	氏 名 (年 節) < 就任 (予定) 年月>
兼任	牌師	# 担当授業科目名	兼任	講師	担当投棄和目名	兼任	£ 請奪	: BTi -	担当校業科目名 竹内 早耶寺 (37) 《平成30年4月> スポーツと健康の科学1 スポーツと健康の科学2	兼任	: 講	# 担当投棄科目名	- *任	: 1	善師	担当投棄料目名 竹片 馬恵香 (30) 《平成20年4月 > スポーツと健康の科学1 スポーツと健康の科学2
													兼任	: 1	# ##	金集 整緒 (38) <令和3年4月> 青年と社会教育
兼任	講師	上田 写記子 (35) <平成31年4月> 情報マーケティンプ論 社会福祉援助技術系籍を召指専Ⅱ 社会福祉援助技術系籍を召指専Ⅲ 社会福祉援助技術系籍を選出等 社会福祉援助技術系籍を選出等 社会福祉援助技術系籍を選出等 社会福祉援助技術の基本習用専Ⅲ 社会福祉援助技術の基本習用専Ⅲ	兼任	講師	上田 早記子 (35) 《平改31年4月》 精報平一步7十二/ 精報中一步7十二/ 指統學中方統領 (25) 抗会福祉股助技術預算 (25) 社会福祉股助技術預算 (26) 社会福祉股助技術預算 (26) 社会福祉股助技術預算 (26) 社会福祉股助技術預算 (26) 社会福祉股助技術預算 (26)	兼任	£ 講		上田 早記子 《令和2年4月》 《令和2年4月》 《例錄》 社会福祉提助技術演唱《習指導工社会福祉提助技術资格》 社会福祉提助技術资格等等習指導工社会福祉提助技術竞编等習指導工社会福祉提助技術竞编等	兼任	· i#	上田 早配子 (37) 《 令和2年4月》 《 令和2年4月》 (開始) 社会福祉援助技術设备来習報車1 社会福祉援助技術设备来習報車1 社会福祉援助技術设备来習問車1 社会福祉援助技術设备来習問車1	兼任	: 1		上田 早起子 (38) 《
兼任	講師	吉賀 信夫 (35) 〈平成30年4月〉 至活問題論 公的扶助論	兼任	講師	志賀 信夫 (35) 〈平成30年4月〉 (開節) 公的扶助論											
兼任	講師	中田 千穂 〈平成30年4月> 陳喜者スポーツ新定演習 I 陳書者スポーツ研究演習 I 陳書者スポーツ研究演習 I 身体活動 I (陳書者スポーツ) 身体活動 I (陳書者スポーツ)	兼任	游師	中田 千穂 (35) (35) (35) (35) (36) (35) (35) (35) (35) (35) (35) (35) (35	兼任	£ 講	: ((1)	中田 千穂 〈平成30年4月> 障害者×ボーツ輸 障害者×ボーツ等充減習 II 障害者×ボーツ等充減習 II 資格性信頼 II (報告者×ボーツ) 存化活動 II (報告者×ボーツ)	兼任	清	中田 千穂 (37) (平成30年4月> 原書者スポーツ輸完演習 I 原書者スポーツ研究演習 I 原書者スポーツ研究演習 I 資本信息 (総書者スポーツ) 資体信息 (総書者スポーツ)	兼任		养師	中田 千穂 (38) (平成30年4月>) 徳吉者スポーツ施 徳吉者スポーツ研究演習 I 徳吉者スポーツ研究演習 I 徳吉者スポーツリ オープリー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
兼任	講師	安田(大塚)惠美 (34) <平成31年4月> 可法福祉論	兼任	講師	安田(大塚)恵美 (34) 〈平成31年4月〉 可法福祉論	兼任	£ 請奪	: BTI -	安田(大塚)恵奏 〈令和元年4月〉 司法福祉論	兼任	: 清	安田 (大塚) 恵美 (36) (今和元年4月> 師 可法福祉編				
兼任	講師	同崎 沙巌 (34) <平成30年4月> 教育学1	兼任	講師	同崎 沙徽 (34) 《平成30年4月》 教育学1	兼任	£ i#	: ATT	同崎 沙巌 (35) <平成30年4月> 教育学1	兼任	: 消費	同崎 沙徽 (36) 〈平成30年4月〉 所 教育学1	兼任	: 1	养師	同局 沙徽 (37) 《平成30年4月> 教育学1
										兼任		参元 佐 (35) (本物3年4月> 社会福祉調査論	兼任	: 1	脾師	参元 街 (38) <令事が平4月> 社会福祉調査輸
										兼伯	ê m	製井 香 (3) (会和2年4月> スポーツ研究演習 I スポーツ研究演習 I	兼任	1	**************************************	曹井 香 (34) <◆和2年4月> スポーツ研究養置 I スポーツ研究養置 I スポーツ研究養置 I 身体指動 I
兼任	講師	児島 庸介 (31) 〈平成30年4月〉 生命のしくみと多様性 日然と生物の科学														

専任・			専任・			専任	•	1		専任			専任・		
兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	兼担 兼任 の別		職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月>	兼担 兼任 の別	職名	氏 名 (年 前) <就任(予定)年月>	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月>
<u></u>		担当授業科目名	-		担当授業科目名	!		-	担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	: 講師	演算 系介 (33) 〈平成30年4月〉 東アジアの宗教文化	-		-							
			兼任	- 脾解	古僕 賞也 (20) (20) (平成30年4月> 生金のレくみと各種性 自然と生物の科学										
兼任	講師	山東 綾乃 (29) 〈平成30年4月〉 相談援助の理論と方法1 社会編祉援助技権演習1	兼任	講師	山東 綾乃 (29) 〈平成30年4月> 相談接助の理論を方法1 社会編祉援政時接術演習1	*	任 講日	- 1	山東 綾乃 (30) 《平成30年4月> 相談援助の理論と方法1 社会編祉援助技術演習1	兼任	£ 講師	山東 裁乃 《平成20年4月> 和新提別の理論と方法1 社会福祉援助技術演習1 社会福祉援助技術演習2 社会福祉援助技術演習2	兼任	絆師	山東 綾乃 (32) 《平成30年4月> 相談接助の理論と方法1 社会編祉援助技術演習1
		社会福祉援助技術演習2 社会福祉援助技術演習3 社会福祉援助技術演習5			14.实福祉援助技術演習2 社会福祉援助技術演習3 社会福祉援助技術演習5	-			(網路) 社会福祉援助技術演習3 社会福祉援助技術演習5			社会福祉援助技術演習2 社会福祉援助技術演習3 社会福祉援助技術演習5			社会福祉援助技術演習2 (開節) (開除)
						-		=					兼任	鬱師	伊藤 実 (32) <中和3年4月> 生命のしてみと多様性 自然と生物の科学
						-		_					兼任	輸節	高騰 謝史 (32) 《中和3年4月》 可掛福社蘭
						- *	臣 歸	神	大高 千明 (20) 〈参和元年4月〉 企画スポーツ・レクリエーション情 動	兼伯	E 酵椰	大高 千明 (20) 〈本和元年4月〉 生職スポーツ・レクリエーション語 動	兼任	装飾	大高 千明 (31) (4年3元年4月> 全種スポーツ・レクリエーション哲動
						_		-		兼伯	£ 解輝	粉川 尚枝 (29) (29) (本和2年4月> 心理療施士会育	兼任	18年	参川 海技 (30) (4 令和2年4月 > 心理療法機論
						_		-					兼任	18年	中村 发票 (30) <令和3年4月> 社会福祉と社会教育
								-		兼有	£ 講師	奏者 兼人 (28) 〈令和2年4月〉 等年と社会教育 社会福祉と社会教育			

⁽注) 報告を度の5月1日現在の情報を記入してください。(選年度については、各年度実時点の情報として記入してください。) 認可申請書文は設置書出書の株本第3号(その2の1)に単して作良してください。
・ 認可申収は届出的。は、設置専門を以返出出出のお島をで、「業化、実施製金を含む。)を黒字で記入してください。
・ 認可取りは届出的からき更となっている通販は文字の妻子としてください。
・ 名間の検疚方法に「大学の投資者に係る単出書所成の手引き」の「教長名勇」を確認してください。
・ 年齢は、<u>それぞれの年度の5月1日時点の選年数</u>を記入してください。
・ 専任、(専門勲大学等は、実本、実、領)、深外、、深組、兼任の際に記入してください。
・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、認めてください。

(1) - ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

```
【平成30年度】

・学科専門科目「フィールドワーク技法基礎」の担当を専任講師に変更。
・共通基礎料目「学びの発見」の担当を専任講師に変更。
・現代総合科目「探究基礎演習」の担当を専任教授に変更。
・現代総合科目「探究基礎演習」の担当を専任教授に変更。
・学科専門科目「市民活動論」を旧学科と共通で開講することから、専任講師のみの担当に加え旧学科兼担教授の担当を追加。
・共通基礎科目「人間学 I」「人間学 II」の担当を専任教授に変更。
・共通基礎科目「人間学 I」の担当を専任教授に変更。
・共通基礎科目「人間学 I」の担当を専任教授に変更。
・共通基礎科目「都定決計を映画する。
・現代総合科目「都定決計を映画する。
・現代総合科目「発想から表現へ」の担当を兼任講師に変更。
・現代総合科目「予想から表現へ」の担当を兼任講師に変更。
・現代総合科目「PC利用による表計算入門・応用」の担当を他の兼任講師に変更。
・現代総合科目「アジースによる表計算入門・応用」の担当を他の兼任講師に変更。
・現代総合科目「アジースによる表計算入門・応用」の担当を他の兼任講師に変更。
・現代総合科目「東アジアの宗教文化」の担当を他の兼任講師に変更。
・現代総合科目「東アジアの宗教文化」の担当を他の兼任講師に変更。
・現代総合科目「東アジアの宗教文化」の担当を他の兼任講師に変更。
・現代総合科目「東アジアの宗教文化」の担当を他の兼任講師に変更。
```

【令和元年度】

```
    【兼担教員の追加】
    ・学生の履修機会を増やすために履修クラスを拡張したことに伴う担当者追加:
    四方 保仁(兼担 准教授)、藤元 雅文(兼担 准教授)
    専任担当者の担当コマ教の事情(旧学科科目の担当開講科目教の増加)により別の専任教員に担当を変更したことに伴う担当者追加:
    高橋 真(兼担 講師)→山本 貴子(兼担 教授)、M.J.CONWAY(兼担 講師)
    ・兼任担当者の部は辞退に伴う担当者変更による担当者追加:井黒 忍(兼担 准教授)
    「報知費日の異数】

・兼任担当名の別社辞退に伴う担当名変更による担当名追加: 升素 & (兼担 鬼奴皮)

(兼担教員の異格)

喜多 恵美子 准教授→教授 (18年度訂正漏れ)、三宅 伸一郎 准教授→教授 (18年度訂正漏れ)、新田 智通 講師→准教授 (18年度訂正漏れ)、

井上 摩紀 准教授→教授、藤田 義孝 准教授→教授、箕浦 暁雄 准教授→教授

(集担教員の定年退職)

R.F. RHODES 兼担 教授→兼任 講師、朴 一功 兼担 教授→兼任 講師

(兼任教員の就任辞退)
   ** 本人の都合による就任辞退:本多 義治、木塚 恵子、種子田 香、池末 陽子、滋野 浩毅、長友 薫輝、高 誠晩、木島 菜菜子、志賀 信夫、濱野 亮介、
古保 慎也
 【兼任教員の追加】
 【兼任教員の追加】
・学生の履修機会を増やすために履修クラスを拡張したことに伴う担当者追加:桂 千草、蓮岡 修、近藤 雄生、上野 牧生・就任辞退となった兼任教員の補填:岡嶋 詳二、朴 仁淑、松田 美樹、江南 健志、伴 宙、藤原 由美、藤澤 知親、久保 友美、大高 千明
【兼任教員の所属変更】
 三木 彰円 兼任 講師→兼担 教授
【誤記訂正】
  誤記訂正】
【前年度の誤記】
・喜多恵美子 准教授→教授
・三宅伸ー郎 准教授→教授
・新田 智通 講師→准教授
・川田 耕 →削除
```

【令和2年度】

```
「専任教員の退職」

荒瀬 克己 兼担 → 退職(自己都合)

織田 顕祐 兼担 → 兼任(定年退職)

【専任教員の所属変更】

上野 牧生 兼任 → 兼担

西本 祐編 兼任 → 兼担
四本 石楠 兼仕 → 兼担
【兼担教員の昇格】
西本 右攝 講師 → 准教
【兼担教員の追加】
井上 尚実 (コマ教調整のため)
戸次 顕彰 (コマ教調整のため)
                              講師 → 准教授
               健司(新規科目開講のため)
 → 退職(定年退職)
→ 退職(自己都合)
→ 退職(自己都合)
→ 退職(自己都合)
→ 退職(自己都合)
「条保 友美 兼任 → 退職(自己都合)

【兼任教員の追加】

奥村 旅人 当該学部科目を新たに担当(新規科目開講のため)

風岡 宗人 採用(退職教員の補填のため)

粉川 尚枝 当該学部科目を新たに担当(新規科目開講のため)

丹沢 史紀 採用(退職教員の補填のため)

筒井 香 採用(東任教員の担当科目辞退の補填のため)

丹羽 徹 採用(退職教員の補填のため)

松元 佑 採用(退職教員の補填のため)

小村 絹恵 当該学部科目を新たに担当(退職教員の補填のため)
```

```
【令和3年度】
【兼担教員の昇格】
 DASH SHOBHA 准教授 → 教授、釆睪 晃 准教授 → 教授、M.J.CONWAY 講師 → 准教授
【兼担教員の退職】
山下 憲昭(定年退職)、野村 実(任期満了)
【兼担教員の担当変更】
山本 貴子(担当コマ教調整のため)、四方 保仁(担当コマ教調整のため)、三宅 伸一郎(担当コマ教調整のため)、箕浦 暁雄(担当コマ教調整のため)、戸次 顕彰
(担当コマ教調整のため)
【兼任教員の担当変更】
中尾 都史子(自己都合による退職)、青木 惠子(自己都合による退職)、橋本 武也(自己都合による退職)、太田 純(自己都合による担当辞退)、佐久間 思帆(
己都合による担当辞退)、蓮岡 修(自己都合による退職)、丹波 史紀(自己都合による退職)、小村 絹恵(自己都合による退職)、藤澤 知親(自己都合による退職)
安田(大塚) 惠美(自己都合による退職)、奥村 旅人(自己都合による担当辞退)
                                                                                                                                            、佐久間 思帆(自
【兼担教員の追加】
      ・

裕彦(前任者(兼担)担当コマ数調整のため)、安田 誠人(前任者(兼担)定年退職のため)
【本性教員の追加】
野村 実 的教任期満了に伴い兼任講師として新たに採用)、真城 義麿(前任者(兼担)担当コマ数調整のため)、杉原 優子(採用/前任者(兼任)退職のため)、田中
浩(前任者(兼任)担当辞退のため)、西田 彩(採用/前任者(兼任)退職のため)、長野 真奈(採用/前任者(兼任)担当辞退のため)、柳生 利恵(採用/前任者(兼
任)退職のため)、金森 謙輔(採用/前任者(兼任)担当辞退のため)、伊藤 真(採用/前任者(兼任)退職のため)、高橋 康史(採用/前任者(兼任)退職のため)、
中村 友春(採用/前任者(兼任)担当辞退のため)
```

- (注)・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

 - を関すで設置された学部等の事任後員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに事任教員として授業等を担当することは出来ません。
 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「O年O月教員審査済」と記入してください。

 - なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。 ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
1 0	5
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) 一② 専任教員等数【大学】

		設置時	の計画				:	現在(報告	時)の状況		
教 授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
5	3	3	0	1 1	0	5	3	3	0	1 1	0
(5)	(3)	(3)	(0)	(11)	(0)						
	現在(報告時)の	完成年度時	の状況			現在(報告時)の	完成年度時	の計画	
教 授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
5	3	3	0	1 1	0	5	3	3	0	1 1	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 - ・「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 - ・「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、「現在(報告時)の状況」に配入した数字に、数員審査を受審済みであり、
 - 完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)
 - ・「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 - []内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)

(2) - ③ 年齢構成

	年齢構成	
定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告時(上記 (B)) の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時(上記 (C))の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
6 5	0	0
歳	名	名

- (注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、 及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている 教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 - ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入 し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - (2) -④ 設置時の計画に対する教員充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C) = 11 設置時の計画(A) 11 = 100 9%

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (2) -⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

<u>報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数</u> = 0 現在(報告時)の状況(B) = 0

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (2) ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(\mathbf{C} ') = \mathbf{O} = $\# \mathsf{DIV} / \mathsf{O}!$ % 設置時の計画(\mathbf{A} ') = \mathbf{O} = $\# \mathsf{DIV} / \mathsf{O}!$ %

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) 一① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番	号	職	位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由	の別	担当予定科目	後	任裤	前充状 法	兄	京	优任辞证	人人	:就任) の理	由		
				該当なし															
				合計	(D)							後	· 任補充状況	の集計	(E))			
	Ŕ	就任:	を辞	退した教員数	担当科目	数の合計	(a)	+ (b) + (c)	①の台	計	数 (a)		②の合計	十数(b)	③の合	計数	(c)	
					必	修	0	科目	必修		0	科目	必修	0	科目	必修		0	科目
					選	択	0	科目	選択		0	林田	選択	0	科目	選択		0	科目
1			0	人	自	由	0	科目	自由		0	科目	自由	0	科目	自由		0	科目
L					ī	+	0	科目	計		0	科目	計	0	科目	計		0	科目

- (注)・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全て<u>の専任教員</u>の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 - 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。 就任した後に辞任した教員は、以下「(3)-②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、 「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
 - (3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職	位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自	Bo≋l -	担当予定科目	後任	補充物	況		刮	ŧ任等	の理由			
			該当なし														
																	_
			合計	(F)		•				後	经任補充状况	の集計	(G)				
	辞	任し	した教員数	担当科目	数の合詞	† (a) +	(b) + (c)	①の合語	十数 (a)	②の合計	†数 (b))	③の合言	十数	(c)	
				必	修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修		0	科目
				選	択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択		0	科目
		0	Α	自	由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由		0	科目
				Ī	+	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計		0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての事任教員**についてに記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、

「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
- (3) -3 上記(3) -1 ・ (3) -2 の合計

	後任補充状況の集計 (E) + (G)												
辞任等した教	員数	担当科目数の合語	①の合計数 (a)			②の合計	l数(b))	③の合計数 (c)				
		必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
0	, ,	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

(2)-②設置時の計画(A) = -

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (3) 一⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0

(注)・(3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番	号	職	位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当	予定科目	後任補充	状況			辞任	£等の	理由		
				該当なし						_						
										4						
										-						
-			-													
				ŕ	計						後任補充物	犬況のタ	制			
		辞	任し	ンた教員数	担当科目数の合言	† (a) +	(b) + (c)	①の合計	数(a)		②の合計	l数(b))	③の合計	数(d)
					必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
					選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
			0	λ.	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
					計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注)・ <u>定年により退職した全ての専任教員について</u>に記入してください。 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、<mark>赤字</mark>にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
- (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし。	

(注) · 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、 今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附帯事項	等	履行状況	今後の の実施計画
認 可 時 (平成30年4月)	①大谷大学文学部文学科の入谷大学文学部文学社の入谷大学を見るのと短期大学を表示と短期大谷短子科科の定式大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大		①平成29年度の超過率が1.61 (日本のでは10年間で10年間で10年間で10年間で10年間で10年間で10年間で10年間で	九州大谷短期大学福祉学科に ついては、入学者支援を含め た募集強化の取り組みを進め るとともに、入学定員の値正 化を図るべき準備を進める。
設置計画履行状況調 査 時(平成30年)	「該当なし」			
設置計画履行状況 調 査 時 (令和元年)	「該当なし」			
設置計画履行状況調 査 時 (令和2年)	「該当なし」			

- (注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(<u>学校法人の寄附行為又は</u> <u>寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。</u>)と、それに対する履行状況等について、 具体的に記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、<u>当該大学に付された指摘を</u> 全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。 その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<社会学部 コミュニティデザイン学科>

(1) 設置計画変更事項等

	設置	時(の計	画	変更内容・状況、今後の見通しなど
特になし。					

- (注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)
- ① 実施体制
 - a 委員会の設置状況

教務委員会「FD部会」

全学をあげて取り組む姿勢を明確にするため、教務委員会の中にカリキュラムの検討を中心とする「教務部会」と、FD活動を中心とする「FD部会」とを2007年度に設置。FD活動とカリキュラムの連携を図りながら、取り組みを進めている。

- b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)
 - 本学として必要なFD活動を検討するFD部会を年4回程度開催。
- c 委員会の審議事項等

FD部会の審議及び推進事項(教務委員会規程第3条第2号)

- ア 教育内容及び授業方法改善のための具体案(各授業科目における「授業計画(シラバス)」の記載内容の確認を含む。)
- イ 授業評価アンケートの活用
- ウ FDに係る研究会及び研修会の実施
- エ FDに係る調査及び研究
- オ その他FDに関すること

② 実施状況

a 実施内容

FD部会活動内容

- · 新任教員向けFD研修会の実施
- ・ 授業評価アンケートの活用による授業優秀賞・事情確認科目の検討、事情確認対象科目担当者への確認
- 授業優秀賞受賞科目の授業公開の実施
- ・ 全学的な教職員向けFD研修会とミニFD研修会(教授会内研修)の実施
- ・ 他大学・団体等との連携、他団体研修会等の参加及び部会内での報告
- ・「授業計画(シラバス)」の記載内容確認及び修正が必要な科目の内容修正依頼
- b 実施方法

全学的な研修会や授業公開については、非常勤講師も含め実施を告知。対象者が限定されるものについては、 原則、対象者全員参加として呼びかけている。

- c 開催状況(教員の参加状況含む)
 - *新型コロナウィルス感染拡大防止のため、政府・自治体の要請に従い、活動の一部を縮小して実施(2020年度実績)
 - ・ 新任教員向けFD研修会(2020年10月7日実施)
 - 授業評価アンケートの活用(2020年9月17日・2021年3月17日FD部会にて検討・決定)
 - 授業公開の実施(2020年11月18日~12月17日に開催:対象科目4科目)
 - ・ ミニFD研修会の実施(2020年11月11日開催、「シラバス作成について」)
 - ・ 「授業計画(シラバス)」の記載内容の確認(2021年2月実施)
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

研修会や懇話会を開催することにより、本学学生の実情を把握し、本学の教育理念や育成する学生像の共有を図り、継続的な授業改善に取り組むことの意識付けを行っている。

個々の授業担当者の資質向上を図るために、「学生による授業評価アンケート」を活用し、振り返りをおこなっている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

「学生による授業評価アンケート」を、本学の内部質保証に係るFDとして、本学の教育システムの不断の 点検・改善に役立てると同時に、授業担当者が日頃の教育活動の成果を確認し、今後の授業改善の参考資料と して活用するために、全学を対象に実施している。前期については、6月下旬から7月上旬に実施、後期については、12月上旬から12月中旬にかけて実施。

また、2020年度前期については、アンケート内容を「オンライン授業の実施について_学生アンケート」と変更し実施している。

b 教員や学生への公開状況, 方法等

授業評価アンケート結果については、各授業担当者に科目ごとに報告される。アンケート内容は、I. 回答者の属性 II. 授業における受講生の取り組みについて、II. 授業内容や担当教員の授業運営について、IV. 総合的評価、V. 自由記述からなっており、数値やグラフにして提供している。

受講学生に対しては、学内ネットワーク上に科目ごとの評価結果を公開し、自由に閲覧できるようになっている。また、大学全体及び学部ごとの評価結果を大学HP上に公開し、社会一般からの閲覧に供している。 公開の時期は、ともに前期が9月から10月頃、後期が3月頃に公開をおこなっている。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

1	$\langle \gamma \rangle$	教育課程連携協議会に関する事項
J	(. 5)	ダ目また1里塔 加護元

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

「該当なし」

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

建学の理念を仏教、殊に浄土真宗に据え、いかなる時代・社会の状況においても、自己と人間の課題を深く見つめ、人間の立脚地を考えつづける姿勢をその学びの根幹においてきた。つまり、自己の信念の確立を建学の理念として掲げ、学修、研究をすすめてきた。その達成の状況は、建学の理念、教育目標のもとに各方針、教育内容やその方法等を体系的に関連づけた体制として構築し、各学部・学科、各研究科・専攻とも学生に対する教育、研究指導を充全に実施しており、そのことは、平成27年度に公益財団法人大学基準協会による大学評価ならびに認証評価を受け、同協会の大学基準に適合していると認定された。

- ② 自己点検·評価報告書
 - a 公表 (予定) 時期
 - 7月下旬頃
 - b 公表方法
 - ・大学運営会議構成員(各学部・研究科長、並びに事務部長含む)に報告書を配付
 - ・大学ホームページ上に公開
- ③ 認証評価を受ける計画
 - ・令和4年度に、公益財団法人大学基準協会による大学評価ならびに認証評価を受ける予定で準備を進めている。
- (注)・ 設置時の計画の変更 (又は未実施) の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

Γ								
() i	設置計画履行状況報告	書	(令和3年度)				
	а	公表予定の有無	(有 · 無	ŧ	J		
<	≪ a	で「有」の場合≫						
	b	公表(予定)時期	ĺ	調査結果公表後1ヶ月以	内	公表後2~3ヶ月以内	公表後3ヶ月以降]
	С	公表方法	ĺ	ウェブサイトへの掲載		その他())
1.	// - !	マハキ「無」の担合※						
ľ		で公表「無」の場合≫	,					,
I	d	公表しない理由	Ĺ					J

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、 設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

○教務委員会規程

2002年3月4日 制定

(設置)

- 第1条 大谷大学及び大谷大学短期大学部(以下「本学」という。)に、教育・学生支援担当 副学長の教務に関する補佐機関として、教務委員会(以下「委員会」という。)を置く。 (目的)
- 第2条 委員会は、教育推進室と連携し、教育課程及び教育方法等の改善を図るとともに、 FD(ファカルティ・ディベロップメント)活動を推進し、もって大学教育の充実と発展を 図ることを目的とする。

(審議及び推進事項)

- 第3条 前条の目的を達成するために、委員会に部会を置き、次の事項について審議し、 その推進にあたる。
 - (1) 教務部会
 - ア 教育課程改善のための具体案
 - イ 教育課程に付随する諸制度(成績評価、単位認定、進級、登録等)
 - ウ 開講科目、開講形態及び履修方法
 - エ その他教務に関すること。
 - (2) FD 部会
 - ア 教育内容及び授業方法改善のための具体案(各授業科目における「授業計画(シラバス)」の記載内容の確認を含む。)
 - イ 授業評価アンケートの活用
 - ウ FD に係る研究会及び研修会の実施
 - エ FD に係る調査及び研究
 - オ その他 FD に関すること。

(構成)

- 第4条 委員会は、次の者をもって構成する。
 - (1) 委員長 1名
 - (2) 部会長 2名
 - (3) 委員 若干名
 - (4) 学生支援部事務部長
 - (5) 学生支援部教務課長
- 2 委員長、部会長及び委員は、本学専任教育職員のうちから教育・学生支援担当副学長が 推薦する者を学長が委嘱し、任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。
- 3 委員長は、必要と認めた場合、委員以外の者を委員会に出席させることができる。

(所管)

第5条 委員会に関する事務の所管は、学生支援部教務課とする。

(改廃)

第6条 この規程の改廃は、教授会の議を経て、学長が決定する。

付 則

この規程は、2002年4月1日から施行する。ただし、第4条第1項第3号に定める「教 務部事務部長」は、2002年5月31日までは、「教務部教務課長」と読み替えるものとする。

付 則

この規程は、2007年2月13日一部改正し、2007年4月1日から施行する。 付 則

この規程は、2008年6月18日一部改正し、2008年6月1日に遡及して施行する。 付 則

この規程は、2012年2月1日に一部改正し、2012年4月1日から施行する。 付 則

この規程は、2013年2月25日に一部改正し、2013年4月1日から施行する。 付 則

この規程は、2015年3月11日に一部改正し、2015年4月1日から施行する。 付 則

この規程は、2016年3月10日に一部改正し、2016年4月1日から施行する。